

令和2年度
(令和元年度実績)

福祉の概要

澁川市福祉部

第1章 社会福祉事業

- 1 渋川市の福祉事業
- 2 福祉の概要
- 3 生活保護事業
- 4 生活困窮者自立支援事業
- 5 障害者福祉事業
- 6 福祉事業基金
- 7 民生委員児童委員協議会活動事業
- 8 総合相談事業
- 9 その他の福祉事業
- 10 社会福祉協議会への支援

第2章 児童福祉事業

- 1 総合的な少子化対策
- 2 子育て環境の充実
- 3 子育て支援の充実
- 4 家庭児童相談室事業
- 5 母子及び寡婦福祉
- 6 保育の充実
- 7 幼児教育の充実

第3章 高齢者福祉事業

- 1 渋川市の高齢者の状況
- 2 地域生活への支援
- 3 緊急時の対応
- 4 在宅介護への支援
- 5 施設福祉サービス

- 6 高齢者の学習機会の充実
- 7 敬老事業の実施
- 8 老人クラブ活動への支援
- 9 認知症対策の推進
- 10 地域福祉活動への支援
- 11 市有高齢者福祉関連施設の運営
- 12 シルバー人材センターへの支援

第4章 地域包括支援センター活動状況

- 1 地域包括支援センターの概要
- 2 地域包括支援センター事業報告
- 3 地域包括支援センター業務報告（総括表）
- 4 総合相談実績報告
- 5 地域におけるネットワーク構築業務
- 6 養護者による高齢者虐待対応状況
- 7 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 8 ケアマネジメントの状況

第5章 社会福祉法人指導監査等の 実施結果概要

- 1 指導監査等の概要
- 2 指導監査等の実施結果
- 3 各種事務手続の実績

第 1 章

社会福祉事業

地域包括ケア課

令和2年度（令和元年度分）福祉の概要 （社会福祉事業）

1 渋川市の福祉事業

| | |
|-----------|---|
| 福祉事務所運営方針 | 1 |
|-----------|---|

2 福祉の概要

| | |
|--------------------|---|
| (1) 世帯数と人口 | 1 |
| (2) 市予算に対する福祉予算の割合 | 1 |
| (3) 福祉六法該当数 | 1 |
| (4) 福祉部（福祉事務所）の機構 | 2 |
| (5) 市の財政 | 3 |

3 生活保護事業

| | |
|-------------------|---|
| (1) 生活保護 | |
| ア 生活保護制度の目的 | 4 |
| イ 生活保護制度の3つの基本的原理 | 4 |
| ウ 保護の種類 | 4 |
| エ 保護の基準と適用 | 5 |
| オ 生活保護の動向 | 6 |

4 生活困窮者自立支援事業

| | |
|-----------------|----|
| (1) 自立相談支援事業 | 10 |
| (2) 住居確保給付金支給事業 | 10 |
| (3) 子どもの学習支援事業 | 12 |

5 障害者福祉事業

| | |
|--|----|
| (1) 身体障害者福祉 | |
| ア 身体障害者手帳交付状況 | 14 |
| イ 障害者自立支援給付の状況 | 15 |
| ウ 地域生活支援事業の状況 | 18 |
| エ 身体障害者福祉（給付・サービス等）の状況 | 20 |
| オ 手話普及推進事業 | 20 |
| カ その他 | 21 |
| (2) 知的障害者福祉 | |
| ア 療育手帳交付状況 | 21 |
| イ 障害児通所支援 | 22 |
| ウ 地域生活支援事業の状況 | 22 |
| エ その他 | 22 |
| (3) 精神障害者福祉 | |
| ア 精神障害者手帳交付状況 （精神保健及び精神障害者福祉に関する法律） | 23 |
| イ 地域生活支援事業の状況 | 23 |
| (4) その他（全体事業） | |
| ア 渋川地域自立支援審査会事業 | 24 |
| イ 渋川地域自立支援協議会 | 24 |
| ウ 「渋川広域障害福祉なんでも相談室」の設置 | 24 |
| エ 地域活動支援センター | 25 |

| | |
|---------------------------------|----|
| オ 障害者虐待防止対策事業 | 25 |
| 6 福祉事業基金 | |
| (1) 基金積立額及び預金利子 | 26 |
| (2) 基金運用収益（預金利子）充当事業 | 26 |
| (3) 基金充当事業 | 26 |
| 7 民生委員児童委員協議会活動事業 | |
| 民生委員・児童委員 | |
| (1) 渋川市民生委員児童委員協議会 組織図 | 27 |
| (2) 活動状況 | 28 |
| (3) 令和元年度渋川市民生委員児童委員協議会活動 | 28 |
| 8 総合相談事業 | |
| 相談事業の実績 | 30 |
| 9 その他の福祉事業 | |
| (1) 災害見舞金・弔慰金 | 31 |
| (2) 日本赤十字社活動資金募集事業 | 31 |
| (3) 同和対策 | 32 |
| (4) 遺族等の援護 | 32 |
| 10 社会福祉協議会への支援 | |
| (1) 組織 | 33 |
| (2) 主な事業 | 34 |
| (3) ボランティア活動 | 35 |
| (4) 善意銀行 | 38 |
| (5) 資金の貸付 | 39 |

1 渋川市の福祉事業

福祉事務所運営方針

憲法第25条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定しています。

福祉事務所は、この理念を実現するために、社会福祉の第一線の行政機関として、社会福祉行政を最も効果的に運営するために設けられた中核的な現業サービス機関です。

渋川市福祉事務所は、生活保護法、身体障害者福祉法、児童福祉法、知的障害者福祉法、老人福祉法、母子及び寡婦福祉法の福祉六法や精神保健福祉法に定める援護育成の実施、更に援護法関係、民生委員児童委員活動、青少年の健全育成、更生援護、その他各種福祉団体の育成を通じて住民福祉の向上を図ることを目的としています。

2 福祉の概要

(1) 世帯数と人口（令和2年3月末日現在）

| | |
|-----|----------------------------|
| 世帯数 | 32,348世帯 |
| 人口 | 76,429人（男37,446人、女38,983人） |

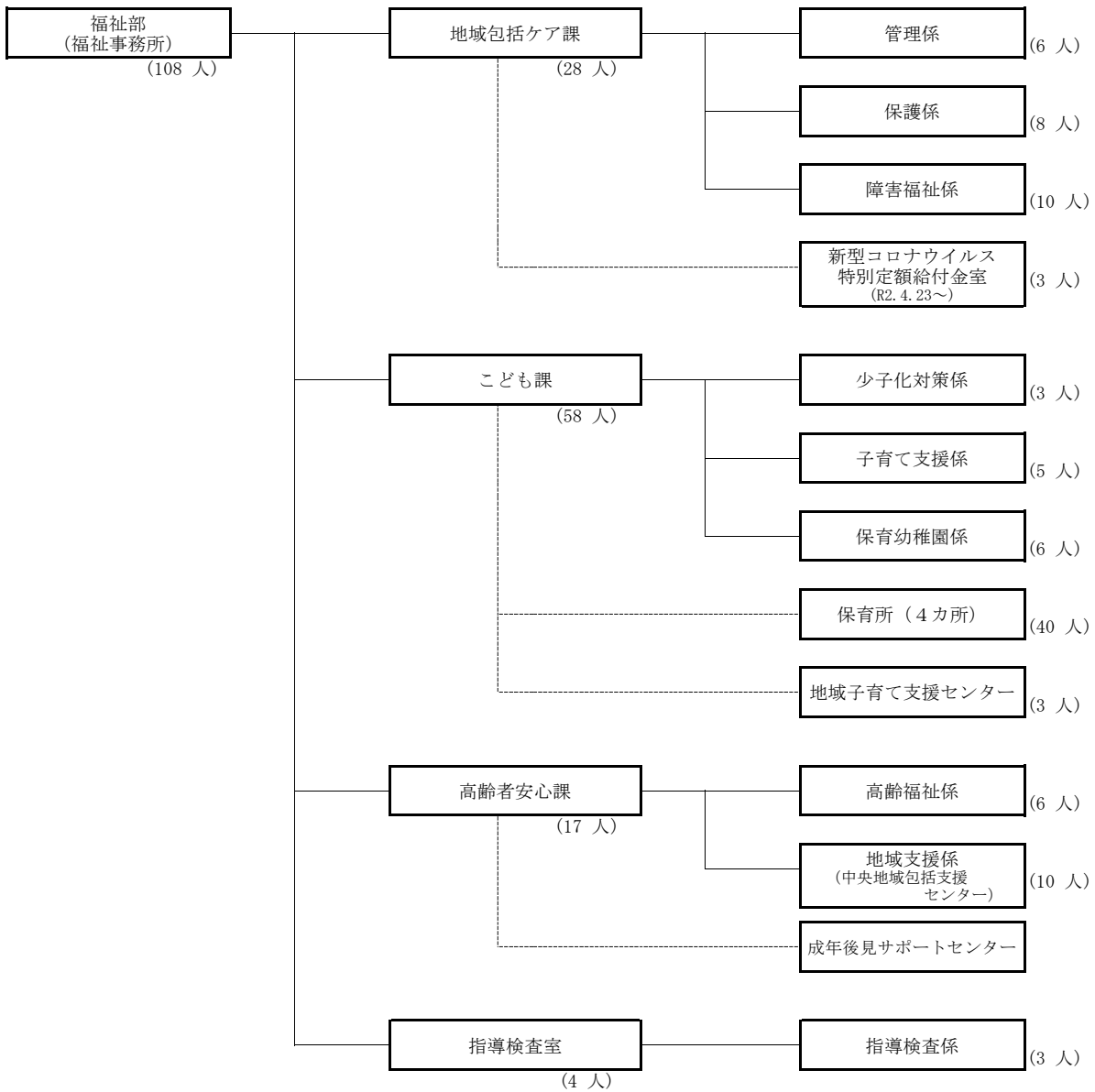
(2) 市予算に対する福祉予算の割合（令和2年度当初）

| | | |
|--------|-------------|---------------|
| 一般会計予算 | 358億8,000万円 | （前年度対比 5.3%減） |
| 福祉関係予算 | 120億3,423万円 | （前年度対比 0.1%増） |

(3) 福祉六法該当数（令和2年3月末日現在）

| | | | |
|-------------|-----------|---------|-------------|
| ア 生活保護法 | 生活保護世帯数 | 421世帯 | （保護率 0.63%） |
| | 生活保護世帯人員 | 484人 | |
| イ 児童福祉法 | 施設利用児童数 | 1,408人 | （保育所数 13） |
| ウ 身体障害者福祉法 | 身体障害児者数 | 3,452人 | （人口比 4.5%） |
| エ 知的障害者福祉法 | 知的障害児者数 | 697人 | （人口比 0.9%） |
| オ 老人福祉法 | 老人人口65歳以上 | 26,375人 | （人口比 34.5%） |
| カ 母子及び寡婦福祉法 | 母子家庭数 | 947世帯 | （世帯比 1.2%） |

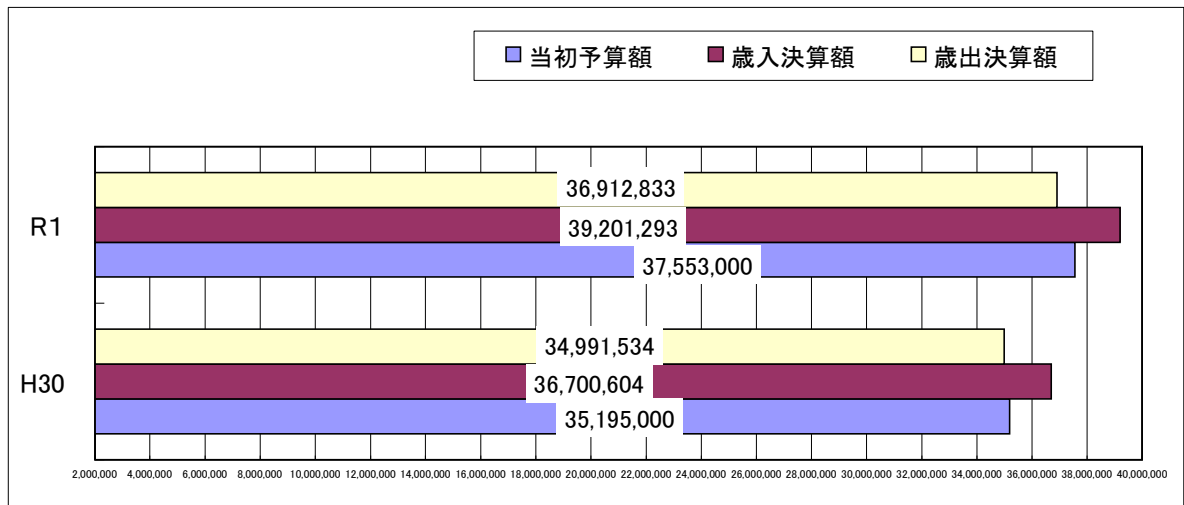
(4) 福祉部（福祉事務所）の機構（令和2年4月1日）



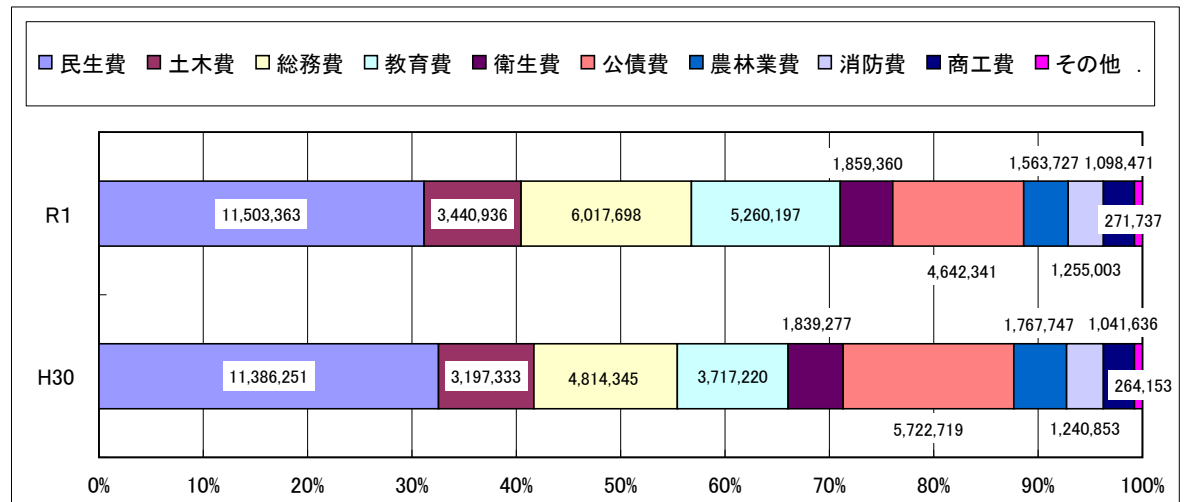
※ 嘱託職員及び臨時職員を除く

(5) 市の財政

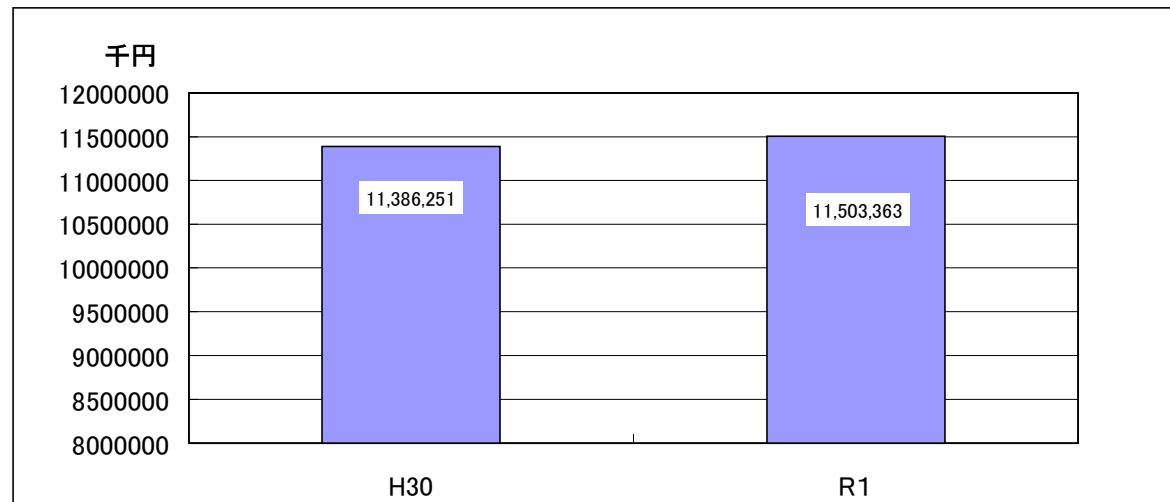
ア 一般会計予算と決算の推移（単位：千円）



イ 予算構成



ウ 民生費の推移（決算額）



3 生活保護事業

(1) 生活保護

ア 生活保護制度の目的

憲法第25条には「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とあります。

生活保護法は、この憲法の理念に基づいて、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とするものです。

イ 生活保護制度の3つの基本的原理

(ア) 無差別平等の原理

現在の生活保護法では、性別、社会的身分等のもとより、生活困窮に陥った原因の如何はいっさい問わず、もっぱら生活に困窮しているかどうかという経済的状态だけに着目して保護を行うことになっています。

(イ) 最低限度の生活の原理

この法律で保障される最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準を維持することが出来るものでなければなりません。

(ウ) 補足性の原理

保護を受けるためには、各自がその利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、その最低限度の生活のために活用することを要件とし、また、民法に定める扶養義務者の扶養および他の法律に定める扶養をこの制度による保護に優先して行わなければならないことになっています。

ウ 保護の種類

保護（扶助費）には次の8つの種類があります。

生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助

エ 保護の基準と適用

保護の申請があると福祉事務所の係員がその家庭を訪問して実態を調査します。その結果、その家庭の収入が厚生労働大臣の定めた保護基準によって計算した最低生活費より少ない場合には保護が開始されます。これを図示すると次のようになります。

最低生活費と収入との対比

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 保護が受けられる場合 | 最低生活費 |
| | 収入が最低生活費を下回るため、その不足分のみ保護が受けられます。 |
| | 収入 保護費 |
| 保護が受けられない場合 | 最低生活費 |
| | 収入が最低生活費を上回るため、保護は受けられません。 |
| | 収入 |

また、最低生活費と収入認定額及び支給額の渋川市の場合の例を挙げると次のようになります。（令和元年度数値計上・医療扶助は別途計上）

〔例1〕 標準 3人世帯の場合（33歳男、29歳女、4歳子）

| 最低生活費 | | 収入認定額 | |
|--------|----------|--------------------|-----------|
| 生活扶助基準 | 139,710円 | 児童手当 | 10,000円／月 |
| | | 働いて収入等を得た場合は収入認定する | |
| 支給額 | | 129,710円 | |

※ 住宅扶助 30,700円以内(実施機関限り)

〔例2〕 母子 3人世帯の場合（30歳女、9歳子、4歳子）

| 最低生活費 | | 収入認定額 | |
|--------|----------|--------------------|-----------|
| 生活扶助基準 | 169,010円 | 児童扶養手当 | 53,050円／月 |
| | | 児童手当 | 20,000円／月 |
| 教育扶助費等 | 3,450円 | 働いて収入等を得た場合は収入認定する | |
| 計 | 172,460円 | | |
| 支給額 | | 99,410円 | |

※ 住宅扶助 30,700円以内(実施機関限り)

※ 児童扶養手当は所得が無しの場合

〔例3〕 老人単身世帯の場合（70歳男）

| 最低生活費 | | 収入認定額 | |
|--------|---------|---------|------|
| 生活扶助基準 | 65,710円 | 無年金者 | 0円／月 |
| 計 | 65,710円 | | |
| 支給額 | | 65,710円 | |

※ 住宅扶助 30,700円以内(実施機関限り)
 (上記数値は、令和元年10月1日現在の数値を使用)

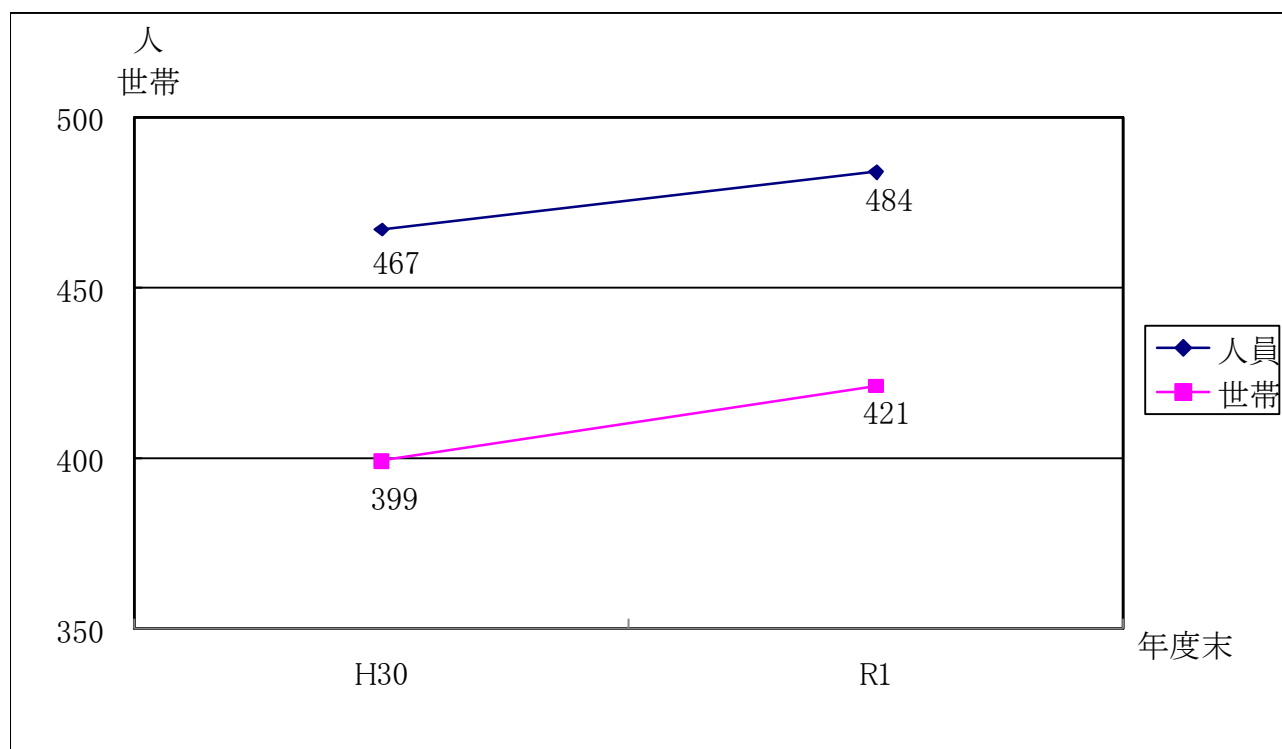
オ 生活保護の動向

生活保護を受ける人々の動きは、そのときの社会情勢や経済情勢などに対応して変動します。

渋川市の現状は、高齢者世帯の占める割合が最も多く、次いで障害者世帯、その他世帯となっています。保護の動向は、国内経済環境のみならず世界経済・環境に密接に関連し、被保護世帯数、人員ともに微増傾向にあります。

令和元年度の保護の状況は、保護率（被保護人員÷人口×100）は0.63%で、県平均の0.78%より低めです。

(ア) 被保護世帯数、人員の推移



(イ) 渋川市地区別の保護率等の推移

| | H30 | | | R1 | | |
|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|
| | 世帯 | 人員 | 保護率 | 世帯 | 人員 | 保護率 |
| 渋川 | 112 | 130 | 0.99% | 112 | 125 | 0.97% |
| 金島 | 41 | 50 | 0.57% | 48 | 56 | 0.65% |
| 古巻 | 56 | 68 | 0.58% | 67 | 80 | 0.68% |
| 豊秋 | 60 | 76 | 0.84% | 64 | 82 | 0.92% |
| 計 | 269 | 324 | 0.76% | 291 | 343 | 0.81% |
| 伊香保 | 32 | 40 | 1.44% | 27 | 34 | 1.25% |
| 小野上 | 3 | 3 | 0.20% | 4 | 4 | 0.27% |
| 子持 | 13 | 13 | 0.11% | 14 | 14 | 0.12% |
| 赤城 | 35 | 38 | 0.38% | 36 | 38 | 0.39% |
| 北橘 | 29 | 31 | 0.34% | 32 | 34 | 0.38% |
| その他 | 18 | 18 | — | 17 | 17 | — |
| 計 | 399 | 467 | 0.60% | 421 | 484 | 0.63% |

※その他：いずれの地区に属さない者（市外施設入所者等）

(ウ) 世帯類型別被保護世帯の推移

| 年度 | H30 | | R1 | |
|-----|-----|--------|-----|--------|
| | 世帯数 | 割合 | 世帯数 | 割合 |
| 高齢者 | 280 | 70.4% | 297 | 70.9% |
| 母子 | 6 | 1.5% | 7 | 1.7% |
| 障害者 | 45 | 11.3% | 50 | 11.9% |
| 傷病者 | 24 | 6.0% | 31 | 7.4% |
| その他 | 43 | 10.8% | 34 | 8.1% |
| 計 | 398 | 100.0% | 419 | 100.0% |

※年度末時点（停止の者を除く）

(エ) 渋川市の保護世帯の就労状況

()内%

| | 世帯主が働いている | | | | 世帯主は働いていないが世帯員が働いている | 働いていない者がいない | 計 |
|-----|-------------|------------|-------------|------------|----------------------|---------------|--------------|
| | 常用勤労者 | 日雇労働者 | 内職者 | その他就業者 | | | |
| H30 | 17 (4.3) | 2 (0.5) | 11 (2.8) | 2 (0.5) | 8 (2.0) | 358 (89.9) | 398 100.0 |
| R1 | 16 (3.8) | 3 (0.7) | 17 (4.1) | 0 (0.3) | 4 (1.0) | 379 (90.5) | 419 100.0 |

※年度末時点（停止の者を除く）

(オ) 保護世帯状況

() 内%

| | 1人世帯 | 2人世帯 | 3人世帯 | 4人世帯 | 5人以上世帯 | 計 |
|-----|--------|--------|-------|-------|--------|---------|
| H30 | 343 | 46 | 6 | 2 | 1 | 398 |
| | (86.2) | (11.6) | (1.5) | (0.5) | (0.3) | (100.0) |
| R1 | 370 | 40 | 5 | 3 | 1 | 419 |
| | (88.3) | (9.5) | (1.2) | (0.7) | (0.2) | (100.0) |

※年度末時点（停止の者を除く）

(カ) 医療扶助の状況

| | | 入 院 | | 入 院 外 | | 計 | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | 年 間 | 月平均 | 年 間 | 月平均 | 年 間 | 月平均 | 割合 |
| H30 | 精 神 | 192 | 16 | 100 | 8 | 292 | 24 | 6.1 |
| | その他 | 317 | 26 | 4,192 | 349 | 4,509 | 376 | 93.9 |
| | 計 | 509 | 42 | 4,292 | 358 | 4,801 | 400 | 100.0 |
| R1 | 精 神 | 188 | 16 | 146 | 12 | 334 | 28 | 6.8 |
| | その他 | 253 | 21 | 4,297 | 358 | 4,550 | 379 | 93.2 |
| | 計 | 441 | 37 | 4,443 | 370 | 4,884 | 407 | 100.0 |

※停止の者を除く

(キ) 保護開始、廃止の推移

| 区 分 | H30 | | | | R1 | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 開 始 | | 廃 止 | | 開 始 | | 廃 止 | |
| | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 |
| 年 間 | 51 | 65 | 42 | 51 | 57 | 58 | 36 | 38 |
| 月 平 均 | 4.3 | 5.4 | 3.5 | 4.3 | 4.8 | 4.8 | 3.0 | 3.2 |

(ク) 保護開始、廃止理由別状況

| 区 分 | | H30 | R1 |
|--------|--------------|-----|----|
| 開 始 | 世帯主の傷病 | 9 | 4 |
| | 世帯員の傷病 | 3 | 0 |
| | 働き手の離別不在 | 3 | 0 |
| | 就労収入の減 | 2 | 4 |
| | 預貯金の減 | 34 | 45 |
| | 転 入 | 0 | 3 |
| | そ の 他 | 0 | 1 |
| | 計 | 51 | 57 |
| 廃 止 | 世帯主の疾病治癒 | 0 | 0 |
| | 働き手の転入 | 0 | 0 |
| | 社会保障給付金の増加 | 1 | 0 |
| | 就労収入の増加・取得 | 6 | 5 |
| | 死 亡 | 22 | 23 |
| | 親類・縁者の引き取り | 0 | 0 |
| | 施 設 入 所 | 0 | 0 |
| | 医療費の他法負担 | 1 | 0 |
| | 仕送り等の増加 | 0 | 0 |
| | 転 出 | 1 | 2 |
| | 法第28条4項62条3項 | 0 | 0 |
| | そ の 他 | 11 | 6 |
| | 計 | 42 | 36 |

(ケ) 相談の状況

| | | |
|------|--------|---------------|
| 相談件数 | 平成30年度 | 148件 (開始相談含む) |
| | 令和元年度 | 169件 (同 上) |

4 生活困窮者自立支援事業

近年、暮らしに困っている人々が抱える問題は、経済的な問題に加えて社会的な孤立などがあり、それらが複合的に絡み合ったケースが増えています。

そこで、複雑な課題を抱えるなど、自立に向けたサポートが必要な方々に対して、生活全般にわたる包括的な支援を提供する仕組みを整備するため、平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行されました。この法律は、生活保護に至る前の段階において、自立に関する支援措置を講ずることにより生活困窮者の自立の促進を図るために制定されたものです。渋川市では、同法に基づき、必須事業と位置づけられた「自立相談支援事業」及び「住居確保給付金」の支給を実施しており、福祉部地域包括ケア課に生活困窮者自立支援相談窓口を設け、相談支援を行っています。相談窓口では、本人からの相談だけでなく、家族や周りの人からの相談も受け付けています。

また、平成29年度から任意事業である「子どもの学習支援事業」を実施しています。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮者の相談に応じ、アセスメントを実施して相談者の状態にあったプランを作成し、必要なサービスの提供につなげます。また、関係機関への動向訪問や就労支援員による就労支援などを行う事業です。

- ア 対象者 : 現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方
- イ 支援内容 : どのような支援が必要か、相談支援員と一緒に考え、具体的なプランを作成し、相談者に寄り添いながら、自立に向けて支援します。

※令和元年度事業実績

- 【相談件数】 新規相談受付件数 123件（延べ171件）
- 【主な対応】 ハローワークへの連絡・相談件数 30件
社会福祉協議会へつなぎ相談した件数 16件
就労プラン作成件数 24件
- 【就労決定者数】 15人（昨年度比7人減）

(2) 住居確保給付金支給事業

離職により住居を失った又はそのおそれが高い生活困窮者であって、収入等

が一定水準以下の者に対して、有期で家賃相当額を支給する事業です。

ア 支給対象者

支給申請時に次の要件をすべて満たす方が対象になります。

- (ア) 離職等により経済的に困窮し、住居（賃貸）喪失者または住居（賃貸）喪失のおそれのある者
- (イ) 申請時において、65歳未満であって、かつ離職等の日から2年以内であること
- (ウ) 国の雇用施策による給付等を受けていないこと

イ 支給要件

- (ア) 収入要件：申請日の属する月における、申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入の合計額が、「基準額※」に申請者の居住する賃貸住宅の家賃額を合算した額（収入基準額）以下であること
- (イ) 資産要件：申請日における、申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の所有する金融資産の合計額が「基準額※」×6以下であること
※基準額＝市町村民税均等割が非課税となる収入額の1/12
- (ウ) 就職活動要件：
 - ・月4回以上、自立相談支援機関の面接等の支援を受けること
 - ・月2回以上、公共職業安定所で職業相談等を受けること
 - ・原則、週1回以上、求人先へ応募を行う、又は求人先の面接を受けること

ウ 支給期間

3か月を限度としていますが、支給期間中に受給者が常用就職できなかつた場合であって、引き続き住居確保給付金の支給が就職の促進に必要であると認められた場合は、3か月を限度に2回まで、延長及び再延長することができます。

エ 支給額

賃貸住宅の家賃額。ただし、地域ごとの上限額（生活保護の住宅扶助特別基準に準拠した額）及び収入に応じた調整があります。

※令和元年度事業実績

【支給世帯数】 2世帯（単身世帯2世帯、複数世帯0世帯）

【支給月】 8か月分

【総支給額】 215,000円

(3) 子どもの学習支援事業

経済的に厳しい状況にある世帯の子どもが、希望する進学等を果たせるように学力の向上を支援するとともに、世帯が抱える問題や不安に対し助言や支援を行い、世帯の自立（日常生活自立及び社会生活自立及び就労自立）を促進することを目的とする事業です。

ア 支援対象者

- (ア) 生活保護受給世帯に属する中学1年生から3年生までの子ども
- (イ) 児童扶養手当受給世帯に属する中学3年生の子ども

イ 実施方法

支援員が対象者のうち当該事業希望者の自宅を訪問し、学習支援等を行うもので、訪問回数は2週間に1回、1回あたりの支援時間は2時間30分以内とされています。

※令和元年度事業実績

| | |
|-----------|-----|
| 【学習支援利用者】 | 18人 |
| 【学習支援員】 | 9人 |

5 障害者福祉事業

本市では、「ノーマライゼーションの推進」を基本理念に掲げ、「第1期渋川市障害者計画（平成19～23年度）」、「第1期渋川市障害福祉計画（平成18～20年度）」、「第2期渋川市障害者計画及び第3期渋川市障害福祉計画（平成24～26年度）」を策定し共に生き共に支え合う地域社会を目指してきました。「第3期渋川市障害者計画及び第4期渋川市障害福祉計画（平成27～29年度）」を経て、現在は「第4期渋川市障害者計画及び第5期渋川市障害福祉計画（第1期渋川市障害児福祉計画）（平成30年度～令和2年度）」を策定し各種事業を推進しています。

国では、地域社会における共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう日常生活・社会生活の支援が総合的かつ計画的に行われることを基本理念として、障害者自立支援法に代わる障害者総合支援法が平成25年4月から施行されました。障害があっても当たり前前に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる社会を実現するため、障害者等が地域や住み慣れた場所で暮らすために計画相談等により必要なサービス確保、地域生活を支援するための移動支援及び意思疎通支援などの地域生活支援事業の着実な実施や定着を図りました。

（1）身体障害者福祉

身体障害者に対する福祉施策は、人権尊重の立場から、更生を援護し、社会生活への参加の実現を目指すものです。

昭和25年4月に、「身体障害者福祉法」が施行され、民主的な理念に基づいた身体障害者全体のための制度として、社会復帰と、そのための医学的、心理的、社会的、包括的な援護の提供がなされてきたところです。加えて昭和45年5月には、「身体障害者対策基本法」が施行され、障害者福祉関係施策の基本的事項が定められ、より体系的、総合的な福祉対策の実施が推進されてきました。

平成12年6月に「社会福祉の増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する法律」が制定され、平成15年度からは「措置制度」から障害者自らがサービスを選択し利用する「支援費制度」へ移行し、更に平成18年度からは「障害者自立支援法」により、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

近年交通事故、労働災害、公害、生活習慣病等による身体障害者の増加が著しく、また、人口の高齢化に伴い、高齢の身体障害者が増加し、従前の福祉対策では必ずしも十分な対応ができない状況になってきました。

ここに、身体障害者の福祉対策がいわゆる施設の整備拡充等による施設収容中心から、在宅対策の必要性がみいだされ、所得保障、職業、教育、医療などの諸施策の整備と、障害者が地域社会の構成員として、あらゆる障害（ハンディキャップ）を軽減するための生活環境の整備が進められています。

現在では、「障害者総合支援法」と相まって、身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、身体障害者の援助等を行い、もって身体障害者の福祉の増進を図っています。

ア 身体障害者手帳交付状況

| 種別 | 等級 | 年度 | | | | | | | | | |
|------|----|--------|-------|---------------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|
| | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
| 視覚 | 1 | 125 | 111 | 116 | 112 | 110 | 106 | 100 | 94 | 96 | 97 |
| | 2 | 60 | 60 | 65 | 64 | 60 | 61 | 57 | 59 | 57 | 58 |
| | 3 | 16 | 16 | 17 | 17 | 16 | 17 | 14 | 10 | 10 | 8 |
| | 4 | 10 | 8 | 9 | 7 | 7 | 7 | 5 | 2 | 4 | 5 |
| | 5 | 22 | 20 | 22 | 21 | 24 | 26 | 23 | 24 | 22 | 23 |
| | 6 | 14 | 13 | 14 | 13 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | 計 | 247 | 228 | 243 | 234 | 229 | 228 | 210 | 200 | 200 | 202 |
| 聴覚 | 1 | 30 | 29 | 32 | 31 | 32 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 |
| | 2 | 65 | 63 | 60 | 63 | 67 | 62 | 61 | 57 | 58 | 58 |
| | 3 | 39 | 36 | 39 | 34 | 33 | 38 | 40 | 43 | 37 | 33 |
| | 4 | 64 | 62 | 58 | 65 | 71 | 66 | 68 | 71 | 78 | 81 |
| | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 6 | 82 | 81 | 89 | 96 | 104 | 106 | 111 | 113 | 113 | 113 |
| | 計 | 281 | 272 | 278 | 289 | 308 | 305 | 312 | 315 | 316 | 314 |
| 音声言語 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| | 2 | 7 | 9 | 10 | 8 | 7 | 7 | 8 | 8 | 7 | 7 |
| | 3 | 23 | 23 | 24 | 22 | 24 | 25 | 23 | 23 | 25 | 22 |
| | 4 | 8 | 6 | 7 | 8 | 8 | 12 | 11 | 12 | 12 | 11 |
| | 計 | 39 | 39 | 43 | 40 | 41 | 46 | 44 | 45 | 46 | 43 |
| 肢体 | 1 | 464 | 436 | 476 | 484 | 475 | 443 | 447 | 450 | 439 | 438 |
| | 2 | 388 | 388 | 397 | 391 | 399 | 382 | 360 | 366 | 370 | 365 |
| | 3 | 362 | 341 | 366 | 366 | 356 | 343 | 334 | 330 | 313 | 306 |
| | 4 | 380 | 388 | 418 | 424 | 419 | 407 | 390 | 371 | 361 | 370 |
| | 5 | 221 | 210 | 222 | 222 | 226 | 218 | 207 | 198 | 191 | 192 |
| | 6 | 102 | 96 | 101 | 98 | 97 | 88 | 86 | 84 | 81 | 81 |
| | 計 | 1,917 | 1,859 | 1,980 | 1,985 | 1,972 | 1,881 | 1,824 | 1,799 | 1,755 | 1,752 |
| 内部 | 1 | 611 | 622 | 660 | 685 | 698 | 695 | 693 | 706 | 715 | 724 |
| | 2 | 12 | 10 | 12 | 13 | 13 | 16 | 16 | 16 | 18 | 16 |
| | 3 | 173 | 180 | 188 | 179 | 183 | 188 | 167 | 169 | 176 | 174 |
| | 4 | 197 | 205 | 209 | 218 | 220 | 207 | 213 | 216 | 222 | 227 |
| | 計 | 993 | 1,017 | 1,069 | 1,095 | 1,114 | 1,106 | 1,089 | 1,107 | 1,131 | 1,141 |
| 合計 | 1 | 1,231 | 1,199 | 1,286 | 1,314 | 1,317 | 1,278 | 1,273 | 1,282 | 1,281 | 1,290 |
| | 2 | 532 | 530 | 544 | 539 | 546 | 528 | 502 | 506 | 510 | 504 |
| | 3 | 613 | 596 | 634 | 618 | 612 | 611 | 578 | 575 | 561 | 543 |
| | 4 | 659 | 669 | 701 | 722 | 725 | 699 | 687 | 672 | 677 | 694 |
| | 5 | 244 | 231 | 244 | 243 | 251 | 245 | 231 | 223 | 214 | 216 |
| | 6 | 198 | 190 | 204 | 207 | 213 | 205 | 208 | 208 | 205 | 205 |
| | 計 | 3,477 | 3,415 | 3,613 | 3,643 | 3,664 | 3,566 | 3,479 | 3,466 | 3,448 | 3,452 |
| 人口比 | | 4.13 | 4.09 | 4.34 | 4.44 | 4.51 | 4.43 | 4.37 | 4.41 | 4.45 | 4.51 |
| 市人口 | | 76,429 | 人 | (令和2年3月31日現在) | | | | (令和元年度末) | | | |

イ 障害者自立支援給付の状況

(ア) 障害者自立支援給付費の状況(身体、知的及び精神を含む)

| | サービス事業名 | 件数 | 金額 |
|--------|------------------------|--------|---------------|
| 介護給付費 | (1)居宅介護 | 1,285 | 56,571,530 |
| | (2)重度訪問介護 | 40 | 9,176,966 |
| | (3)同行援護 | 349 | 15,870,328 |
| | (4)行動援護 | 31 | 1,225,556 |
| | (5)療養介護(医療を除く) | 216 | 55,442,550 |
| | (6)生活介護 | 2,609 | 555,594,185 |
| | (7)短期入所 | 305 | 14,708,834 |
| | (8)施設入所支援 | 1,758 | 217,005,699 |
| | 計 | 6,593 | 925,595,648 |
| 訓練等給付費 | (1)共同生活援助 | 1,315 | 142,612,624 |
| | (2)自立訓練(機能・生活・宿泊) | 158 | 19,185,340 |
| | (3)就労移行支援 | 210 | 29,197,713 |
| | (4)就労継続支援 | 2,830 | 398,071,442 |
| | (5)就労定着支援 | 4 | 67,595 |
| | (6)サービス利用計画費・計画相談支援給付費 | 1,739 | 29,214,403 |
| | (7)地域相談支援給付費 | 182 | 595,952 |
| | 計 | 6,438 | 618,945,069 |
| 自立支援医療 | (1)育成医療 | 73 | 1,252,342 |
| | (2)更生医療 | 187 | 63,335,332 |
| | (3)療養介護医療 | 216 | 16,784,533 |
| | 計 | 476 | 81,372,207 |
| 合計 | | 13,507 | 1,625,912,924 |

(令和元年度末)

(イ) 施設通所・施設入所状況(身体、知的及び精神を含む)

通所

| 市町村 | 利用者数 | 施設名称 | 集計 |
|---------|------|----------------|----|
| 渋川市 | 172 | あいぼーと あすなる | 29 |
| | | エステル | 24 |
| | | すばる | 22 |
| | | はこべら | 19 |
| | | カラフル | 16 |
| | | ハニービー渋川 | 15 |
| | | とぼす作業所 | 13 |
| | | 群馬エレクトクス | 10 |
| | | ベテル | 9 |
| | | なずな | 8 |
| | | シャローム | 7 |
| 前橋市 | 37 | ゆずりは | 6 |
| | | 菜の花 | 5 |
| | | レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場 | 5 |
| | | きぼう | 3 |
| | | なかま | 3 |
| | | リーフ | 3 |
| | | こせら | 2 |
| | | サニーズマーケット | 2 |
| | | ひゅーまにあ前橋 | 2 |
| | | エコハンズ | 1 |
| | | オーブ | 1 |
| | | ガーデンタイム | 1 |
| | | さくらの丘 | 1 |
| | | 太陽 | 1 |
| 麦わら屋 | 1 | | |
| 高崎市 | 17 | あいりす | 3 |
| | | ディーキャリア高崎オフィス | 2 |
| | | リンケージ | 2 |
| | | ワークフォー高崎 | 2 |
| | | ONE CODE | 1 |
| | | ウェルビー高崎駅前センター | 1 |
| | | エール | 1 |
| | | きずな | 1 |
| | | ホープ高崎 | 1 |
| | | まるまるクリ〜ン | 1 |
| | | ワークハウスみやま | 1 |
| わくわくミサト | 1 | | |
| 太田市 | 2 | エコネットおおた | 1 |
| | | 麦の家 | 1 |
| 安中市 | 2 | ワークショップほしの子 | 2 |
| 吉岡町 | 20 | ワークショップくんえい | 10 |
| | | みやま工房 | 6 |
| | | キッチンハウスみやま | 4 |
| 榛東村 | 5 | 麦のゆめ・工房はるな | 3 |
| | | あゆみ | 2 |
| 中之条町 | 3 | ほほえみ工房 | 2 |
| | | ワークスタジオ吾妻 | 1 |
| 玉村町 | 1 | ふらっとにしきの | 1 |
| 埼玉県 | 1 | オリーブファーム | 1 |
| 合計 | 260 | | |

(令和元年度末)

入所

| 市町村 | 利用者数 | 施設名称 | 集計 |
|------|------|----------------------|----|
| 渋川市 | 96 | めぐみの里 | 21 |
| | | 誠光荘 | 19 |
| | | かおる園 | 12 |
| | | あかぎ育成園 | 11 |
| | | しきしま | 11 |
| | | 清泉園 | 10 |
| | | さくら園 | 8 |
| | | グレイスホーム | 2 |
| | | 並木路荘 | 2 |
| 前橋市 | 9 | 桂荘 | 4 |
| | | 青空 | 3 |
| | | 泉荘 | 1 |
| | | こがね荘 | 1 |
| 高崎市 | 18 | みのわ育成園 | 4 |
| | | あすなろ荘 | 3 |
| | | 大地 | 3 |
| | | 大平台学園 | 2 |
| | | かつら荘 | 2 |
| | | さわら荘 | 2 |
| | | 友貴園 | 1 |
| | | ひのき荘 | 1 |
| 桐生市 | 3 | つつじヶ丘光の園 | 2 |
| | | エルシーヌ藤ヶ丘 | 1 |
| 伊勢崎市 | 2 | 群馬県立障害者リハビリテーションセンター | 2 |
| 太田市 | 1 | はるかぜ荘 | 1 |
| みどり市 | 1 | はーとふるチハヤ | 1 |
| 富岡市 | 1 | みらい | 1 |
| 吉岡町 | 7 | 薫英荘 | 7 |
| 東吾妻町 | 6 | やまばと | 4 |
| | | 大原荘 | 2 |
| 埼玉県 | 1 | 国立障害者リハビリテーションセンター | 1 |
| 福井県 | 1 | ライトホープセンター | 1 |
| 合計 | 146 | | |

(令和元年度末)

(ウ) 補装具交付・修理状況

| No. | 区分 | | 交付 | 修理 | 合計 |
|-----|---------------|-------------------|----|----|-----|
| 1 | 義肢 | 義手 | 0 | 1 | 1 |
| | | 義足 | 8 | 6 | 14 |
| 2 | 装具 | 下肢・足底 | 9 | 13 | 22 |
| | | 靴型 | 4 | 0 | 4 |
| | | 上肢 | 1 | 0 | 1 |
| | | 体幹 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 義眼 | オーダーメイド | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 眼鏡 | 遮光眼鏡 | 1 | 0 | 1 |
| | | 矯正眼鏡 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 補聴器 | 高度難聴用ポケット型 | 0 | 0 | 0 |
| | | 高度難聴用耳掛け型 | 16 | 5 | 21 |
| | | 重度難聴用ポケット型 | 1 | 0 | 1 |
| | | 重度難聴用耳掛け型 | 7 | 7 | 14 |
| 6 | 車椅子 | 普通型 | 7 | 8 | 15 |
| | | リクライニング・ティルト式手押し型 | 0 | 0 | 0 |
| | | ティルト式手押し型 | 1 | 1 | 2 |
| | | リクライニング・ティルト式普通型 | 0 | 1 | 1 |
| | | その他 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | 電動車椅子 | 普通型 (4.5km/h) | 0 | 1 | 1 |
| | | 電動リクライニングティルト式普通型 | 0 | 2 | 2 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 座位保持装置車いす機能付き | | 0 | 3 | 3 |
| 9 | 座位保持装置 | | 4 | 3 | 7 |
| 10 | 盲人用安全杖 | | 2 | 0 | 2 |
| 11 | 歩行器 | | 0 | 1 | 1 |
| 12 | 歩行補助杖 | | 1 | 0 | 1 |
| 13 | 重度障害者用意思伝達装置 | | 0 | 2 | 2 |
| 14 | 座位保持いす | | 1 | 0 | 1 |
| 15 | 基準外補聴器 | | 1 | 1 | 2 |
| 計 | | | 67 | 55 | 122 |

(令和元年度末)

(エ) 自立支援医療（更生医療及び育成医療） 39人(令和元年度末)

ウ 地域生活支援事業の状況

(ア) 日常生活用具給付事業（児童分含む）

| No. | 区分 | 個数 | No. | 区分 | 個数 |
|-----|------------------|----|-----|------------------|-------|
| 1 | 特殊寝台 | 2 | 13 | 視覚障害者用活字文書読み上げ装置 | 1 |
| 2 | 入浴補助用具 | 1 | 14 | 視覚障害者用拡大読書器 | 2 |
| 3 | 火災警報器 | 1 | 15 | 視覚障害者用時計（音声） | 1 |
| 4 | 電磁調理器 | 1 | 16 | 聴覚障害者用通信装置 | 4 |
| 5 | 聴覚障害者用屋内信号装置 | 2 | 17 | 人工咽頭（電動式） | 2 |
| 6 | 透析液加湿器 | 2 | 18 | 居宅生活動作補助用具 | 3 |
| 7 | ネブライザー（吸引器） | 1 | 19 | ストーマ装具 | 1,554 |
| 8 | 電気式たん吸引器 | 5 | 20 | 紙おむつ等 | 161 |
| 9 | 視覚障害者用体温計（音声式） | 3 | | | |
| 10 | 情報・通信支援装置 | 1 | | | |
| 11 | 点字ディスプレイ | 1 | | | |
| 12 | 視覚障害者用ポータブルレコーダー | 2 | 合計 | | 1,750 |

(令和元年度末)

(イ) 地域生活支援事業

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|-------------------|--|-------------------------------|
| 移動支援事業 | 屋外での移動に困難がある障害者等について、外出のための支援をい行うことにより、障害者等の地域での自立生活及び社会参加を促す。 | 実利用者数 75人 延利用時間 7,228時間 |
| 日中一時支援事業 | 障害者等を一時的に預かり、障害者等に日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常生活訓練を行う。 | 実利用者数 99人 延利用回数 5,922回 |
| 福祉ホーム事業 | 家庭環境、住宅事情等の理由により、住居を求めている障害者に、低額な料金で居室等を利用させ、日常生活に必要な便宜を供与し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援。 | 実利用者数 0人 |
| 障害者スポーツレクリエーション事業 | 障害があるため屋外運動の機会の少ない障害者が一堂に集い、親睦と交流を深めるとともに、体力の維持及びリハビリテーション効果等図る。 | 参加数 81人 1回開催 |
| 訪問入浴サービス事業 | 家庭において入浴が困難な在宅の重度身体障害者を対象に実施。 | 実利用者数 7人 延利用回数 185回 |
| ボランティア活動支援事業 | こころの健康づくりボランティア養成講座を実施し、ボランティアの現状と必要性を学び、理解と育成を図る。 | 新型コロナウイルス感染防止のため中止 |
| 身体障害者自動車改造費補助金 | 肢体不自由による身体障害者が所有しようとする自動車を運転しやすいように制御装置等を設置するための改造に要する経費の一部補助。 | 交付件数 3件 |
| 更生訓練事業 | 自立訓練事業及び就労移行支援のサービスを利用している障害者が自立した日常生活や就労を希望する場合、訓練に必要な文具等の訓練経費や通所のための交通費を一部補助。 | 実利用者数 2人 延利用件数 11回 |

(令和元年度末)

エ 身体障害者福祉（給付・サービス等）の状況

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|---------------------|--|---|
| じん臓機能障害者等通院交通費助成事業 | じん臓または小腸の機能に障害を有する方が、症状を軽減または除去する目的で、医療機関において医療を受けるために、通院に要した交通費を支払った場合の交通費の一部を補助 | じん臓機能障害者 90人 小腸機能障害者 2人 計92人 |
| ファックス設置事業 | 聴覚または音声・言語機能障害者が社会生活の必要上ファックスを設置した場合、その基本料を助成。 | 5件 |
| 重度身体障害者(児)住宅改造費補助事業 | 身体障害者手帳の下肢、体幹または上肢(両上肢4級以上)機能障害1級・2級、視覚障害者1級の者の世帯が住宅設備を障害者に適するように改造する場合に補助。(所得要件あり) | 利用件数 2件 |
| 特定疾患患者等見舞金支給事業 | 特定疾患医療給付受給者と小児慢性特定疾患医療給付受給者に対し、見舞金を支給 | 特定医療(特定難病) 35人 特定疾患医療 0人 小児慢性指定医療費 1人 計36人 |
| 特別障害者手当等給付事業 | 精神または身体に著しく重度の障害を有し、日常生活において常時介護を必要とする在宅の特別障害者に対して、重度の障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給(特別障害者手当・障害児福祉手当・経過的福祉手当) | 73人 |
| 福祉ハイヤー料金助成事業 | 在宅の重度心身障害者(自動車税・軽自動車税の減免を受けていない者)が社会生活の必要上、ハイヤーを利用した場合、その料金の一部を助成 | 利用枚数 707枚 |

(令和元年度末)

オ 手話普及推進事業

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|---------------|--|-------------------|
| 意思疎通支援事業 | 聴覚障害者の生活を支えるため手話通訳者等の派遣等を行う。 | |
| | ・手話通訳者派遣事業 | 派遣件数 166件 |
| | ・要約筆記者派遣事業 | 派遣件数 3件 |
| | ・手話通訳者設置事業(市役所・なんでも相談室) | 利用回数 172回 |
| 手話教室 | 市民向け ・一般市民(6回) ・観光業従事者(1回) ・医療機関従事者(4回) | 計11回 参加延数 185人 |
| | 小中学校(15校) | 参加延数 800人 |
| 手話奉仕員養成講座 | ・入門課程 13人 ・基礎課程 14人 ・フォローアップ課程 17人 | 受講者計 44人 |
| 認定手話通訳者試験対策講座 | 県認定手話通訳者試験の対策のための講座を開催。(6回) | 受講者 5人 |

(令和元年度末)

カ その他

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|-----------------|---|--------------------------------|
| 聴覚障害者教養講座実施事業 | 身体障害者が社会生活上必要な知識を得るための各種教養講座等を開催し、研修・交流の場を提供。 | 実施回数 4回 (料理教室等) 参加者 110人 |
| 身体障害者文化教養講座実施事業 | 身体障害者の教養を高めるとともに親睦と交流を深める。落語交流会や地域教養講座を開催。 | 実施回数 3回(落語交流会等) 参加者 30人 |
| 身体障害者温泉療養訓練事業 | 障害者個人では困難な温泉の宿泊機会をつくり、生きがいを高めるとともに機能回復と親睦を図る。 | 開催場所 たちばなの郷 城山 参加者 19人 |

(令和元年度末)

(2) 知的障害者福祉

知的障害者に対する福祉の充実は、昭和35年3月の「精神薄弱者福祉法」の制定以来その理念に基づき、施設対策と在宅対策が実施されてきました。

近年、心身障害者の福祉向上には全ての障害者が地域社会の一員として、安定した生活を営むことのできる社会環境の整備、実現を目標とした地域社会への働きかけを推進して、広く住民の理解と協力を求めることに重点が置かれています。

身体障害者福祉と同じく、平成15年度から「措置制度」から「支援費制度」へと移行しました。平成18年度には「障害者自立支援法」によることとなりました。

今後、地域活動への参加、教育の充実、生活環境の改善、あるいはボランティア活動、ホームヘルパーによる在宅対策の推進等によりそれぞれ障害者が社会の一員として生活できるよう更に推進する必要があります。

現在では、「障害者総合支援法」と相まって、知的障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、知的障害者の援助等を行い、もって知的障害者の福祉増進を図っています。

ア 療育手帳交付状況

| 重度 | 中度 | 軽度 | 合計 |
|------|------|------|------|
| 239人 | 206人 | 252人 | 697人 |

(令和元年度末)

イ 障害児通所支援

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|-----------|--|--|
| 児童発達支援 | 未就学の児童に、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練などを行う。 | 支給決定者 33人 利用延人数 482人 (やむを得ない措置を含む) |
| 医療型児童発達支援 | 未就学の肢体不自由がある児童に、日常生活における基本動作の指導、理学療法などの機能訓練を行う。 | 利用者なし |
| 放課後デイサービス | 就学している障害児に対し、主に学校の放課後において生活能力向上のために必要な訓練、地域との交流等を行う。 | 支給決定者数 93人 利用延人数 1,323人 |
| 保育所等訪問支援 | 専門職員が保育所などを訪問し、集団での生活に必要な訓練やスタッフへの助言等を行う。 | 支給決定者数 0人 利用延人数 9人 |

(令和元年度末)

ウ 地域生活支援事業の状況

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|----------------------------|---|------------|
| 地域生活支援センター(Ⅲ型) ※かえでの園 | 障害者のための創造的・生産活動の機会を提供することにより社会生活・家庭生活に必要な学習、指導を行い社会復帰を目指す。 NPO法人ハンドインハンドに指定管理委託。 | 登録者 17人 |
| 日中一時支援事業 (登録介護者事業) | 保護者が障害児(者)を一時的に介護できない場合、一定資格を有する登録介護者に預ける。 | 延利用者数 5人 |
| 日中一時支援事業 (サービスステーション事業) | 保護者が障害児(者)を一時的に介護できない場合、サービスステーション(県登録)に預ける。 | 延利用者数 420人 |

(令和元年度末)

エ その他

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|--------------------------|---|--|
| 心身障害者扶養共済事業 | 心身に障害を持つ人を扶養している保護者が、毎月掛金を納めることで、保護者が亡くなった時などに、障害のある方に対し、月額2万円年金を一生涯支給する制度。 | 受給数 50人(57口) 加入数 63人(94口) |
| 知的障害者福祉月間 広報事業 | 9月1日～30日。 パレードを実施。(9/10) | パレード参加 52人 |
| ゆうあいピック記念温水 プール利用促進事業 | 障害者送迎用ワゴン車運行(毎週水・金・日曜日及び第2・4木曜日) | バス利用者数 1,257人 施設利用者 45,133人(うち障害者・高齢者34,243人) |

(令和元年度末)

(3) 精神障害者福祉

精神保健福祉行政については、精神障害者の人権に配慮した適正な医療を確保するとともに、精神障害者の社会復帰の促進を図るという観点から、昭和62年に精神衛生法の一部改正、平成5年に精神保健法の一部改正が行われました。

また、平成5年12月に成立した障害者基本法により、精神障害者がこの法律の対象として明確に位置づけられることになり、平成7年には精神障害者の福祉政策の一層の推進を図るため精神保健法の一部改正を行い、法律名も精神保健法から「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」と変更したほか、同年には、精神障害者社会復帰施設の計画的な整備を含む「障害者プラン」が策定されるなど精神障害者施策の推進が図られています。

精神保健福祉政策は、国民全体で取り組まなければならない重要かつ身近な問題ですが、未だに精神障害者に対する社会的偏見は根強いものがあります。

在宅の精神障害者に対する生活支援を積極的に行うとともに、入院患者の社会復帰を推進するため、社会復帰施設等の整備を引き続き図り、他の障害者の福祉施策と遜色のないものとしていく必要があります。

なお、平成18年の障害者自立支援法施行により、障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害）ごとサービスを一元化して提供することとなりました。

現在では、精神障害者の医療及び保護を行い、「障害者総合支援法」と相まって、その社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助等を行い精神障害者の福祉の増進を図っています。

ア 精神障害者手帳交付状況（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律）

| 1級 | 2級 | 3級 | 合計 |
|------|------|-----|------|
| 218人 | 267人 | 84人 | 569人 |

（令和元年度末）

イ 地域生活支援事業の状況

| 項目 | 概要 | 利用者等 |
|-----------------|---|--------------------|
| 地域活動支援センター（I型） | 精神障害者を対象に日常生活支援及び各種相談対応、創作的活動・生産活動の機会を提供し自立と社会参加の促進を図る。「あじさい」を大利根会に運営委託。 | 登録者 170人 |
| 障害者成年後見制度利用支援事業 | 判断能力が不十分で、親族等による申し立てが期待できず、放置できない状況の障害者に対し、市長が成年後見人選任の申し出を行い障害者の権利擁護を図るとともに後見人の活動を支援する。 | 申出件数 0件 報酬付与 0件 |

（令和元年度末）

(4) その他(全体事業)

ア 渋川地域自立支援審査会事業

障害者の支援区分及び介護給付費等支給に関する審査判定を行っています。
榛東村、吉岡町と共同設置で、事務局は本市で行い経費は按分。

- ・審査件数：259件(内渋川市分191件)、委員数5人、毎月第3水曜日開催

イ 渋川地域自立支援協議会

障害者相談支援事業実施において、中立・公正を保つことなど地域の実情に応じた障害福祉施策の推進に関する協議の場としての機能を目的とする。

榛東村、吉岡町と共同運営。事務局は本市で行い、全体会議、定例会議、個別支援会議、特定課題会議などを実施。

- ・構成員及び定例会：3市町村、指定相談支援事業者、指定障害者福祉サービス事業者、関係行政機関等、定例会は年6回開催

ウ 「渋川広域障害福祉なんでも相談室」の設置

市町村の必須事業(相談支援事業)として、平成18年10月開設、平成21年4月から社会福祉センター(渋川ほっとプラザ)に設置。

NPO法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会に委託。

(R2.3.31現在職員12名)

各年度の相談件数

| 年度 | 身体 | | 知的 | | 精神 | | その他 | | 計 | | 渋川市のみの相談件数 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|------------|
| | 人数 | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 | 回数 | |
| H27 | 641 | 2,578 | 1,246 | 5,084 | 641 | 2,433 | 468 | 1,981 | 2,996 | 12,076 | 8,155 |
| H28 | 645 | 2,914 | 1,238 | 4,775 | 605 | 2,472 | 621 | 2,364 | 3,109 | 12,525 | 8,792 |
| H29 | 658 | 3,046 | 1,219 | 3,946 | 598 | 2,398 | 753 | 2,671 | 3,228 | 12,061 | 8,421 |
| H30 | 652 | 2,860 | 1,400 | 4,400 | 639 | 2,394 | 941 | 3,178 | 3,632 | 12,832 | 8,882 |
| R1 | 605 | 2,702 | 1,359 | 4,657 | 652 | 2,404 | 1,068 | 3,906 | 3,684 | 13,669 | 9,596 |

※各月4~3月までの延人数・数実績(広域圏外利用者を含む) (令和元年度末)

エ 地域活動支援センター

| 年月日 | 経過 |
|----------|--|
| H18.10.1 | 精神障害者地域生活支援センター「あじさい」が、地域活動支援センター（Ⅰ型）に移行。 |
| H19.3.31 | 福祉作業所「かえでの園」が、地域活動支援センター（Ⅲ型）に移行。 |
| H19.4.1 | 「なずな」「あすなろ作業所」が、地域活動支援センター（Ⅲ型）に移行。 |
| H20.4.1 | 「いぶき」が、地域活動支援センター（Ⅲ型）に移行。 |
| H22.4.1 | 「あすなろ作業所」が、障害者自立支援法の障害福祉サービス事業所、就労継続支援B型に移行。 |
| H23.4.1 | 「いぶき」が、障害者自立支援法の障害福祉サービス事業所、就労継続支援B型「すばる」に一部移行。 |
| | 「なずな」が、障害者自立支援法の障害福祉サービス事業所、就労継続支援B型「はこべら」に一部移行。 |
| H29.3.31 | 「なずな」を廃止。就労継続支援B型に移行。 |
| H30.4.1 | 「いぶき」を「かえでの園」に統合。 |

オ 障害者虐待防止対策事業

平成24年10月の「障害者虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行に伴い障害者虐待防止センターを設置し、下記の事業を行っています。（NPO法人渋川広障害保健福祉事業者協議会に委託。榛東村、吉岡町も同協議会に委託）

（事業内容）

- ・ 障害者虐待に係る通報等の受理（24時間365日）
- ・ 障害者及び養護者に対して相談、指導及び助言（家庭訪問・カウンセリング等）他
- ・ 緊急時の一時保護のための居室確保

| 虐待の通報・相談等の件数 | | | | 虐待確定の件数 | | | |
|--------------|------|-----|---|---------|-------|-----|---|
| 市役所 | センター | その他 | 計 | 養護者 | 施設従事者 | 使用者 | 計 |
| 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 実人数 3名 | | | | 実人数 0名 | | | |

（令和元年度）

6 福祉事業基金

平成元年4月に設置され、基金の運用から生ずる収益は事業の財源にあてられます。また、原資についても福祉施設整備事業等に充当できるよう改正し、福祉事業の充実に図っています。

(1) 基金積立額及び預金利子

| 年次 | 基金積立額 | 増加額（対前年比） | 預金利子 |
|---------|--------------|--------------|----------|
| 平成30年度末 | 334,983,742円 | -18,372,624円 | 568,579円 |
| 令和元年度末 | 303,420,146円 | -31,563,596円 | 560,763円 |

(2) 基金運用収益（預金利子）充当事業

（単位：千円）

| 当事業 | 年度充 | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|---------------|-----|--------|-----------|-------|------------|
| | | 事業額 | 充当額 | 事業額 | 充当額 |
| 介護慰労金支給事業 | | | | | |
| ボランティア活動活性化事業 | | | | | |
| 保育所等施設整備 | | | 6,689,680 | | 10,388,766 |
| 計 | | 0 | 6,689,680 | 0 | 10,388,766 |

(3) 基金充当事業

| 事業名 | 充当事業費 |
|--------------------|-------------|
| (1) 社会福祉センター管理事業 | 16,627,540円 |
| (2) 自立支援給付事業 | 138,240円 |
| (3) 地域生活支援事業 | 2,538,000円 |
| (4) 放課後児童健全育成事業 | 972,000円 |
| (5) 民間保育所施設整備補助事業 | 2,458,500円 |
| (6) 児童広場遊具設備等補助事業 | 50,000円 |
| (7) すこやかプラザ管理事業 | 1,190,453円 |
| (8) 第四保育所運営事業 | 388,260円 |
| (9) 伊香保保育所運営事業 | 7,542,006円 |
| (10) 一般経費（衛生費） | 341,280円 |
| (11) すこやか子育て発達支援事業 | 28,080円 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 合計 | 32,274,359円 |

7 民生委員児童委員協議会活動事業

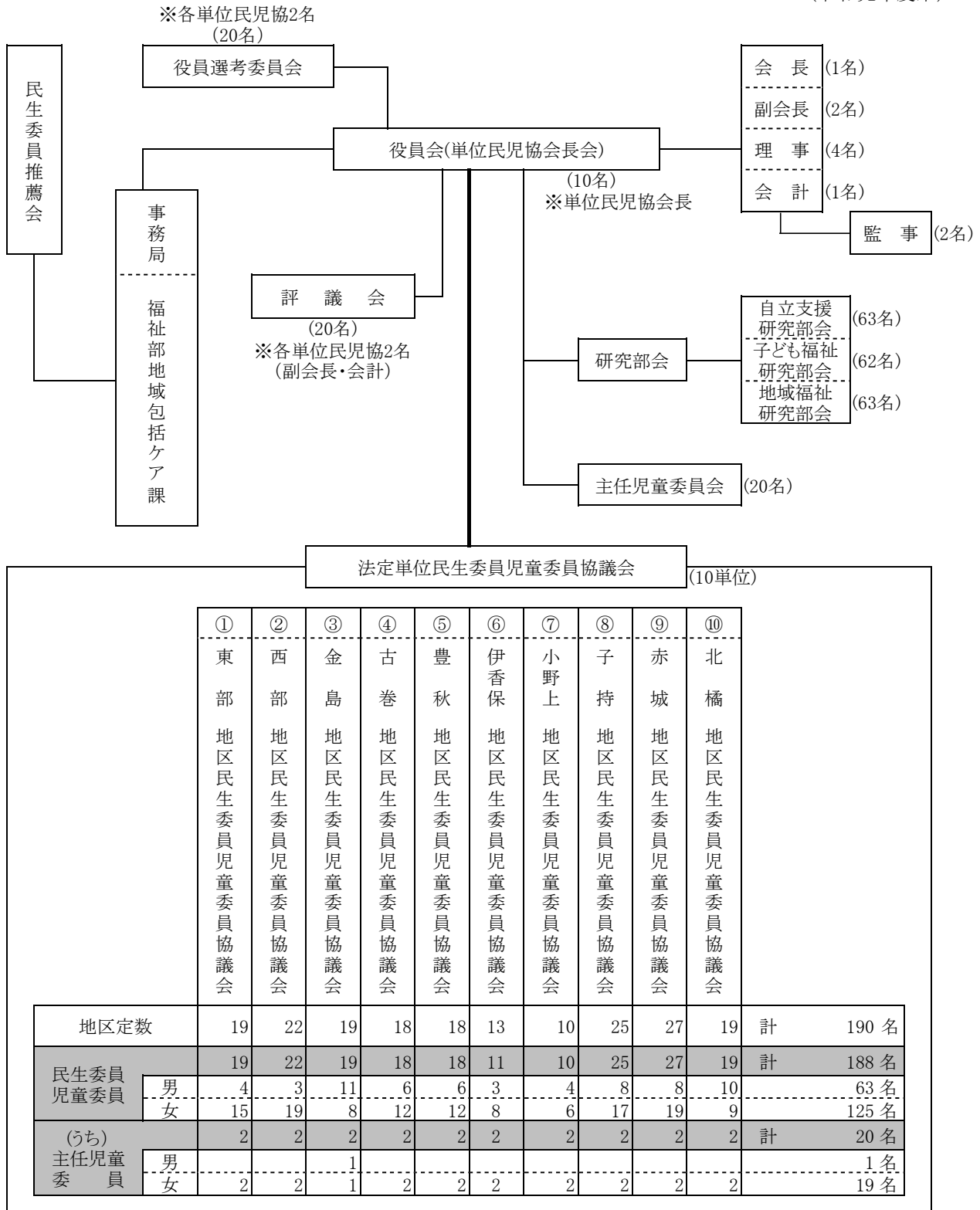
民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、民生委員法や児童福祉法に基づいて地域に配置され、社会奉仕の精神をもって、地域住民のよき相談相手となっています。

また、関係行政機関等への「つなぎ役」として、社会福祉増進のために活躍しています。

(1) 渋川市民生委員児童委員協議会 組織図

(令和元年度末)



(2) 活動状況

(令和元年度)

| | | | | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------|------------------|----------|-------------------|--------|
| 支 援 件 数 | 内 容 別 | 在宅福祉 | 403 | 活 動 件 数 | 調査・実態把握 | 3,481 | |
| | | 介護保険 | 81 | | 会議・事業等参加 | 4,019 | |
| | | 健康・保健医療 | 131 | | 地域福祉活動 | 5,596 | |
| | | 子育て・母子保健 | 42 | | 民児協研修 | 8,540 | |
| | | 子どもの地域生活 | 91 | | 証明事務 | 226 | |
| | | 子どもの教育・学校生活 | 86 | | 要保護児童等 | 35 | |
| | | 生活費 | 59 | | 合 | 21,897 | |
| | | 年金・保険 | 11 | | | | |
| | | 仕事 | 16 | | | | |
| | | 家族関係 | 107 | | | | |
| | 分 野 別 | 住居 | 41 | | | | |
| | | 生活環境 | 80 | | | 訪問回数 | 27,913 |
| | | 日常的な支援 | 628 | | | 連絡調整回数 | 22,990 |
| | | その他 | 884 | | | 活動日数 | 27,630 |
| | | 合計 | 2,660 | | | ※委員の平均活動日数…年間145日 | |
| | | 高齢者福祉 | 1,599 | | | | |
| | | 障害者福祉 | 203 | | | | |
| | | 児童福祉 | 342 | | | | |
| | | その他 | 516 | | | | |
| | | 合計 | 2,660 | | | | |

(3) 令和元年度渋川市民生委員児童委員協議会活動

令和元年度には、地域の実情や課題を把握し、民生委員・児童委員活動、民児協活動としてこれまで取り組んで来たことを整理し「地域版活動強化方策」を作成することで、今後の活動の検討を行った。

ア 地域の中での民生委員・児童委員活動のあり方

○「おはよう」、「こんにちは」、「こんばんは」 挨拶は地域の絆

○住民の身近な相談相手

信頼関係の構築 → 身近な人 → 相談相手 → つなぎ役 → 決定は本人

イ 民生委員・児童委員活動及び協議会活動の強化・支援

○市民児協の体制強化 → 事例検討会の重視

○単位民児協間の交流事業の促進

○委員を支援するための活動を模索

ウ 民生委員・児童委員の資質向上、関係機関との連携強化

○研修会、各研究部会、主任児童委員会の充実

○区域担当委員と主任児童委員との連携強化

○日常活動の中での「災害時要援護者」の把握

エ 市民に向けた広報活動の展開

オ 子育てサロンの充実

○全員が「地域の子育て応援団」の意識を持つ

8 総合相談事業

家庭生活や社会生活を営む中での生活上の心配ごと及び法律等の相談に応じ、適切な助言、指導を行っております。

(令和元年度)

| | | |
|---------|--|-------------------|
| 名 称 | 渋川市総合相談事業 | |
| 実施場所 | 渋川市社会福祉センター | 渋川市渋川(長塚町)1760番地1 |
| | 渋川市伊香保公民館別館 | 渋川市伊香保町伊香保162番地1 |
| | 渋川市小野上地域福祉センター | 渋川市小野子9番地1 |
| | 渋川市子持福祉会館 | 渋川市吹屋658番地20 |
| | 渋川市社会福祉協議会赤城支所 | 渋川市赤城町宮田850番地3 |
| | 渋川市北橋行政センター | 渋川市北橋町真壁2372番地1 |
| 相 談 員 | 心配ごと相談員(学識経験者)・弁護士・司法書士 | |
| 開 設 日 数 | 心配ごと 12日、法律相談 36日、登記・法律相談 12日 | |
| 相談利用件数 | 心配ごと 32件、法律相談 236件、登記・法律相談 25件、合計 293件 | |

令和元年度 心配ごと相談・法律相談等の実績

| | | 心配ごと 相談 | 法 律 相 談 | 登記・ 法律相談 | 合 計 |
|-----|----------|------------|------------|-------------|-----|
| 1 | 生計 | 2 | 8 | 0 | 10 |
| 2 | 家族 | 9 | 13 | 2 | 24 |
| 3 | 職業・生業 | 0 | 10 | 1 | 11 |
| 4 | 結婚・離婚 | 1 | 29 | 0 | 30 |
| 5 | 住宅 | 5 | 19 | 4 | 28 |
| 6 | 財産 | 5 | 74 | 9 | 88 |
| 7 | 教育・青少年問題 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 老人福祉 | 2 | 2 | 0 | 4 |
| 9 | 事故 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| 10 | 苦情 | 2 | 8 | 0 | 10 |
| 11 | 法律 | 0 | 54 | 8 | 62 |
| 12 | 医療 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 13 | 健康・保健衛生 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 成年後見 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 15 | 福祉サービス | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 16 | その他 | 5 | 11 | 1 | 17 |
| 合 計 | | 32 | 236 | 25 | 293 |

9 その他の福祉事業

(1) 災害見舞金・弔慰金

市内に発生した火災、台風、豪雨、地震、その他異常な自然現象等による被害で、災害救助法の適用を受けないものに対し、「渋川市災害見舞金等支給要綱」に基づき災害見舞金等を支給します。

ア 被害区分及び支給額

| 見舞金等の種類 | 被害区分 | 支給額 | |
|---------|--------------|---------|---------|
| | | 単身者の世帯 | 2人以上の世帯 |
| 災害見舞金 | 住家の全壊、全焼、流失 | 30,000円 | 50,000円 |
| | 住家の半壊、半焼 | 20,000円 | 30,000円 |
| | 住家の床上浸水 | 10,000円 | 20,000円 |
| | 消火活動による住家の被害 | 10,000円 | 20,000円 |
| 弔慰金 | 死亡（1人につき） | 50,000円 | |

イ 被害区分別の支給件数

(令和元年度)

| 全焼 | 全壊 | 流失 | 半焼 | 半壊 | 床上浸水 | 消火による被害 | 死亡 |
|----|----|----|----|----|------|---------|----|
| 2 | | | 2 | | | | 2 |

(2) 日本赤十字社活動資金募集事業

赤十字の事業は、会員の拠出する会費と寄付者から拠出される寄付金により推進されています。活動資金（会費及び寄付金）募集は、自治会及び赤十字奉仕団の協力を得て毎年5月に実施され、その拠出された資金は災害救護等の人道支援活動にあてられています。身近なことでは、火災や水害で被災した場合に、毛布や日用品等の救援物資が届けられています。

ア 活動資金募集実績

(令和元年度)

| 区 分 | | 金 額 |
|-----|-----|--------------|
| 群馬県 | 目標額 | 305,007,000円 |
| | 実績額 | 314,823,392円 |
| | 達成率 | 103.2% |
| 渋川市 | 目標額 | 11,208,000円 |
| | 実績額 | 22,433,867円 |
| | 達成率 | 200.2% |

イ 災害救援物資配布状況

(令和元年度)

| 救 援 物 資 | 配布数 |
|----------------|-----|
| 毛 布 | 10 |
| 緊急セット | 0 |
| タオルケットバスタオルセット | 5 |

(3) 同和対策

同和対策事業の目標は、地域における社会福祉の増進、産業の振興、職業の安定、教育の充実、人権擁護活動の強化等を図ることによって、地域の住民の社会的、経済的地位を向上させることにあります。

これらを目的とする特別措置法が平成14年3月に失効し、県単独の同和対策事業も平成16年度で終了しました。これに伴って地域の要望等についても特別対策から一般対策として対応することとし、同和対策を含む人権行政を推進しています。

ア 法務局、県、関係団体や市教育委員会生涯学習課で実施する啓発・推進事業への参加及び研修

イ 住宅新築資金貸付金の返済徴収業務

(令和元年度末)

| 内容 | 調定 | | 収入 | | 収入未済 | |
|---------|----|-------------|----|-----------|------|-------------|
| | 件数 | 金額(円) | 件数 | 金額(円) | 件数 | 金額(円) |
| 現年度分 元金 | 3 | 936,366 | 2 | 623,995 | 1 | 312,371 |
| 現年度分 利子 | 3 | 32,676 | 2 | 13,133 | 1 | 19,543 |
| 過年度分 元金 | 39 | 111,216,795 | 18 | 1,604,321 | 38 | 109,612,474 |
| 過年度分 利子 | 36 | 22,833,480 | 6 | 354,000 | 36 | 22,479,480 |

ウ 相談事業

人権相談所開設 毎月第3木曜日 午後1時から午後3時まで

場所 渋川ほっとプラザ 市内人権擁護委員 18名

(4) 遺族等の援護

戦没者の遺族、旧軍人、戦傷病者などに対し国家補償の精神に基づき、各種法律が制定され援護業務が実施されています。

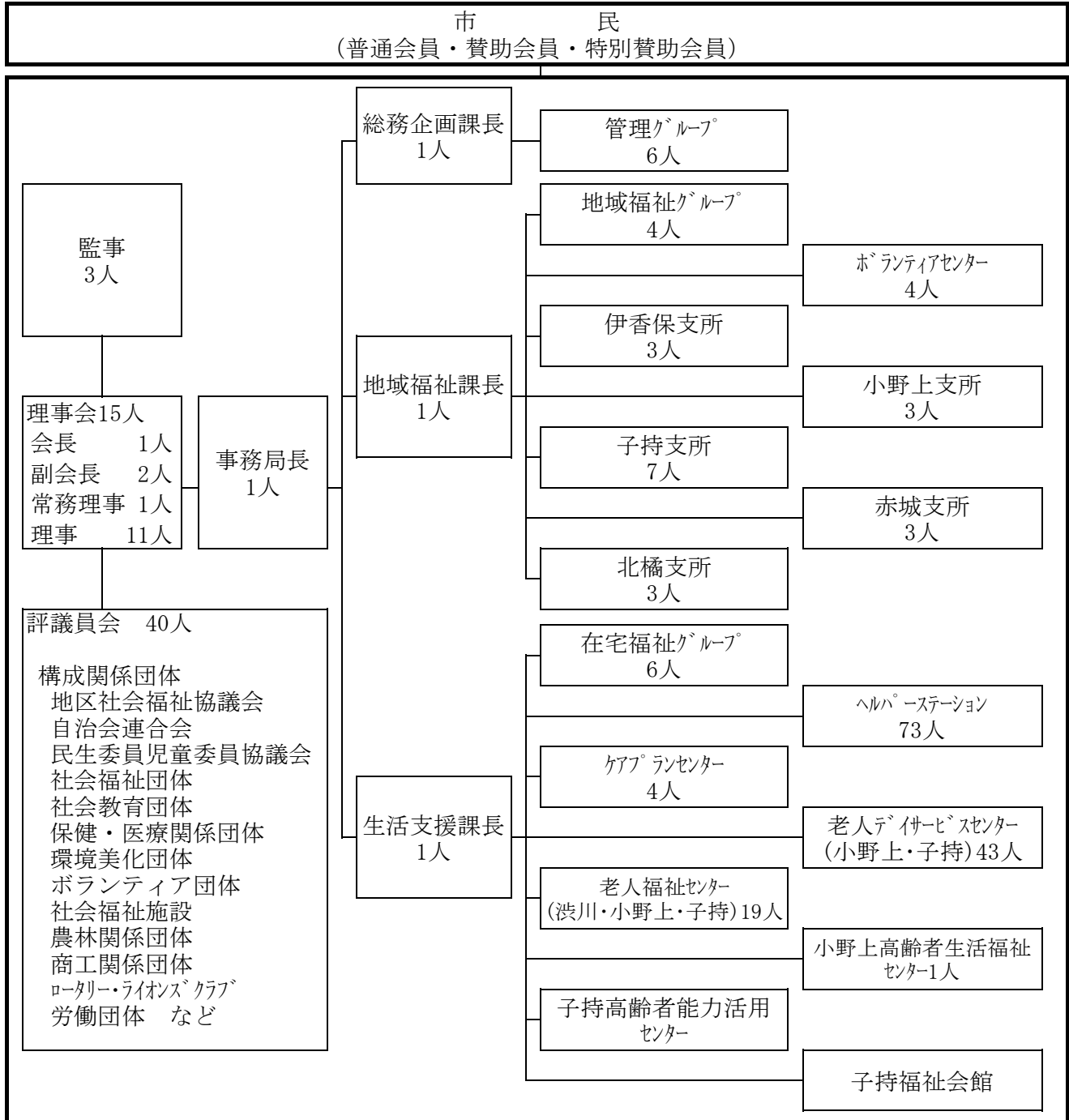
○ 慰霊事業

毎年、市主催のもとに戦没者追悼式が行われ、遺族等約180名が参列しています。

10 社会福祉協議会への支援

社会福祉協議会とは、社会＝「みんなで」・福祉＝「幸福を」・協議会＝「話し合う」団体です。住民が主体となって活動することを基本に、福祉に関連する専門家との共同性、自主性組織としての民間性、さらに高い公共性という特性を持っています。

(1) 組織 (令和2年4月1日)



連絡先

| | | | |
|-------|-----------|-----------------|--------------------|
| 本所 | 〒377-0008 | 群馬県渋川市渋川1760番地1 | |
| | TEL | (0279) 25-0500 | FAX (0279) 25-1721 |
| 伊香保支所 | TEL | (0279) 72-5580 | FAX (0279) 72-5033 |
| 小野上支所 | TEL | (0279) 59-2310 | FAX (0279) 30-8009 |
| 子持支所 | TEL | (0279) 24-6611 | FAX (0279) 24-6656 |
| 赤城支所 | TEL | (0279) 56-2829 | FAX (0279) 20-6007 |
| 北橋支所 | TEL | (0279) 20-4343 | FAX (0279) 20-4305 |

行政機関

(2) 主な事業

ア 地域福祉事業

- (ア) ボランティアセンター事業
- (イ) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）
- (ウ) 地域ふれあい活動事業
- (エ) ふれあいいきいきサロン運営支援
- (オ) 在宅福祉移送サービス事業
- (カ) 福祉機器貸出サービス事業
- (キ) だれでも広場事業
- (ク) 福祉のあし事業
- (ケ) ささえあい買い物事業あいのり
- (コ) 制服リユース事業
- (サ) 在宅介護者支援事業

イ 地域福祉受託事業

- (ア) 生活支援体制整備事業
- (イ) 敬老会事業
- (ウ) 手話講習会事業（入門、基礎、フォローアップ）
- (エ) 総合相談事業（心配ごと、法律、登記法律）
- (オ) 介護予防おうえんポイント事業
- (カ) 介護予防活動促進事業
- (キ) 福祉車両貸出サービス事業

ウ 指定管理施設の管理運営

- (ア) 老人福祉センター
 - ・ 渋川老人福祉センター
 - ・ 小野上地域福祉センター
 - ・ 子持老人福祉センター
- (イ) 小野上高齢者生活福祉センター
- (ウ) 子持高齢者能力活用センター
- (エ) 子持福祉会館

エ 介護保険事業の経営

- (ア) 居宅介護支援事業（社協ケアプランセンター）
- (イ) 訪問介護事業（社協ヘルパーステーション）
- (ウ) 通所介護事業（小野上デイサービスセンター、子持デイサービスセンター）

オ 要支援者対策

- (ア) 生活福祉金貸付制度（36ページ参照）
- (イ) 帰郷者旅費貸付事業

カ 共同募金、歳末たすけあい運動の推進

- (ア) 群馬県共同募金会渋川市支会事務局
- (イ) 一般募金・歳末たすけあい募金配分金助成事業

キ 福祉関係団体との連携

- (ア) 9地区社会福祉協議会
- (イ) 渋川市社会福祉法人連絡会 ほか

(3) ボランティア活動

ア 身近な地域で援護を必要とする人々へのたすけあい活動

イ 社会福祉施設の機能を高めるための活動

ウ 地域内の環境美化など地域社会のためにする活動

(ア) 地域ボランティアグループ

| 団体名 | 会員数 | 自治会 | 主な活動内容 |
|-----------------|-----|-------|---|
| 下郷グループ | 8人 | 下郷 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等へのボランティア活動 ・施設、病院へのボランティア活動 ・地域行事へのボランティア活動 ・地域環境整備 |
| 東町グループ | 9人 | 東町 | |
| 長塚ひまわり会 | 6人 | 長塚町 | |
| 寄居町カーネーショングループ | 6人 | 寄居町 | |
| 坂下町グループ | 15人 | 坂下町 | |
| 元町ボランティアグループ | 11人 | 元町 | |
| 金井南町ボランティアグループ | 44人 | 金井南町 | |
| 金井南牧ボランティアグループ | 8人 | 金井南牧 | |
| 菜の花クラブ | 18人 | 川島 | |
| 祖母島ボランティアグループ | 13人 | 祖母島 | |
| 四ツ葉ボランティアグループ | 2人 | 上村 | |
| りんごの里ボランティアグループ | 18人 | りんごの里 | |
| 五輪平愛の会 | 4人 | 有馬 | |
| 有馬第一愛の会 | 5人 | | |
| 有馬第二愛の会 | 6人 | | |
| 有馬第三愛の会 | 7人 | | |
| 上有馬愛の会 | 4人 | | |
| 第一八美会 | 13人 | 八木原 | |
| 第二八美会 | 15人 | | |
| 第三八美会 | 10人 | | |

| 団体名 | 会員数 | 自治会 | 主な活動内容 |
|--------------------|-----|-----------|---|
| 半田恵の会 | 8人 | 半田南部・半田北部 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等へのボランティア活動 ・施設、病院へのボランティア活動 ・地域行事へのボランティア活動 ・地域環境整備 |
| 半田みどりの会 | 8人 | | |
| 半田愛の会 | 12人 | | |
| 半田松原会 | 13人 | | |
| 行幸田ボランティアグループ | 51人 | 行幸田第一・第二 | |
| 石原西ひまわりグループ | 57人 | 石原西 | |
| 石原あじさいグループ | 16人 | 本石原 | |
| 田中ボランティアグループ | 15人 | 石原田中 | |
| 中村ボランティアグループ | 28人 | 中村 | |
| 伊香保地区お弁当サービスボランティア | 16人 | 伊香保地区全域 | |

(イ) 活動分野別ボランティアグループ

| 団体名 | 会員数 | 主な活動内容 |
|---------------------|-----|---|
| 渋川市手話サークルおりづるの会 | 45人 | 手話技術学習・聴覚障害者との交流 |
| 手話サークルあじさいの会 | 42人 | |
| 朗読奉仕会 山びこ | 29人 | 広報しぶかわ等のテープ録音・テープ雑誌「おもちゃ箱」制作等視覚障害者を対象とし |
| 精神保健福祉ボランティアたんぽぽの会 | 18人 | 精神障害者の社会参加への援助 |
| ミニストロング | 3人 | 地域の環境美化活動 |
| 野ぎくの会 | 21人 | 高齢者宅への話し相手（ボランティア）活動 |
| おもちゃの図書館あそびの広場 | 20人 | 障害児との交流事業 |
| 伊香保地区子育てサポーター | 10人 | 子育て最中のお母さんと子どもたちの交流 |
| 子育て支援ボランティアつくしんぼクラブ | 6人 | |
| ブラックパネルシアター Dream15 | 9人 | 昔ばなし・童話などのパネルシアター |
| おもちゃの図書館「どんぐり」 | 10人 | 県立小児医療センターに通院する子ども達との交流事業 |
| 子持四ツ葉友の会 | 33人 | 施設でのボランティア活動・友愛訪問活動 |
| 手話サークルすずらんの会 | 27人 | 手話技術学習・聴覚障害者との交流 |
| 小野上ボランティアグループひまわりの会 | 9人 | 地区社協行事、サロン運営 |
| 介護者応援ボランティアふれあい | 9人 | 在宅介護者応援サロンの運営 |

(ウ) その他ボランティアグループ

※ボランティアセンターによるコーディネート実績があるグループ

| 団体名 | 会員数 | 主な活動内容 |
|-------------------|------|---|
| 音あそびの会 たんぽぽ | 15人 | 電子ピアノを中心に様々な楽器の演奏と歌、楽器を使ったリズム遊び |
| S P 子持 | 23人 | ぐんぐん体操（介護予防）、脳トレゲーム、健康講話、レクリエーション、キーボードやアルペンホルン演奏 |
| 渋川マジックサークル | 8人 | マジックの披露 |
| ゴスペルフレンズ | 6人 | ゴスペルの披露 |
| ハープトーンあじさい&フレンド | 11人 | 大正琴、ウクレレやスチールギターの演奏 |
| 遊子工房 | 10人 | 押し花絵づくりの指導 |
| えがお おとどけ隊 | 15人 | 歌（民謡・童謡・昭和の懐メロ）の披露 |
| 渋川市アマチュア無線非常通信協議会 | 153人 | 群馬県無線赤十字奉仕団、イベント支援 |
| 東旧あやめ会 | 4人 | 歌（童謡、唱歌、歌謡曲）の披露、日舞、オカリナ演奏 |
| ともしび | 15人 | 日本舞踊、新舞踊の披露 |
| フォークダンスメープル | 13人 | フォークダンスの披露 |
| あじさいウクレレサークル | 11人 | 手品や歌、ウクレレの演奏 |
| スパ・ハワイアンズ | 8人 | ウクレレ、ギター演奏 |
| 渋川ケーナ愛好会 | 8人 | 南米音楽（フォルクローレ）演奏 |
| パウレレ | 10人 | フラダンス披露 |
| 渋川アコーディオンサークル | 29人 | アコーディオン演奏 |
| ボランティアグループあいあい | 6人 | イベント支援 |
| 電話訪問ボランティア | 41人 | 電話による友愛訪問 |
| だれでも広場ボランティア | 51人 | 施設内の清掃、イベント支援 |

(エ) 個人ボランティア

| 人数 | 主な活動内容 |
|-----|--|
| 57人 | ギター弾き語り、ハーモニカ演奏、ラフターヨガ、ハンドマッサージ、イベント支援など |

(4) 善意銀行（令和元年度）

善意銀行は、市社会福祉協議会の中にあり、市民の皆さんの善意をお預かりして、それを必要としている人に払出す仕組です。

預託・払出状況

ア 金銭の部

預託

(単位：円)

| 項 | 目 | 金額 | 附記 |
|---------|-------|------------|--|
| 1 寄付金 | 1 寄付金 | 2,026,701 | 寄付金 31件 1,574,831 小野上地区社協夏祭り寄付金 55件 358,000 募金箱 4,577 いねむりハガキ等受入 89,293 |
| 2 福祉バザー | 1 売上金 | 873,265 | |
| 3 前年度繰越 | 1 繰越金 | 20,953,163 | |
| 合計 | | 23,853,129 | |

払出

(単位：円)

| 項 | 目 | 金額 | 附記 |
|-------|--|---|--|
| 1 援護費 | 1 援護費 | 150,000 | 火災見舞金 4件 生保世帯の高校進学支度金 1件 |
| 2 助成金 | 1 助成金 | 1,194,500 | ボランティアグループ研修補助金 11団体 220,000 ふれあいいきいきサロン助成金 23団体 616,500 小野上地区社協夏祭り助成金 358,000 |
| 3 その他 | 1 損害保険料 2 租税公課 3 消耗器具備品費 4 通信運搬費 5 手数料 6 修繕費 7 賃借料 8 給食費 9 業務委託費 | 289,042 0 1,320,908 61,178 4,745 415,916 0 226,877 31,350 | ふれあいいきいきサロン傷害保険料 だれでも広場消耗品等 854,158 Vの日事業消耗品等 413,526 ボランティア講座消耗品等 11,924 車イス等寄付 41,300 いねむりハガキ切手交換等 いねむりハガキ交換手数料 だれでも広場修繕費 Vの日賄い(昼食) Vの日駐車場業務委託費 |
| 合計 | | 3,694,516 | |

イ 物品の部

タオル、ぞうきん、紙おむつ、手作り手工芸品等51件の預託を受け、市内の福祉施設等に払出した。

(5) 資金の貸付

生活福祉資金貸付基準

(令和2年4月1日)

| 貸付金の種類 | | 貸付限度額等 | 据置期間 | 償還期間 | 連帯保証人 | 利率 |
|----------------|---|--|----------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 総合支援資金 (注) | 生活支援費 | (単身世帯) 月額150,000円以内 (2人以上世帯) 月額200,000円以内 ※貸付限度月数: 原則として3か月 | 最終貸付日 から 6月以内 | 据置期間 経過後 10年以内 | 原則必要 (但し、立てられない 場合でも貸付可能) | 連帯保証人 あり 無利子 なし 年1.5% |
| | 住宅入居費 | 400,000円以内 | | | | |
| | 一時生活再建費 | 600,000円以内 | | | | |
| 福祉資金 | 生業費 | (4,600,000円) | 最終貸付日 から 6月以内 | (20年) | 原則必要 (但し、立てられない 場合でも貸付可能) | 連帯保証人 あり 無利子 なし 年1.5% |
| | 技能修得費 | 技能を修得する期間が 6月程度 (1,300,000円) 1年程度 (2,200,000円) 2年程度 (4,000,000円) 3年以内 (5,800,000円) | | (8年) | | |
| | 住宅改修費 | (2,500,000円) | | (7年) | | |
| | 福祉用具購入費 | (1,700,000円) | | (8年) | | |
| | 障害者自動車 購入費 | (2,500,000円) | | (8年) | | |
| | 中国残留邦人等 国民年金保険料追納費 | (5,136,000円) | | (10年) | | |
| | 療養費・介護等費 | (1,700,000円) | | (5年) | | |
| | 災害援護費 | (1,500,000円) | | (7年) | | |
| | 福祉費 | (500,000円) ※冠婚葬祭費・転宅費・給排水設備等費 ・支度費・その他一時金等 | | (3年) | | |
| 緊急小口資金(注) | 100,000円以内 | 最終貸付日 から 2月以内 | 据置期間 経過後 12月以内 | 不要 | 無利子 | |
| 教育支援資金 | 教育支援費 | (高 校) 月35,000円以内 (高専・短大) 月60,000円以内 (大 学) 月65,000円以内 | 卒業後 6月以内 | 10年以内 ※困難な場合 は20年以内で 設定も可能 | 原則必要 ※連帯借受人も必要 | 無利子 |
| | 就学支度費 | 500,000円以内 | | | | |
| 不動産担保型 生活資金 | 65歳以上世帯 | 月300,000円以内 (土地評価額の70%程度) | 契約終了後 3月以内 | 据置期間 終了時 | 必要 ※推定相続人の中か ら1人設定。(推定 相続人がいない場合 は不要。) | 年3.0%以下 |
| | 65歳以上 要保護世帯 | 貸付基本額 【生活扶助費×1.5-収入充当 額】の範囲内で定めた額 (居住用不動産評価額の70%) ※集合住宅(マンション)も該当 | | | 不要 | |
| 臨時特例つなぎ資金 | 100,000円以内 ※離職者を支援するための公的給付(失業 手当等)及び公的貸付(総合支援資金)を 申請している住居の無い離職者が対象 | 公的給付及び公的貸付を受け たときから、原則として1か 月以内に一括償還。ただし、 これにより難しい場合は月賦償 還可能(償還期間1年以内)。 | 不要 | 無利子 | | |

(注) 総合支援資金は、生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業)を利用していることが、貸付要件となります。

(注) 緊急小口資金は、既に就職が内定している場合等を除き、原則として生活困窮者自立支援制度を利用していることが、貸付要件となります。

【備考】

- 貸付限度額が()で記載されているものは、審査により580万円まで貸付可能。
- 償還期間が()で記載されているものは、審査により20年以内まで延長可能。
- 償還期間が設定した償還期限を越える場合、延滞元金につき年率5.0%の延滞利子が発生。(臨時特例つなぎ資金は除く)
- 償還方法は、月賦・半年賦・年賦。(資金種類や借受人状況等によっては選択できない場合もあり)

※記載事項の他にも細かい貸付基準があります。

第2章

児童福祉事業

こども課

令和2年度（令和元年度分）福祉の概要 （社会福祉事業）

1 総合的な少子化対策

| | |
|----------------------|---|
| (1) 渋川市子ども・子育て支援事業計画 | 1 |
| (2) 子ども・子育て会議 | 4 |
| (3) 婚活支援・啓発 | |
| ア 婚活プロジェクト事業 | 6 |
| イ 赤ちゃんふれあい事業 | 7 |

2 子育て環境の充実

| | |
|-------------------------|----|
| (1) 子育て知って得するバスツアー | 8 |
| (2) 子育て環境づくりの推進 | |
| ア 子育て支援等の情報発信・就労支援 | 8 |
| イ 子育て親子の応援 | 9 |
| ウ 親子安心おでかけ応援 | 10 |
| (3) 子育てスキルアップとネットワークづくり | |
| ア 子育て支援講座（子育てひろば） | 10 |
| イ 子育て支援従事者等研修会 | 11 |

3 子育て支援の充実

| | |
|----------------------------|----|
| (1) 子育て拠点施設 | |
| ア 渋川すこやかプラザ | 12 |
| イ 子育て支援総合センター | 12 |
| ウ 高等教育機関の併設 | 14 |
| (2) 地域子育て支援拠点事業 | |
| ア 民間保育所・認定こども園の地域子育て支援拠点事業 | 15 |
| イ 渋川市子育て支援センター事業 | 16 |
| (3) 放課後児童クラブ | 17 |
| (4) ファミリー・サポート・センター事業 | 19 |
| (5) 産前・産後サポート事業 | 21 |
| (6) 児童手当支給事業 | 22 |
| (7) 児童扶養手当支給事業 | |
| ア 児童扶養手当 | 23 |
| イ 特別児童扶養手当 | 23 |
| (8) 発達特性のある児童の早期発見及び支援 | 23 |

4 家庭児童相談室事業

| | |
|------------------|----|
| (1) 家庭児童相談室事業 | 24 |
| (2) 要保護児童対策地域協議会 | 24 |
| (3) 要保護児童対策支援体制 | 27 |

5 母子及び寡婦福祉（母子家庭等自立支援給付金事業）

| | |
|------------------------|----|
| (1) 母子家庭等自立支援教育訓練給付事業 | 28 |
| (2) 母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業 | |
| ア 促進給付金 | 28 |
| イ 修了支援給付金 | 29 |

| | |
|------------------------------|----|
| (3) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 | |
| ア 受講修了時給付金 | 29 |
| イ 合格時給付金 | 29 |

6 保育の充実

| | |
|-----------------------------|----|
| (1) 入所児童数 | 30 |
| (2) 保育料の無料化（市独自の上乗せ支援） | 31 |
| (3) 保育充実促進事業 | |
| ア 低年齢児保育事業 | 32 |
| イ 食物アレルギー対策事業 | 32 |
| ウ 一時預かり事業 | 32 |
| エ 障害児保育事業 | 33 |
| オ 乳児受入支援事業 | 33 |
| カ 認定こども園通園バス補助事業 | 34 |
| キ 延長保育事業 | 34 |
| (4) 病児保育事業 | 34 |
| (5) 英語とふれあう環境の推進 | |
| ア はじめての英語ふれあい事業 | 35 |
| イ 英語ふれあい支援事業 | 35 |
| (6) 食育の推進事業（親と子の料理教室） | 35 |
| (7) すくすく保育展「チャイルドゆめフェスティバル」 | 36 |
| (8) 保育料 | 37 |
| (9) 保育所入所児童数の推移 | 38 |
| (10) 保育所の施設状況 | 39 |
| (11) キッズゾーン設定事業 | 39 |

7 幼児教育の充実

| | |
|------------------------|----|
| (1) 入園児童数 | 40 |
| (2) 預かり保育事業 | 40 |
| (3) 保育料の無料化（市独自の上乗せ支援） | 41 |
| (4) 通園バス運行事業 | 41 |
| (5) 幼稚園入園児童数の推移 | 41 |

1 総合的な少子化対策

急速な少子化の進行や家庭及び地域を取り巻く環境の変化等により、子育てに対する支援や少子化対策は重要な課題となっています。

本市では、「子育てと成長の喜びを実感できる魅力のあるまち渋川」を基本理念とする「第1期渋川市子ども・子育て支援事業計画」を平成27年3月に策定し、様々な子育て支援施策を推進してきましたが、令和元年度に第1期計画期間が終了となることから、これまで展開してきた施策・事業の評価を行うとともに現状や課題等を踏まえ、新たに、令和2年度から令和6年度の5か年を計画期間とする「第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。計画の推進にあたっては、実効性を高めるため、渋川市子ども・子育て会議において計画の進捗について確認する機会を毎年度設けるなど、総合的かつ計画的に取り組みます。

また、少子化対策を進めるにあたっては、子育てしやすい環境づくりとともに、子どもたちに子育ての楽しさや子どもを産み育てることの意義、男女が協力して家庭を築くことの大切さを啓発していくことも必要であると考えます。国の少子化社会対策大綱を踏まえ、次代の親の育成や、結婚、妊娠・出産、子ども・子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に係る事業を実施し、総合的な少子化対策を推進します。

(1) 渋川市子ども・子育て支援事業計画

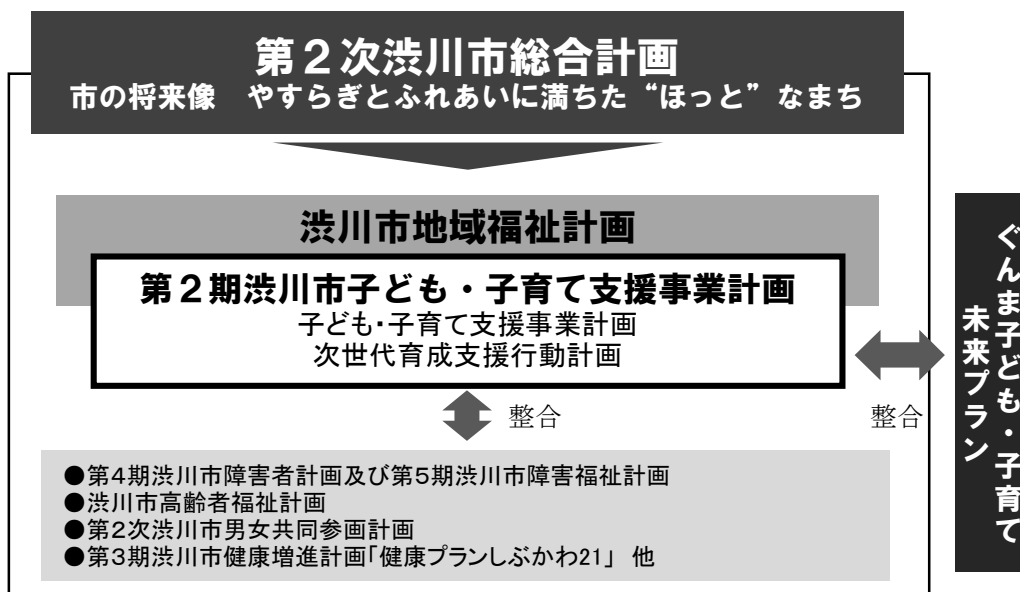
渋川市子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」及び次世代育成支援対策推進法第8条第1項に基づく「市町村行動計画」を一体のものとして策定したものです。

■子ども・子育て支援事業計画とは

子ども・子育て支援新制度は、子ども・子育て関連3法に基づく、幼児教育・保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上などを総合的に推進していく新しい仕組みです。

そのため、子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て家庭の状況や事業等の利用状況・利用希望を把握し、計画的な事業や施設などの実施、整備を図るためのものです。

子ども・子育て支援事業計画は、本市の最上位計画である「第2次渋川市総合計画」をはじめ、子ども・子育て施策に関係する本市の各分野の計画・条例と連携・整合を図り、計画の推進にあたっては、各計画との連携を十分に考慮し、新たな課題や環境の変化にも対応できるよう、柔軟に施策を展開します。



■ 計画の期間



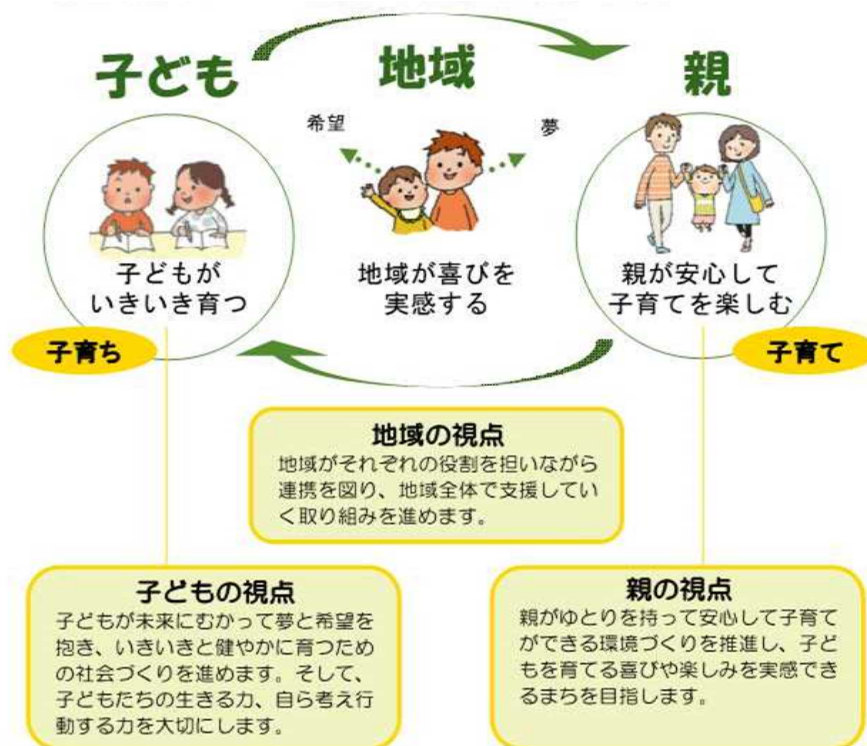
※期間は5年間とし、必要に応じて適宜見直しを行います。

■ 計画の対象

子ども・子育て支援事業計画の対象は、子どもとその家庭を中心に、地域や関係団体・行政機関等の地域を構成するすべての個人と団体です。

■ 計画の基本理念

子ども・子育て支援事業計画は、「子育てと成長の喜びを実感できる魅力のあるまち渋川」を基本理念として、「子どもがいきいき育つ」子どもの視点、「親が安心して子育てを楽しむ」親の視点、地域が喜びを実感する」地域の視点を基本的視点として位置づけ、子どもたちの未来が、笑顔であふれる輝かしい社会であるための、魅力あるまちを目指します。



■施策の展開

子ども・子育て支援事業計画では、基本理念の実現にむけて、7つの基本目標を施策の柱として、総合的に子育て支援施策を推進していきます。



■計画の策定体制

ア 渋川市子ども・子育て会議

子ども・子育て支援法第77条に基づき機関で、学識経験者や子ども・子育て支援事業者、保護者等によって構成される「渋川市子ども・子育て会議」を開催し、計画内容等の審議を行います。（計画期間中は、進行管理も行います。）

イ 子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査

教育・保育及び子ども・子育て支援事業の各施設・サービスについて、保護者の利用希望を把握するほか、幅広いニーズを把握するため、就学前児童・小学生の保護者を対象に調査を実施した結果を計画に反映します。

ウ パブリックコメントによる意見公募

子ども・子育て支援事業計画に対する意見を幅広く聴取するために、パブリックコメントを実施し計画案をとりまとめます。

(2) 子ども・子育て会議

子ども・子育て会議は、子どもの保護者、子ども・子育て支援従事者、有識者等で構成され、子ども・子育て支援事業計画の策定・進行管理などについて協議するほか、子どもや子育てをめぐる諸問題についてその対策等を検討しています。

| 所掌事務 | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○特定教育・保育施設の利用定員の設定に関して意見を述べる。 ○特定地域型保育事業の利用定員の設定に関して意見を述べる。 ○子ども・子育て支援事業計画の策定・変更に関して意見を述べる。 ○本市の子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議する。 ○その他、市長が必要と認める事項に関し、調査審議する。 | |

委員（任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日）

| 区分 | 氏名 | 所属等 |
|------------------------------|--------|------------------------------|
| 1 学識経験のある者 | 斎藤 周 | 群馬大学教育学部教授 |
| | 前田 由美子 | 共愛学園前橋国際大学地域共生研究センター講師 |
| 2 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 星野 敬太郎 | 民間保育園代表(ひばり保育園理事長) |
| | 齋藤 順二 | 民間認定こども園代表(渋川大島幼稚園長) |
| | 鈴木 由紀 | 病児保育実施機関(北毛病院事務長(みつばち保育園)) |
| | 千木良 範子 | 放課後児童クラブ支援員等(学童保育所けやきクラブ支援員) |
| 3 子ども・子育て支援に関する関係団体から推薦を受けた者 | 狩野 美喜子 | 渋川市教育委員会教育委員 |
| | 佐藤 尚子 | 渋川市民生委員児童委員協議会主任児童委員 |
| | 小林 由井子 | 群馬パース大学福祉専門学校保育学科専任講師 |
| 4 事業主を代表する者 | 三橋 新太郎 | 渋川商工会議所総務委員長 |
| | 山本 景 | 四社会幹事会社(日本カーリット株式会社) |
| 5 労働者を代表する者 | 飯島 岳史 | 連合群馬北部地域協議会幹事(東電労働組合渋川支部) |
| 6 関係行政機関の職員 | 宮前 奈津季 | 渋川保健福祉事務所 |
| 7 子どもの保護者 | 都丸 智恵美 | 民間保育園保護者(北橋保育園保護者) |
| | 大島 あゆみ | 民間認定こども園保護者(渋川大島幼稚園保護者) |
| | 今井 健太郎 | 公立保育所保護者(伊香保保育所保護者) |
| | 佐藤 洋介 | 公立幼稚園保護者(渋川幼稚園保護者) |
| | 室橋 俊之 | 小・中学校保護者(渋川市小中学校PTA連絡協議会) |
| 8 公募による市民 | 内田 裕美 | |
| | 野村 薫 | |

令和元年10月1日現在

開催実績

| 年度 | 回数 | 開催日 | 内容 |
|--------|---|-------------|--------------------------------|
| 平成25年度 | 第1回 | 平成25年8月29日 | 辞令交付・概要説明・他 |
| | 第2回 | 平成25年11月1日 | 子ども・子育て支援ニーズ調査説明 |
| | 第3回 | 平成26年3月14日 | ニーズ調査の結果報告 |
| | ニーズ調査 0～9歳までの児童の保護者3,110人(回答1,827人・回収率58.75%) | | |
| 平成26年度 | 第1回 | 平成26年5月30日 | ニーズ調査結果に基づく教育・保育量 |
| | 第2回 | 平成26年8月18日 | 教育・保育の提供区域を1区域とした事業量の数値目標、確保方策 |
| | 第3回 | 平成26年11月6日 | 第1期計画(案)・素案について意見徴収 |
| | 平成27年1月13日(火)～2月13日(金) 市民意見公募(パブリックコメント) | | |
| | 3月議会の教育福祉常任委員会協議会に報告 | | |
| 平成27年度 | 第1回 | 平成27年4月24日 | 第1期計画の報告 |
| | 第2回 | 平成27年8月27日 | 辞令交付・概要説明・他 |
| | 第3回 | 平成27年11月26日 | 第1期計画の進捗状況 |
| 平成28年度 | 第1回 | 平成28年4月28日 | 認定こども園視察(前橋市第二あさひ幼稚園) |
| | 第2回 | 平成28年11月22日 | 第1期計画の決算概要 |
| 平成29年度 | 第1回 | 平成29年10月25日 | 辞令交付・概要説明・他 |
| | 第2回 | 平成30年2月23日 | 第1期計画中間年の進行管理 |
| 平成30年度 | 第1回 | 平成30年11月30日 | 第2期計画策定ニーズ調査等 |
| | ニーズ調査 未就学児及び小学生の保護者3,200人(回答2,040人・回収率63.75%) | | |
| 令和元年度 | 第1回 | 令和元年5月24日 | 第2期計画策定に係るニーズ調査結果 |
| | 第2回 | 令和元年8月28日 | 第2期計画骨子(案)審議・承認 |
| | 第3回 | 令和元年10月30日 | 第2期計画(案)審議・承認(中間案) |
| | 第4回 | 令和2年1月24日 | 第2期計画(案)審議・承認(最終案) |
| | 令和元年12月16日～令和2年1月14日 市民意見公募(パブリックコメント) | | |
| | 3月議会の教育福祉常任委員会協議会に報告 | | |

関連法令等

○子ども・子育て会議令(平成25年政令第81号 平成25年3月5日交付)

○子ども・子育て支援法(平成24年8月22日交付)

第77条 市町村は、条例で定めるところにより、次に掲げる事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を置くよう努めるものとする。

2 前項の合議制の機関は、同項各号に掲げる事務を処理するに当たっては、地域の子ども及び子育て家庭の実情を十分に踏まえなければならない。

○渋川市子ども・子育て会議条例(平成25年6月21日施行)

(3) 婚活支援・啓発

ア 婚活プロジェクト事業

婚活支援を行う民間団体に補助金を交付し活動支援を行うほか、出会いや交流の場の提供や婚活に関する情報発信を行っています。多くの婚活イベントが開催され男女が出会う機会が増えるようイベントを開催する団体を継続して募集します。

また、市内の若手職員で構成される「婚活プロジェクトチーム」により、補助金利用の有無に関わらず、婚活事業を実施する団体のイベントの周知や募集案内、相談、企画、立案、運営補助等において関係団体の支援を行います。

(ア) 事業経過

| 年度 | 経過 | |
|--------|----------------------------|---|
| 平成25年度 | 「結婚・出産等に対する若年層への各種アンケート」実施 | アンケートに「結婚に対する意識や希望はあるものの、その後の生活や出産、育児について不安を抱いている」との意見があり、出会いや結婚について、第三者からの積極的な支援を求めている傾向がみられた。 |
| | 渋川市婚活プロジェクトチーム発足 | 渋川市人口減少対策基本方針に基づき、市内若手職員から構成される「婚活プロジェクトチーム」が発足し、セミナー等を開催し出会いの場を提供。また、民間団体が実施するイベントの企画、立案、運営の支援を実施。 |
| 平成26年度 | 渋川市婚活プロジェクト支援事業補助金 | 少子化対策、結婚の推進、地域活性化を推進するため、独身男女の出会いの場を提供する関係団体等の事業に補助金を交付する。 |

- a 結婚にたどりつくまでの結果はなかなか見えにくいものの、若年層同志の交流によって社交性や結婚に対する意欲や積極性を高めている。
- b 市有施設などをイベント会場とすることで、渋川市の魅力発信やイメージアップにつながっている。
- c (1イベントあたり10万円を限度額とし、同一事業者の複数回のイベント開催を可能とし、1団体あたりの上限額を15万円とする。) ※令和元年度より1団体、限度額10万円。

(イ) イベント・参加者数等集計

| 年度 | 交流イベント数 | 参加延数 | カップル成立数 | 備考 |
|--------|---------|----------------------|---------|------------------------------------|
| 平成26年度 | 10回 | 422人 男性 220人 女性 202人 | 24組 | |
| 平成27年度 | 12回 | 398人 男性 205人 女性 193人 | 24組 | |
| 平成28年度 | 11回 | 323人 男性 165人 女性 158人 | 29組 | 三十会in渋川 参加数86(男性53人・女性33人) ※延数計上なし |
| 平成29年度 | 6回 | 162人 男性 82人 女性 80人 | 23組 | |
| 平成30年度 | 8回 | 205人 男性 107人 女性 98人 | 18組 | |
| 令和元年度 | 6回 | 199人 男性 105人 女性 94人 | 25組 | |

(ウ) イベント開催実績

| No. | イベント名・開催日 | 内容 | |
|-----|-------------------|---|-----------------------|
| 1 | 恋活BBQ in あかぎ | 主催 しぶかわ赤い糸プロジェクト実行委員会 | 場所 沼尾フィッシングセンター |
| | 令和元年6月30日 | 対象 25歳～の独身男女 参加 31人(男性17人・女性14人) ※カップル成立 4組 | 参加料 男性3,000円/女性2,000円 |
| 2 | スターライトカーニバル part5 | 主催 NPO法人まちづくり楽しみ隊 | 場所 渋川スカイランドパーク |
| | 令和元年9月7日 | 対象 20歳～35歳までの独身男女 参加 25人(男性14人・女性11人) ※カップル成立 3組 | 参加料 2,000円 |
| 3 | 赤城秋空BBQ | 主催 赤城まつり実行委員会 | 場所 勢多温泉きぼうの湯 |
| | 令和元年10月27日 | 対象 30歳～40歳までの独身男女 参加 13人(男性7人・女性6人) ※カップル成立 0組 | 参加料 男性3,000円/女性2,000円 |
| 4 | カフェコン | 主催 NPO法人やわら | 場所 カフェチルコリーノ |
| | 令和元年11月23日 | 対象 25歳～の独身男女 参加 16人(男性9人・女性7人) ※カップリング未実施(連絡先交換) | 参加料 男性3,000円/女性2,000円 |
| 5 | 恋活鍋パーティーinあかぎ | 主催 NPO法人勢多郡・友の会 | 場所 勢多温泉きぼうの湯 |
| | 令和元年12月1日 | 対象 35歳～の独身男女 参加 20人(男性10人・女性10人) ※カップル成立 1組 | 参加料 男性3,000円/女性2,000円 |
| 6 | ポスコン | 主催 群馬県中部地区郵便局長会 | 場所 プレヴェール渋川 |
| | 令和元年12月7日 | 対象 18歳～45歳までの独身男女 ※男性は郵政グループor官公庁勤務 参加 94人(男性48人・女性46人) ※カップル成立 17組 | 参加料 男性5,000円/女性2,000円 |

イ 赤ちゃんふれあい事業

市内の全中学校に、赤ちゃん（3歳まで）とその保護者を講師として派遣し、中学生に赤ちゃんとのふれあいと、保護者から出生や育児の話聞く機会を与えます。親から愛情を受け育てられたことを実感し、命の尊さを学ぶことで、将来、子どもを産み育てたいという意識を高めます。2、3年生の家庭科授業に組み込み、意見交換等も行います。

| 年度 | 事業実績 | | | | |
|-------|-------------|------------------------------|--------|-------------------------|-----------------------------|
| 令和元年度 | 実施期間 | 令和元年9月30日～11月5日(家庭科の授業時間に実施) | | | |
| | 実施校数 | 9校(18クラス・549人) | | | |
| | 赤ちゃん数 | 103人(参加延べ数) ※授業1回あたり5.7人 | | | |
| | 委託費 | 390,380 円 | 手当 | 278,000 | 講師2,000円×103人+指導員2,000円×36人 |
| | | | 調整費 | 90,000 | 講師募集及び学校との調整10,000円×9校 |
| | | | 郵便料 | 5,880 | 講師70人×84円 |
| 需用費 | | | 16,500 | 消毒用アルコール、紙、インク、ファイル、電話代 | |
| 委託先 | NPO法人シーヤクラブ | | | | |

2 子育て環境の充実

(1) 子育て知って得するバスツアー

子育て世代を対象にしたバスツアーを開催し、市内の保育施設や病児・病後児保育施設、公園などの子育て関連施設を巡り、本市の子育て支援サービスや市の魅力を紹介し、サービスの利用増加と子育て世代などの移住を促進しました。

| 回数 | 開催日 | 世帯数 | 大人(人) | 子ども(人) | 実施概要 |
|-----|-----------|-----|-------|--------|--|
| 第1回 | 令和元年6月7日 | 14 | 14 | 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・見学先(ハローワークしぶかわ、白ばら幼稚園、みつばち保育園、子育て支援総合センター) ・託児利用 4世帯 ・市外参加者 2世帯(大人2人・子ども1人) ※ぐんま暮らし支援センター(東京都)より1名参加(世帯数、大人数を含む) ・昼食(大人14人・子ども5人) ・東京都在住者の申込みあり、当日、都合によるキャンセル1世帯(大人2人・子ども1人) |
| 第2回 | 令和元年9月13日 | 10 | 10 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・見学先(ハローワークしぶかわ、行幸田保育園、みつばち保育園、ファミリー・サポート・センター) ・託児利用 1世帯 ・市外参加者 0世帯(大人0人・子ども0人) ・昼食(大人10人・子ども3人) |
| 合計 | | 24 | 24 | 18 | |

(2) 子育て環境づくりの推進

ア 子育て支援等の情報発信・就労支援（子育て環境づくり推進事業）

子育て支援専用ウェブサイト「しぶかわ子育て応援ナビ」及び子育てガイド「しぶかわ子育て応援ガイドブック」により、子どもの年齢に応じた子育て情報により、きめ細やかな情報提供を行い子育て支援サービスの利用促進を図りました。

また、子育て中の親が求める就労条件に応じた情報提供など、公共職業安定所と連携し効果的に支援することで就労促進を図りました。

さらに、子育て中でも働きやすい職場環境の推進のため、ワーク・ライフ・バランスの推進をしています。

| 事業名等 | 内容 |
|----------------------|---|
| 子育て支援専用ウェブサイトによる情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援ウェブサイト「しぶかわ子育て応援ナビ」及びメール配信サービス「しぶかわ子育て応援メール」を活用し、出産や子育てに関するサービスの提供や就労を支援する情報発信を行い子育てと仕事の両立しやすい環境づくりの推進を図った。 ・令和元年度 新規メール登録数204人、閲覧数118,093件(令和2年3月31日現在) |
| 公共職業安定所と連携した就労支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援総合センターにおいて、子育てコンシェルジュにより、子育て中の親が求める就労条件に応じた情報提供など、公共職業安定所などと連携し、効果的に利用者を支援することで就労促進を図った。 |
| 福祉のお仕事就職相談会 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護分野への就職希望者を対象に、事業者との面談、施設内容説明を実施し、福祉分野への理解を深め、就業の促進を目的に開催。群馬県社会福祉協議会、群馬県福祉マンパワーセンター、ハローワークしぶかわとの連携事業。(内容) 事業所PR、求人面談コーナー、福祉の仕事相談コーナー、インターネットによる求人情報検索、スタンプラリー、雇用保険受給者就職相談記録の証明受付 ・開催日 令和元年12月9日(月) 午後1時～3時30分 ・会場 渋川市中央公民館4階 大ホール ・参加企業14社、参加者22名 |

| 事業名 | 内容 |
|-------------------------------|---|
| 働くママ全力応援 団 働く×子育て就 職面接会 | <ul style="list-style-type: none"> ・概要…「働き方改革」のもと、女性の社会進出を促進するため、子育て中の女性を対象として、女性の雇用に積極的な企業との就職面接会を開催し、就業機会の増大により、仕事と家庭の両立・支援及び雇用の拡大を図る。また、託児希望者には託児サービスを実施。群馬県、ハローワークしづかわ、商工振興課との連携事業。参加事業所は、市内に就業場所があり、仕事と子育ての両立に理解のある企業と市内への就職を希望する子育て中の親。 ・内容…知って得するミニセミナー(子育て中の女性が就職にあたり抱えている不安や悩みをQ&A方式で紹介)、求人面接コーナー、保育情報提供コーナー、就職情報提供コーナー(ハローワーク)、ジョブカフェマザーズ出張相談(群馬県)、ぐんまちゃんがやってくる、託児サービス ・開催日 令和2年2月14日(金) 午後1時30分～3時30分 ・会場 子育て支援総合センター 多目的ホール ・参加企業8社、参加者20名 |

イ 子育て親子の応援（子育て環境づくり推進事業）

子育て支援総合センターの子育て総合窓口に、子育てコンシェルジュを配置し、家庭の状況に応じた子育て支援サービスの情報を提供するほか、行政での手続きなど、必要なタイミングで必要な子育て情報とのマッチングを行い、子育ての悩みや不安の解消を行っています。

また、子育てをしながら就労を考えている人には、最新のハローワーク求人情報を提供し再就職等の支援も行っています。

○平成28年10月28日…しづかわ子育て総合窓口開設（市役所第二庁舎）

○平成29年4月1日…子育て支援総合センターに移転

| 子育てコンシェルジュの業務内容等 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○子育てコンシェルジュ(2人) 月～金曜日 午前9時～午後5時 ○子育て総合窓口において、子育て情報をわかりやすく提供する。 ○一人ひとりに寄り添い相談に応じる。 ○家庭の状況に応じた子育て支援サービスの情報を提供する。 ○子育て支援サービスの利用手続きを案内し関係機関につなぐ。 ○結婚、妊娠、出産による離職者や就労希望者の再就職をサポートする。 |

相談件数・内容

| 項目 | 開設日数(日) | 利用者数(人) | 相談内容(件) | | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|----------------|--------------|---------------|----|------------|---------|-------------|------------|----------|----------|------------|
| | | | 幼稚園・保育園・入所施設等へ | 幼稚園・保育園・食事、し | 子育て方法(コミュニティ) | 発達 | 子どもの心身の健康や | 子どもの遊び場 | ブの仲間づくり(クラ) | 子育て中の保護者同士 | 母親の心身の健康 | 地域の情報・紹介 | 地域子育て支援サービ |
| 平成28年度 | 102 | 542 | 8 | 5 | 10 | 3 | 1 | 1 | 21 | 63 | 0 | 112 | |
| 平成29年度 | 240 | 750 | 46 | 21 | 17 | 9 | 10 | 1 | 129 | 142 | 15 | 390 | |
| 平成30年度 | 237 | 2406 | 88 | 14 | 21 | 2 | 10 | 2 | 1043 | 107 | 21 | 1308 | |
| 令和元年度 | 277 | 3510 | 53 | 9 | 9 | 0 | 1 | 1 | 1552 | 49 | 5 | 1679 | |

※ 平成28年10月開設。平成29年3月は渋川すこやかプラザへ窓口を移転するため、3月10日で閉鎖し3月13日から3月31日まではこども課で業務を行い、4月1日から新施設で業務を開始。

※ 利用者数は、親子の延べ数を計上。

ウ 親子安心おでかけ応援（子育て環境づくり推進事業）

子育て中でも気軽に外出を楽しめるように、おむつ替えや授乳するための場所を提供できるお店、事業所や施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、広げる取り組みを行っています。「しぶかわ赤ちゃんの駅」として、117か所が登録されています。（令和2年3月31日現在）

また、赤ちゃんの駅登録と活用推進のため、赤ちゃんの駅アンバサダーとして、子育て中の親子が市内のお店や、事業所等に出向き、赤ちゃんの駅の登録協力を呼びかける活動も行っていきます。

（赤ちゃんの駅は、誰でも安心して無料でおむつ替えや授乳が行えるスペースですが、設置状況や利用条件などが異なるため、利用の際は各施設等の指示に従い利用することとしています。）

| 事業 | 概要 |
|----------------|--|
| しぶかわおでかけマップ | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園に通う世帯及び乳幼児健診時、子育て支援総合センター、図書館等公共施設等の各種窓口で配布 ・「しぶかわ情報マップ」へ掲載し、インターネットから地図情報とともに閲覧が可能。 ・平成27年度、子育てサークルのメンバー12人がママ目線で対象区域126か所の公園や施設を調査、検証 ・平成29年度、刷新。子どもから絵を募集し、優秀作品を表紙に採用。子育て支援専用ウェブサイト「しぶかわ子育て応援ナビ」においても情報発信。 ・令和元年度、刷新。「しぶかわおでかけマップ」から「しぶかわ広域おでかけマップ」に名称変更。 |
| 赤ちゃんの駅登録及び設置補助 | <ul style="list-style-type: none"> ・登録を推進するため、授乳やおむつ替え設備を整備しようとする民間施設等に設置費用の補助を行っています。（10万円を限度） |
| 赤ちゃんの駅登録 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間施設 68施設（令和2年3月31日現在） ・公共施設 49施設（令和2年3月31日現在） |

（3）子育てスキルアップとネットワークづくり

ア 子育て支援講座（子育てひろば）

就学前児童を持つ保護者を対象とし、託児所を設け、子育て支援講座（子育てひろば）を開設します。専門講師から複数回の講座を受講することにより、子育てに関する幅広い知識を得た人材育成や子育て世代のネットワーク化、人権を尊重した子育て推進を図ります。

さらに、市民協働推進課から提供を受ける保育サポーターが託児を行うことで、保育サポーターの技術、知識の向上も図ります。

（ア）講座内容

家庭社会学、子育て支援論、労働と家族関係などの研究を行う講師が、子育てに関する初級講座、中級講座、上級講座をそれぞれ連続6回開催し、子育て期の子どもとの係わりについて学ぶことと各講座後には講師と受講者同士で様々な不安や悩みを共有し、解消するための機会を提供します。

（イ）参加対象者

| 講座名 | 対象者 | 募集人数 | 備考 |
|------|-------------|-------|------|
| 初級講座 | 就学前の子どもを持つ親 | 20名程度 | 毎年開催 |
| 中級講座 | 初級講座受講修了者 | 20名程度 | 隔年開催 |
| 上級講座 | 中級講座受講修了者 | 20名程度 | 隔年開催 |

※ 令和元年度は初級、中級講座を開催。

令和2年度は、初級、上級講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施中止。

| 区分 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 初級 | 20 | 23 | 23 | 24 | 20 | 22 | 20 | 19 | 19 | 22 | 15 | 227 |
| 中級 | — | — | — | 34 | 26 | 20 | 20 | — | 19 | — | 24 | 143 |
| 上級 | — | — | — | — | — | 20 | — | 19 | — | 13 | — | 52 |

※単位(人)

(ウ) 開催実績 (令和元年度)

初級講座 (ファーストステップ)

| 回数 | 開催日 | 研修内容等 | 参加数(人) |
|-----|------------|---|--------|
| 第1回 | 令和元年9月11日 | 「ひとりでがんばっていませんか？」 ～肩の力をぬいて、子育てと母親という立場を考えます～ | 15 |
| 第2回 | 令和元年9月18日 | 「ココロとカラダの声をきいていますか？」 ～ストレスを抱えすぎないために～ | |
| 第3回 | 令和元年9月25日 | 「子育て中の体、いたわっていますか？」 ～子育てで疲れた体へ思いやりのストレッチ～ | |
| 第4回 | 令和元年10月2日 | 「子育てはだれがする？」～女性・男性みんなでやると、どう変わる～ | |
| 第5回 | 令和元年10月9日 | 「子どもの人権」～尊重するってどうすること？わがままとはどうか？～ | |
| 第6回 | 令和元年10月16日 | 「子どものこころ・親のこころ」～どうしたら通じ合う？～ | |

中級講座 (セカンドステップ)

| 回数 | 開催日 | 研修内容等 | 参加数(人) |
|-----|------------|---------------------------------------|--------|
| 第1回 | 令和元年10月23日 | 「母親と『子育て』のつながり」～子育てのこれまでと今、そして見えない重荷～ | 24 |
| 第2回 | 令和元年10月30日 | 「しかる・ほめる・しつけ」～わかっているはずなんだけど～ | |
| 第3回 | 令和元年11月6日 | 「産後と子育て期における女性の身体とこころ」 | |
| 第4回 | 令和元年11月13日 | 「子どものこころ」～虐待という問題～ | |
| 第5回 | 令和元年11月20日 | 「家族の関係」～子どもへの影響～ | |
| 第6回 | 令和元年11月27日 | 「発達を考えてかかわる」～それは、子どもには無理じゃない？～ | |

(エ) 講師

共愛学園前橋国際大学地域共生研究センター研究員
AFAA認定エアロビクスインストラクター・他

(オ) 講座修了者の活動等

専門講師から複数回の段階的な講座を受講することにより、子育てに関する幅広い知識を得た人材の育成やネットワーク化、人権を尊重した子育て推進を図ることができ、講座修了者は、子ども・子育て会議委員や、ファミリー・サポート・センター会員、子育てマップ調査、赤ちゃんふれあい事業講師、子育て支援施策等のヒアリングなどの活動を行っています。今後、子育て支援総合センターでの子育て支援イベントの補助員活動等にも期待できます。

イ 子育て支援従事者等研修会

子育てコンシェルジュ等職員研修会を開催し、子育て支援関係職員等のスキルアップとネットワーク構築を図る。

(ア) 受講対象者 子育てコンシェルジュ、子育て支援センター職員、保健師、公立幼稚園、保育所臨時職員、放課後児童クラブ支援員

(イ) 講師 群馬医療福祉大学教授、群馬パース大学福祉専門学校講師・他

(ウ) 開催実績

| 回数 | 開催日 | 研修内容等 | 参加数(人) |
|-----|------------|---|--------|
| 第1回 | 令和元年7月1日 | 演題 「井戸端会議」 | 28 |
| 第2回 | 令和元年7月29日 | 演題 「子ども・子育てを取り巻く環境」 | 21 |
| 第3回 | 令和元年10月21日 | 演題 「子育てのゴールって!？」 | 23 |
| 第4回 | 令和元年12月9日 | 演題 「コミュニケーション能力を伸ばすコツ～心地よい人間関係づくりのために～」 | 30 |

3 子育て支援の充実

(1) 子育て拠点施設

ア 渋川すこやかプラザ

渋川すこやかプラザは、平成28年3月に閉院した渋川総合病院建物を活用し、群馬パース大学福祉専門学校との官学協働により、平成29年4月1日に開設されました。

この施設は、交流人口の拡大や人口減少対策を目的として開設され、子育て支援の拠点施設である「子育て支援総合センター」、若者の学びの場である「福祉専門学校」、高齢者への地域支援や多世代交流の場となる「多目的ホール」を備えた複合施設です。

| 施設名 | 構成 |
|-----------|-----------------------------|
| 渋川すこやかプラザ | 子育て拠点施設 (子育て支援総合センター) |
| | 高齢者の地域支援施設 (多世代交流の場:多目的ホール) |
| | 若者が集う高等教育機関 (群馬パース大学福祉専門学校) |

| 目的 | 概要 |
|------------|--|
| 多様なニーズへの対応 | すこやかプラザ内の子育て支援総合センターは、子育て世帯が求める子育て支援に対する多様なニーズに対応するため、子育ての情報提供や育児相談、遊具の設置、求人情報の提供など、一貫したサービスの提供を行います。また、土日も開所し、利便性を図ります。 |
| 公共施設の有効活用 | 平成28年3月に閉院した「渋川総合病院」の跡地を有効活用することで、施設の建設費を抑え、市の財政負担を最小限にとどめます。 |
| 官・学の連携 | 併設する『群馬パース大学福祉専門学校』と連携し、情報提供や研修、共同事業などを実施することにより、子育て支援の質の向上を図ります。 |
| 総合的な人口減少対策 | JR渋川駅に近く、国道17号にも面し、中心市街地まで徒歩圏内である地理的条件を活かし、多世代の人たちが利用できる施設を複合的に設置し、相互に連携させることで、相乗効果を生み出し、様々な分野に効果を波及させ、総合的な人口減少対策を図ります。 |

イ 子育て支援総合センター

すこやかプラザ内の子育て拠点施設である同センターは、これまで市内に散在していた子育て支援センターやファミリー・サポート・センターを1か所に集約し、さらに、大型遊具を備えた屋内遊具施設（キッズランド）や講座やイベントが開催できる多目的ホールを備えています。

| 名称 | 概要 |
|-----------|--|
| 子育て支援センター | 乳幼児親子の遊び場、親子交流室、絵本室など(473㎡) <ul style="list-style-type: none"> 親子のふれあい遊びを中心とする子育て支援や子育て講座の実施。公立幼稚園への出向き支援の実施。 開設時間…午前9時～午後5時 休業日…年末年始(臨時休館あり) 配置職員…子育て支援指導員(保育士資格等がある臨時職員10名) |
| 子育て総合窓口 | 子育てコンシェルジュ配置(臨時職員2名) <ul style="list-style-type: none"> 子育て情報の提供、相談、ハローワークとの連携による就労支援。 開設時間…午前9時～午後5時 休業日…土、日曜日、祝日、年末年始 |

| | |
|---------------------|---|
| 屋内遊具施設 (キッズランド) | <p>運動・コミュニケーション・想像力を育む乳幼児や未就学児用の遊具を設置(356㎡/授乳室・男女多目的トイレ含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの能力を育む3つの視点 運動能力を高める遊具 (エアトラック、クライミング、ウレタンブロック、バランスボード等) コミュニケーション能力を高める遊具 (お家型遊具、滑り台付き複合遊具等) 想像力を育成する遊具(おままごとセット、ソフトブロック等) <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間…午前9時～午後5時 ・休業日…月曜日(祝日に当たるときは翌日)、年末年始 |
| 園庭 | <p>親子で外遊びを楽しむ遊具の設置(661㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置遊具…ブランコ、平均台、スプリング遊具、木製すべり台、三輪車・ミニカー、うさぎ等の動物小屋、砂遊び場、野菜づくりの畑、水遊び場 ・開設時間…午前9時～午後5時 ・休業日…年末年始 |
| しぶかわファミリー・サポート・センター | <p>ファミリー・サポート・センター事務室(24㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを「手助けしてほしい人」と「手助けしたい人」が会員となり、親の外出や急用、病気等の子どもの一時預かり、保育園・学校への送迎などを有料により実施。研修会や交流会の開催。 ・開設時間…午前9時～午後5時 ・休業日…土、日曜日、祝日、年末年始 |
| 多目的ホール | <p>多目的ホール(247㎡/男女多目的トイレ含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とする健康教室やサロンの開催。子育て親子・福祉専門学校の学生、高齢者等が交流するイベント開催など。 ・開設時間…午前9時～午後5時 ・休業日…年末年始 |

※内職相談員による内職相談の実施(毎週水・金曜日 午前9時30分～12時、午後1時～3時)

利用者の状況

令和元年度子育て支援総合センター利用実績

| | 子育て支援総合センター来場者数 | (その他来場者) | 屋内遊具施設 | 子育て支援受入(子育て支援センター) | 子育て総合窓口 |
|---------|-----------------|----------|---------|--------------------|---------|
| 4月 | 2,514人 | 96人 | 2,503人 | 2,418人 | 637人 |
| 5月 | 2,271人 | 97人 | 1,879人 | 2,174人 | 272人 |
| 6月 | 3,032人 | 84人 | 2,950人 | 2,948人 | 308人 |
| 7月 | 3,459人 | 106人 | 3,154人 | 3,353人 | 263人 |
| 8月 | 3,327人 | 106人 | 3,552人 | 3,221人 | 214人 |
| 9月 | 3,235人 | 151人 | 3,059人 | 3,084人 | 226人 |
| 10月 | 2,662人 | 100人 | 2,382人 | 2,562人 | 142人 |
| 11月 | 2,501人 | 86人 | 2,361人 | 2,415人 | 167人 |
| 12月 | 2,033人 | 83人 | 1,808人 | 1,950人 | 135人 |
| 1月 | 2,455人 | 80人 | 2,277人 | 2,375人 | 153人 |
| 2月 | 2,728人 | 162人 | 2,511人 | 2,566人 | 154人 |
| 3月 | 504人 | 66人 | 472人 | 438人 | 62人 |
| 合計 | 30,721人 | 1,217人 | 28,908人 | 29,504人 | 2,733人 |
| 年間利用者数 | 30,721人 | 1,217人 | 28,908人 | 29,504人 | 2,733人 |
| 1月あたり | 2,560人 | 101人 | 2,409人 | 2,459人 | 228人 |
| 1日あたり | 93人 | 4人 | 101人 | 89人 | 10人 |
| ※年間開館日数 | 332日 | 332日 | 285日 | 332日 | 271日 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により令和2年3月11日～31日まで臨時休館(電話による問合せや相談業務は継続実施)

ウ 高等教育機関の併設（群馬パース大学福祉専門学校の設置）

若い世代の多くが高等学校を卒業後、他市町村に流失していることから、若者と地域とのつながりを深めることで人材流出を緩和させ、地域産業を担う人材育成など本市の課題解決に向けた取組を促進する必要があるため、事業者からの事業提案により、高等教育機関として専門学校を誘致しました。

専門学校の概要及び市との連携事業

| 項目 | | 概要等 |
|---------|-----|---|
| 専門学校の概要 | 設置者 | 学校法人群馬パース学園 |
| | 名称 | 群馬パース大学福祉専門学校 |
| | 学科 | 介護福祉学科(2年制・定員50名) 保育学科(2年制・定員50名) 介護福祉専攻科(1年制・定員30名) ※H31新設 |
| 市との連携事業 | | 大学からの講師、指導者派遣等により各種事業を行う。 ・発達相談や育児相談などの支援方法についての指導 ・母親を対象としたセミナーの実施 ・専門職員による子育てや発達相談窓口の開設 ・幼児教育、保育機関への講師派遣 ・学生ボランティアの派遣、授業実践の実施(音楽、美術、英語等) ・健康づくり教室などの各種教室やイベントの開催 ・多世代交流を促進するイベント等の開催など |

(2) 地域子育て支援拠点事業

核家族化や少子化の進行する中、子育て中の孤立感や不安感の緩和を図るため、未就園児とその保護者を対象に、育児不安などの相談指導や親子同士のふれあいの場を提供します。

| 項目 | 内容等 |
|-------|---|
| 事業内容 | 子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談や援助 子育てに関する講習会や講演会の実施 |
| 利用対象者 | 就園前児童とその保護者 |

ア 民間保育所・認定こども園の地域子育て支援拠点事業

民間保育所・認定こども園では、敷地の問題で子育て支援室を設けることができない1園を除く8園でセンター型の地域子育て支援拠点事業を市の委託で行っています。保育所・認定こども園と併設することによって、園庭や遊具など年齢に適した保育機能を活用できます。

また、保育士や栄養士による専門分野での相談をすることができます。

民間保育所（園）・認定こども園実施施設（月～金曜日 5日/週）

| 実施施設名 | 実施日 | 年間利用者数(人) | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 渋川こぼと保育園 こぼとひろば | 9:00～12:00 13:00～15:00 | 総数 | 2,482 | 2,179 | 2,367 | 3,391 | 2,051 |
| | | (親) | 1,144 | 962 | 1,109 | 1,621 | 988 |
| | | (子) | 1,338 | 1,217 | 1,258 | 1,770 | 1,063 |
| 行幸田保育園 みっきークラブ | 9:00～14:00 | 総数 | 2,274 | 2,290 | 1,597 | 1,373 | 912 |
| | | (親) | 1,102 | 1,056 | 753 | 636 | 431 |
| | | (子) | 1,172 | 1,234 | 844 | 737 | 481 |
| コスモス保育園 コスモスひろば | 9:00～12:00 13:00～16:00 | 総数 | 2,823 | 2,941 | 2,360 | 2,060 | 1,160 |
| | | (親) | 1,354 | 1,436 | 1,144 | 970 | 521 |
| | | (子) | 1,469 | 1,505 | 1,216 | 1,090 | 639 |
| 半田こども園 にこにこランド | 9:30～11:30 13:00～16:00 | 総数 | 3,743 | 3,195 | 3,334 | 3,415 | 2,405 |
| | | (親) | 1,710 | 1,508 | 1,558 | 1,609 | 1,146 |
| | | (子) | 2,033 | 1,687 | 1,776 | 1,806 | 1,259 |
| パンジー保育園 めだかクラブ | 9:00～16:00 | 総数 | 837 | 1,012 | 551 | 493 | 466 |
| | | (親) | 407 | 480 | 270 | 229 | 191 |
| | | (子) | 430 | 532 | 281 | 264 | 275 |
| たんぼぼ保育園 たんぼぼクラブ | 9:30～12:30 13:00～15:00 | 総数 | 1,342 | 629 | 720 | 496 | 282 |
| | | (親) | 652 | 308 | 359 | 231 | 142 |
| | | (子) | 690 | 321 | 361 | 265 | 140 |
| ひばり保育園 すまいる☆キッズ | 9:00～15:30 | 総数 | 1,862 | 1,855 | 691 | 809 | 557 |
| | | (親) | 873 | 836 | 348 | 399 | 277 |
| | | (子) | 989 | 1,019 | 343 | 410 | 280 |
| 北橋保育園 チャイルドハウスひ まわり | 9:00～12:00 13:00～15:30 | 総数 | 2,096 | 1,651 | 1,233 | 1,149 | 218 |
| | | (親) | 916 | 749 | 543 | 519 | 107 |
| | | (子) | 1,180 | 902 | 690 | 630 | 111 |
| 合計 | | 総数 | 17,459 | 15,752 | 12,853 | 13,186 | 8,051 |
| | | (親) | 8,158 | 7,335 | 6,084 | 6,214 | 3,803 |
| | | (子) | 9,301 | 8,417 | 6,769 | 6,972 | 4,248 |

イ 渋川市子育て支援センター事業

渋川市子育て支援センターでは、センター型拠点事業として運営するとともに、地域支援として、市立幼稚園に出向いた子育て支援を行っています。

また、公立保育所ではそれぞれの保育所で自園での子育て支援を行っています。

| 目的 | 概要等 |
|---------------------|--|
| 子育て親子の交流の場の提供 | 花や野菜の栽培、水遊びや落ち葉拾いなどの季節に応じた遊び、遊具を使い年齢に適した遊びなどを通して子育て親子の交流の場を提供する。 |
| 子育て等に関する相談 | 保育士による子育て等の相談を行い、必要に応じて保健師や家庭児童相談室と連携しより具体的な相談に応じる。 |
| 子育てに関する講習会や講演会の実施 | 子育てをテーマとする講演や親子等の交流講座を開催する。(毎月1回程度) |
| 住民ニーズにあった地域子育て情報の提供 | 住民ニーズにあった子育て情報を提供する。 |
| 地域支援活動の実施 | センター指導員が市立幼稚園へ出向き子育て支援を実施する。公立保育所では自園での子育て支援を実施する。 |

(ア) 渋川市子育て支援センター (名称：のびのびこあら)

所在地 渋川市渋川1338番地4
 開館日 年中無休(年末年始を除く)
 開館時間 午前9時～午後5時
 利用者実績

| 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 |
|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 利用者延人数 | 8,773人 | 8,072人 | 34,160人 | 35,246人 | 29,504人 |
| 保護者 | 4,023人 | 3,778人 | 15,605人 | 16,684人 | 13,862人 |
| 子ども | 4,750人 | 4,294人 | 18,555人 | 18,562人 | 15,642人 |
| 平均利用組数 | 18組 | 17組 | 48組 | 49組 | 44組 |
| 開設日数 | 243日 | 231日 | 354日 | 354日 | 332日 |

(イ) 出向き支援 (名称：こあらクラブ)

市立の幼稚園5園へ出向き、親子ふれあいの場を開設
 開設日 火曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)
 開館時間 9時30分～11時30分
 実施状況及び利用者実績

| 曜日 | 実施施設 | 支援日程 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 |
|----|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 火 | 渋川幼稚園 | 第2・4週 | 利用者延人数 | 3,994人 | 3,230人 | 2,519人 | 1,915人 | 1,609人 |
| | かに石幼稚園 | 毎週 | 親 | 1,833人 | 1,515人 | 1,183人 | 913人 | 747人 |
| 水 | 北橋幼稚園 | 毎週 | 子 | 2,161人 | 1,715人 | 1,336人 | 1,002人 | 862人 |
| 木 | こもち幼稚園 | 毎週 | 平均組数 | 8組 | 6組 | 9組 | 6組 | 6組 |
| 金 | 赤城幼稚園 | 第1・2・3週 | 開設日数 | 253日 | 244日 | 140日 | 148日 | 144日 |

※H29年度以降は、公立保育所は自園で子育て支援を実施のため実績に含まない。

(ウ) 自園での子育て支援 (名称：こあらクラブ)

公立の保育所4園で、親子ふれあいの場を開設(H29より自園で実施)
 開設日 月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)
 開館時間 9時30分～11時30分
 実施状況及び利用者実績

| 曜日 | 実施施設 | 支援日程 | R1年度 | 第一 | 第四 | 第五 | 伊香保 | 合計 |
|----|-----------|------|--------|------|------|------|------|--------|
| 月 | 第一保育所 | 毎週 | 利用者延人数 | 293人 | 775人 | 228人 | 131人 | 1,427人 |
| 火 | 第四・第五保育所 | | 親 | 146人 | 371人 | 107人 | 66人 | 690人 |
| 水 | 第一・第四保育所 | | 子 | 147人 | 404人 | 121人 | 65人 | 737人 |
| 木 | 第四・伊香保保育所 | | 平均組数 | 1組 | 3組 | 2組 | 1組 | 2組 |
| 金 | 第一保育所 | | 開設日数 | 111日 | 124日 | 43日 | 45日 | 323日 |

(3) 放課後児童クラブ (学童保育所)

小学校の放課後や長期休校日に、労働などで保護者が昼間家庭にいない児童を預かり、適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブの運営を委託します。各クラブごとに特色を持った運営のため、保育料は異なります。

放課後児童クラブ一覧 ※面積定員は1.65/人。欠席等により面積定員の2割増し程度受入れ可能。

| No. | クラブ名 | 運営団体等 | 学校区・設置場所 | 施設面積 m ² | 保育面積 m ² | 面積定員 人 | 児童数 | | | 開設時間 |
|-----|-----------------------|-------------------------|--|------------------------|------------------------|-----------|---------|----------|----------|--|
| | | | | | | | R1 人 | H30 人 | H29 人 | |
| 1 | 北小わかくさ子供センターA | 保護者会 (公設・民営) | 渋川北小 渋川681-2 (市有)学校余裕 教室 | 156.0 | 68.7 | 41 | 31 | 37 | 37 | 月～金曜日 放課後～18:00 土曜日 8:15～18:00 長期休業 8:15～18:00 |
| 2 | 北小わかくさ子供センターB | | | | | | 26 | 28 | 36 | 月～金曜日 放課後～18:00 土曜日 8:15～18:00 長期休業 8:15～18:00 |
| 3 | あかしあ学童館 | 社会福祉法人 (民設・民営) | 渋川北小・渋川 西小・金島小 金井1477-3 | 88.0 | 69.5 | 42 | 45 | 40 | 49 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:30～18:00 長期休業 8:30～18:30 |
| 4 | 南区学童保育 なかよしクラブ | 保護者会 (公設・民営) | 渋川南小 渋川2593-1 (市有)学校敷地 内専用施設 | 79.0 | 57.1 | 35 | 39 | 38 | 39 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 5 | 学童クラブむくろじ | 運営委員会 (公設・民営) | 金島小 金井2352-5 (市有)旧第三保 育所跡地 | 105.0 | 105.0 | 64 | 56 | 54 | 46 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～18:30 長期休業 8:00～19:00 |
| 6 | くわの実 | NPO法人 (公設・民設・ 民営) | 古巻小 八木原850-1 (市有)学校近隣 専用施設 | 150.8 | 121.0 | 73 | 70 | 90 | 87 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 7 | ふるまキッズ | | 古巻小 八木原953-4 | 95.8 | 49.3 | 30 | 34 | | | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 8 | さくらクラブ | | 古巻小 八木原844-3 (市有)学校敷地 内専用施設 | 98.3 | 57.3 | 35 | 39 | 46 | 44 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 9 | 学童保育所ひまわりクラブ第1 | 保護者会 (公設・民営) | 豊秋小 石原937-1 (市有)学校近隣 専用施設 | 112.0 | 80.4 | 49 | 47 | 46 | 43 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 10 | 学童保育所ひまわりクラブ(あじさいルーム) | | 豊秋小 石原1181-8 (市有)学校敷地 内専用施設 | 88.4 | 67.8 | 41 | 32 | 29 | 27 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:00～18:30 長期休業 8:00～18:30 |
| 11 | 学童保育所けやきクラブ | 保護者会 (公設・民営) | 渋川西小 金井2817 (市有)学校余裕 教室 | 143.4 | 115.6 | 70 | 24 | 26 | 36 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～19:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 12 | 児童クラブふらっとほーむ | NPO法人 (民設・民営) | 中郷小 中郷449-32 | 108.0 | 82.6 | 50 | 40 | 44 | 45 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～18:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 13 | 児童クラブふらっとほーむ第2 | | | 58.6 | 58.6 | 35 | 30 | 34 | | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～18:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 14 | とれいん学童クラブ | | 長尾小 中郷608-53 | 51.7 | 46.1 | 28 | 42 | 45 | 45 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～18:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 15 | 児童クラブとわいらいと | | 長尾小 中郷608-63 | 75.6 | 62.0 | 38 | 41 | 45 | 45 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～18:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 16 | 三原田学童保育クラブ | 保護者会 (公設・民営) | 三原田小 赤城町上三原田851-1 (市有)学校余裕 教室 | 65.7 | 48.6 | 29 | 20 | 20 | 21 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:00～18:30 長期休業 8:00～18:30 |

| | | | | | | | | | | |
|----|------------------|-----------------------|---|--------|--------|-----|-----|-----|-----|--|
| 17 | かしの木クラブ | 社会福祉法人 (民設・民営) | 三原田小・他 赤城町上三原田380-1 | 149.0 | 86.1 | 52 | 35 | 30 | 37 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:00～18:00 長期休業 8:00～18:00 |
| 18 | 津久田学童保 育クラブ | 保護者会 (公設・民営) | 津久田小 赤城町津久田1905 (市有)学校敷地 内専用施設 | 86.1 | 57.4 | 35 | 24 | 30 | 29 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:00～18:30 長期休業 8:00～18:30 |
| 19 | きのご学童ク ラブ | 保護者会 (公設・民営) | 橋小 北橋町真壁524 (市有)学校敷地 内専用施設 | 100.8 | 66.0 | 40 | 42 | 50 | 52 | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 8:00～17:00 長期休業 8:00～19:00 |
| 20 | たけのご学童ク ラブ | 保護者会 (公設・民営) | 橋北小 北橋町八崎995 (市有)学校敷地 内専用施設 | 99.9 | 68.5 | 42 | 29 | 32 | 30 | 月～金曜日 放課後～18:30 土曜日 8:00～18:30 長期休業 8:00～18:30 |
| 21 | tonan児童倶楽 部渋川 | 一般社団法 人 (民設・民営) | 全地区 半田1908-2 | 103.7 | 49.5 | 30 | 1 | | | 月～金曜日 放課後～19:00 土曜日 7:30～18:30 長期休業 7:30～18:30 |
| 計 | | | | 1912.1 | 1436.4 | 870 | 747 | 764 | 748 | |

施設整備等の状況

| 年度 | クラブ名 | 整備内容 | 金額(円) |
|--------|---------------------------|--|------------|
| 平成24年度 | たけのご学童クラブ | 建設 従来の使用施設が耐震強度不足のため、同敷 地内に改築 ※国・県支出金 13,384千円 | 21,702,687 |
| 平成25年度 | 学童クラブむくろじ | 施設整備 屋根及び外壁改修工事 5,803,350円 ※福祉事業基金活用 建物一部解体駐車場整備 7,101,150円 | 12,904,500 |
| 平成26年度 | 学童保育所けやきクラブ | テラス取付け | 302,400 |
| 平成27年度 | 学童クラブむくろじ | フェンス改修 | 236,520 |
| 平成29年度 | 第2学童保育所ひまわりクラブ | 賃借料月額補助 支援単位分けにより行幸田自治会館(2階)を借 り上げ | 300,000 |
| 平成30年度 | 学童保育所ひまわりクラブ (あじさいルーム) | 新築工事 (旧第2ひまわりクラブの行幸田自治会館は返却 済) ※国・県支出金 22,135千円 | 33,004,800 |
| 令和元年度 | 津久田学童保育クラブ | 空調設備交換工事 ※福祉事業基金活用 | 972,000 |

(4) ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を受けたい人（依頼会員＝おねがい会員）と子育ての援助を行いたい人（提供会員＝まかせて会員）、両方を行いたい人（両方会員＝どちらも会員）を会員として登録し、地域で子育て援助活動を行う会員組織。センターは、依頼会員の希望に沿った提供会員を紹介し、会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことで、市民が仕事と子育てを両立できる環境を整備します。

援助内容は、子どもを一時預かることや保育所などへの送迎等で、子どもを預かる場合は、提供会員の家庭や施設等で行います。その他、緊急サポートとして、かかりつけ医での代理受診などを行います。

また、平成30年度から、短時間利用を促進し子育て支援の充実を図るため、基本額（まかせて会員が受け取る額＝700円）は変更せずに、おねがい会員が支払う額を一律200円減額し、センターに活動報告書提出後、基本額の不足分（200円）を利用促進費としてまかせて会員に支給しています。

ア 事業の経過

| 年度 | 経過 |
|--------|--|
| 平成16年度 | しづかわファミリー・サポート・センターを開設(平成16年10月1日) 勤労福祉センター内 渋川市石原1629番地1 電話 0279-22-5200 ・NPO法人シーヤクラブへ運營業務を委託し実施 ・会員募集は随時行う ・定期的に会員向けの講演会や研修会を開催 ・へそっ子通信の発行(ファミサポ情報誌) ・交流会、イベント(クリスマス会等)の開催 |
| 平成21年度 | 渋川ほっとプラザ 渋川市渋川1760番地1 に移転 ・ファミサポひろば開催(親子ピクス、食育の推進、子育て談話等) |
| 平成22年度 | 緊急サポート事業、病児等緊急預かりを開始 ・病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時、宿泊預かり |
| 平成24年度 | 吉岡町、榛東村と共同実施を開始し、人口割りで事業費分担 |
| 平成29年度 | 渋川すこやかプラザ 渋川市渋川1338番地4 に移転 |
| 平成30年度 | 短時間の利用促進のため月4時間まで200円を引き下げ(利用促進券の運用開始) |

イ 会員区分

| 区分 | 要件 |
|------------|--|
| 依頼(おねがい)会員 | おおむね生後3か月から15歳までの子どもの保護者 |
| 提供(まかせて)会員 | 20歳以上で子育ての経験があり、心身ともに健康で自宅等で子どもを預かることができる人 |
| 両方(どちらも)会員 | 依頼・提供会員の両方ができる人 |

ウ 会員数 (令和2年3月末)

| 区分 | 渋川市 (人) | (内訳) | | | | | | 吉岡町 (人) | 榛東村 (人) | 計(人) |
|--------|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|------------|-------|
| | | 渋川 | 伊香保 | 小野上 | 子持 | 赤城 | 北橋 | | | |
| おねがい会員 | 961 | 614 | 20 | 0 | 147 | 95 | 85 | 160 | 61 | 1,182 |
| まかせて会員 | 144 | 104 | 2 | 0 | 16 | 10 | 12 | 16 | 18 | 178 |
| どちらも会員 | 59 | 33 | 0 | 0 | 7 | 7 | 12 | 17 | 8 | 84 |
| 会員数 | 1,164 | 751 | 22 | 0 | 170 | 112 | 109 | 193 | 87 | 1,444 |

エ 会員の推移及び活動件数（渋川市のみ）

| 年 度 | 総会員数 | 依頼会員 | 提供会員 | 両方会員 | 活動件数 | (うち緊急預かり) |
|---------|--------|------|------|------|------|-----------|
| 令和元年度末 | 1,164人 | 961人 | 144人 | 59人 | 551件 | 9件 |
| 平成30年度末 | 1,172人 | 975人 | 138人 | 59人 | 656件 | 13件 |
| 平成29年度末 | 1,165人 | 967人 | 140人 | 58人 | 383件 | 16件 |

オ 基本事業活動（渋川市のみ）

| 活 動 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-----------------------------|-------|--------|--------|
| (1) 保育施設の保育前または、終了後の子どもの預かり | 116件 | 135件 | 98件 |
| (2) 保育所・幼稚園の送迎 | 66件 | 152件 | 88件 |
| (3) 放課後児童クラブの送迎 | 27件 | 51件 | 18件 |
| (4) 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり | 15件 | 44件 | 8件 |
| (5) 学校の送迎 | 6件 | 1件 | 2件 |
| (6) 学校の開始前または、終了後の子どもの預かり | 20件 | 3件 | 0件 |
| (7) 子どもの習い事等の場合の援助 | 99件 | 64件 | 3件 |
| (8) 保育所・学校等お休みの援助 | 11件 | 3件 | 7件 |
| (9) 保育所等施設入所前の援助 | 25件 | 2件 | 3件 |
| (10) 保護者等の外出などの場合の子どもの預かり | 103件 | 136件 | 84件 |
| (11) 保護者の病気などの場合の子どもの預かり | 5件 | 0件 | 8件 |
| (12) 他の子どもの行事の際の援助 | 1件 | 6件 | 1件 |
| (13) その他 | 48件 | 46件 | 47件 |
| (14) 病児・緊急対応強化事業活動 診断前 | 1件 | 0件 | 5件 |
| (15) 病児・緊急対応強化事業活動 診断後 | 8件 | 13件 | 11件 |
| (16) 病児・緊急対応強化事業活動 宿泊を伴う預かり | 0件 | 0件 | 0件 |
| 計 | 551件 | 656件 | 383件 |

カ 利用料金

(ア) 健常児の場合（1時間あたりの料金）

| 時間 | 月曜日から金曜日 | 土曜日・日曜日・祝日 |
|------------|----------|------------|
| 7:00～19:00 | 700円 | 800円 |
| 時間外 | 800円 | 900円 |

※利用促進券について

短時間利用を促進し、子育て支援の充実を図るため、おねがい会員の支払う料金を減額している。

- a おねがい会員とまかせて会員の事前打合せ（マッチング）において、1年間の利用促進券（月4枚・年間最大48枚）をおねがい会員に配付する。
- b 1回の利用について、2時間までの利用料金を、1時間あたり200円引き下げ500円とする。（3時間以降の利用は従来の利用料金とする。）
- c 料金の引き下げは、月2回（4時間）を限度とする。（引き下げ限度額以上は、従来利用料金とする。）
- d 基本額の不足分（200円）は、利用促進費としてファミサポからまかせて会員に支給する。

(イ) お泊まり保育（健常児のみ）

急な残業、出張、入院などの場合のサポート(1回あたりの料金)

| 対象 | 月曜日から金曜日 | 土曜日・日曜日・祝日 |
|-------|----------|------------|
| 就学前児童 | 7,000円 | 10,000円 |
| 就学児童 | 6,000円 | 9,000円 |

(ウ) 緊急サポート事業（病児等緊急預かり）

a 診断前の病児の場合

親が変わって、かかりつけ医での代理受診を行う（1時間あたりの料金）

| | |
|-------|------------|
| 時間 | かかりつけ医の開業日 |
| 診療時間内 | 1,300円 |

b 診断後の病児の場合

かかりつけ医での診療後、病気回復期ではあるが集団保育が困難な場合に預かる。

※インフルエンザ等の感染症は対応不可。（1時間あたりの料金）

| | | |
|------------|----------|------------|
| 時間 | 月曜日から金曜日 | 土曜日・日曜日・祝日 |
| 7:00～19:00 | 1,000円 | 1,300円 |

(5) 産前・産後サポート事業

産前、産後の母親が体調が不十分であったり、育児不安を抱えるなどの精神的、肉体的負担を軽減するため、援助者が自宅に出向き、育児や家事などの代行をします。この事業の利用者の年齢としては、30代で初めての出産を経験する方の利用が半数以上を占めています。

職場では中堅となり人に認められ、仕事にやりがいや生きがいを感じているところで、出産により職場を離れ、子どもと2人だけの生活となり、社会と隔離された疎外感を抱くようになっていたり、また、同じような環境の人がいなく、若いお母さんとなじめず相談相手ができない状態などになってしまう場合もあります。

母子手帳を発行するときに、無料で案内することで所得に関係なく気軽に誰でも利用でき、育児や家事の代行をきっかけに相談などができることから、養育力不足や虐待防止のための対象者を早期に発見することが可能となります。

また、ファミリー・サポート・センター事業との橋渡しとなり精神面をケアすることで、児童虐待や育児放棄などを防ぐ役割を果たします。

ア 事業概要

| 区分 | 概要 |
|------|---|
| 委託先 | NPO法人シーヤクラブ |
| 対象者 | 出産予定1か月前から出産日以降1年を経過していない児を持つ母親 ※令和2年度より母子手帳取得後からを対象者とする |
| 利用時間 | 午前9時から午後5時まで(1日1回2時間まで) |
| 援助内容 | ・家事援助(通常の食事準備、後片付け、洗濯、清掃等) ・育児補助(授乳、おむつ交換、沐浴介助等) ※母親が外出するために子どもを預けることはできない。(生後3か月までを除く) |
| 利用料金 | 3回まで無料(4回目から1回につき1,700円) |

イ 活動件数

| 年度 | 利用者数 | | | | | 利用回数 | うち有料 | 備考 |
|--------|------|-----|----|----|----------|------|------|-------------------|
| | | 1回 | 2回 | 3回 | 4回以上(有料) | | | |
| 平成26年度 | 24人 | 13人 | 5人 | 5人 | 1人 | 47回 | 6回 | 9回利用1人 |
| 平成27年度 | 17人 | 8人 | 3人 | 5人 | 1人 | 29回 | 0回 | |
| 平成28年度 | 23人 | 13人 | 2人 | 8人 | 0人 | 41回 | 0回 | 渋川市24・榎東村7・吉岡町10件 |
| 平成29年度 | 20人 | 12人 | 4人 | 4人 | 0人 | 32回 | 0回 | 渋川市14・榎東村5・吉岡町13件 |
| 平成30年度 | 15人 | 5人 | 3人 | 5人 | 2人 | 37回 | 0回 | 渋川市25・榎東村8・吉岡町4件 |
| 令和元年度 | 16人 | 7人 | 4人 | 4人 | 1人 | 33回 | 3回 | 渋川市25・榎東村3・吉岡町5件 |

(6) 児童手当支給事業

平成24年4月1日児童手当法が改正され、子ども手当から引き継ぎ支給されています。平成24年6月支給分から所得制限が設けられ超えた場合は特例給付として一律5,000円を支給します。

ア 支給対象 中学校修了前までの国内に住所を有する児童

イ 受給資格者 監護要件を満たす父母等

ウ 手当支給額

| 年齢区分 | | 児童手当 |
|------------|-------|---------|
| | | H24.4以降 |
| 0歳～3歳未満 | | 15,000円 |
| 3歳～小学校修了まで | 第1・2子 | 10,000円 |
| | 第3子以降 | 15,000円 |
| 中学生 | | 10,000円 |
| 特例給付 | | 5,000円 |

エ 支給月 年3回（6、10、2月）

オ 支給単価（1人1月あたり）の比較

| 年齢区分 | | 児童手当 H24.4～ | 子ども手当 | | 児童手当 ～H22.3 |
|------------|-------|----------------|-----------------------|-----------------------|----------------|
| | | | 特例措置法 H23.10～H24.3 | (つなぎ法) H22.4～H23.9 | |
| | | | | | |
| 3歳未満 | 被用者 | 15,000円 | 15,000円 | 13,000円 | 10,000円 |
| | 非被用者 | 15,000円 | 15,000円 | 13,000円 | 10,000円 |
| 小学校修了前 | 第1・2子 | 10,000円 | 10,000円 | 13,000円 | 5,000円 |
| | 第3子以降 | 15,000円 | 15,000円 | 13,000円 | 10,000円 |
| 中学生 | | 10,000円 | 10,000円 | 13,000円 | －円 |
| 所得制限以上特例給付 | | 5,000円 | 所得制限なし | 所得制限なし | 0円 |
| 特定施設入所等 | 3歳未満 | －円 | 15,000円 | －円 | －円 |
| | 3歳以上 | －円 | 10,000円 | －円 | －円 |

カ 支給状況

| 年度 | | 支払い延べ件数 | 比較 | 金額 | 比較 |
|--------|------|----------|-------|----------------|-------|
| 平成25年度 | 児童手当 | 107,128件 | - | 1,180,215,000円 | - |
| 平成26年度 | 児童手当 | 103,710件 | 96.8% | 1,141,140,000円 | 96.7% |
| 平成27年度 | 児童手当 | 101,463件 | 97.8% | 1,114,635,000円 | 97.7% |
| 平成28年度 | 児童手当 | 98,716件 | 97.3% | 1,085,620,000円 | 97.4% |
| 平成29年度 | 児童手当 | 95,271件 | 96.5% | 1,045,685,000円 | 96.3% |
| 平成30年度 | 児童手当 | 92,459件 | 97.0% | 1,012,840,000円 | 96.9% |
| 令和元年度 | 児童手当 | 89,043件 | 96.3% | 973,425,000円 | 96.1% |

キ 支給額に対する負担割合の推移

| 年度 | | 支給額 | 国庫負担金 | | 県負担金 | | 市負担率 |
|--------|------|-------------|-----------|-------|-----------|-------|-------|
| 平成25年度 | 児童手当 | 1,180,215千円 | 815,643千円 | 69.1% | 182,286千円 | 15.4% | 15.4% |
| 平成26年度 | 児童手当 | 1,141,140千円 | 788,032千円 | 69.1% | 176,339千円 | 15.5% | 15.5% |
| 平成27年度 | 児童手当 | 1,114,635千円 | 769,797千円 | 69.1% | 172,021千円 | 15.4% | 15.5% |
| 平成28年度 | 児童手当 | 1,085,620千円 | 751,702千円 | 69.2% | 166,626千円 | 15.3% | 15.4% |
| 平成29年度 | 児童手当 | 1,045,685千円 | 724,255千円 | 69.3% | 160,235千円 | 15.3% | 15.4% |
| 平成30年度 | 児童手当 | 1,012,840千円 | 701,748千円 | 69.3% | 155,530千円 | 15.4% | 15.4% |
| 令和元年度 | 児童手当 | 973,425千円 | 674,192千円 | 69.3% | 149,793千円 | 15.4% | 15.4% |

(7) 児童扶養手当支給事業

ア 児童扶養手当

18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童を監護しているひとり親家庭の父や母、または父母に代わってその児童を養育している人に支給します。

支給月：4月、8月、11月、1月、3月 ※制度改正により令和元年度は15ヶ月分の支払い

支給状況

| 年度 | 受給権者数 | 受給者数 | 内新規 | 内父子 | 支払延件数 | 金額 |
|--------|-------|------|-----|-----|--------|--------------|
| 平成25年度 | 652人 | 580人 | 88人 | 24人 | 7,285件 | 283,173,380円 |
| 平成26年度 | 657人 | 585人 | 84人 | 28人 | 7,380件 | 282,392,380円 |
| 平成27年度 | 635人 | 566人 | 68人 | 25人 | 7,181件 | 278,606,890円 |
| 平成28年度 | 618人 | 549人 | 63人 | 27人 | 7,000件 | 277,026,490円 |
| 平成29年度 | 615人 | 551人 | 71人 | 23人 | 6,878件 | 278,985,270円 |
| 平成30年度 | 581人 | 509人 | 57人 | 26人 | 6,703件 | 272,284,170円 |
| 令和元年度 | 542人 | 480人 | 68人 | 27人 | 7,937件 | 331,414,270円 |

イ 特別児童扶養手当

精神または身体に障害（国民年金法の1級及び2級相当）のある「20歳未満の児童」を監護している父や母、または、父母に代わってその児童を養育している人に支給します。

障害の程度は、国民年金法の1級及び2級に相当する児童とされます。市は、認定請求書の受理、事前審査、証書交付等を法定受託事務として行います。

手当は、全額を国費で支給します。

支給状況

| 年度 | 受給権者数 | 受給者数 | 支払延件数 | 金額 |
|--------|-------|------|--------|-------------|
| 平成25年度 | 103人 | 98人 | 1,186件 | 50,323,280円 |
| 平成26年度 | 108人 | 102人 | 1,203件 | 50,361,170円 |
| 平成27年度 | 111人 | 104人 | 1,215件 | 54,061,950円 |
| 平成28年度 | 111人 | 104人 | 1,205件 | 53,486,720円 |
| 平成29年度 | 107人 | 104人 | 1,197件 | 55,912,500円 |
| 平成30年度 | 106人 | 103人 | 1,218件 | 56,535,070円 |
| 令和元年度 | 108人 | 103人 | 1,201件 | 56,144,040円 |

(8) 発達特性のある児童の早期発見及び支援（親子サポート充実事業）

発達に特性のある子どもを早期に発見するとともに、小学校での学習環境への適応を図るため、5歳児健診を実施し、特性のある子どもとその保護者への早期支援を行います。

5歳に到達する子どもの保護者及び通園先にアンケート調査を実施、集計等により支援が必要と認められる子どもとその保護者に対して発達相談会への参加を呼びかけ集団行動観察や面談を実施し、必要な指導・助言を行うとともに、家庭及び園での保育支援を行います。

| 年度 | アンケートの発送と回収状況 | | | 発達相談会の対象者数と参加者数 | | |
|-------|---------------|------|-----|-----------------|------|-----|
| | 発送人数 | 回収人数 | 回収率 | 対象者数 | 参加者数 | 参加率 |
| 令和元年度 | 513人 | 483人 | 94% | 181人 | 26人 | 14% |

4 家庭児童相談室事業

(1) 家庭児童相談室事業

児童委員及び学校、家庭、保育所等からの通報などにより、中央児童相談所北部支支所と連携を図りながら、心身障害、知能や言語の遅れ、家庭非行、児童虐待、学校での生活などの相談に応じます。児童虐待や養育力不足などをはじめとして、相談内容は多様化しており、継続して見守りながら相談者と解決策を見つけるための支援を行います。

また、平成23年度よりDV被害者の相談窓口をこども課で行い、DV被害者の抱える問題を十分に聴き、女性相談センター等の関係機関との連携を取りながら安全確保や生活、精神面のケアを行います。

相談体制 家庭児童相談員 4人

相談時間 午前9時～午後5時

相談件数

| 年度 | 相談件数 | DV相談件数 |
|--------|------|--------|
| 平成20年度 | 351件 | 件 |
| 平成21年度 | 361件 | 件 |
| 平成22年度 | 316件 | 10件 |
| 平成23年度 | 339件 | 14件 |
| 平成24年度 | 335件 | 11件 |
| 平成25年度 | 350件 | 8件 |
| 平成26年度 | 264件 | 8件 |
| 平成27年度 | 300件 | 12件 |
| 平成28年度 | 265件 | 6件 |
| 平成29年度 | 265件 | 8件 |
| 平成30年度 | 275件 | 6件 |
| 令和元年度 | 341件 | 5件 |

(2) 要保護児童対策地域協議会

要保護児童対策地域協議会は、平成20年3月26日に設置され、要保護児童の早期発見やその適切な保護並びに要保護児童及びその家庭への適切な支援を図るため、関係機関連携のもとに必要な情報の交換や考え方を共有し、支援策を導き出すとともに、その対応策に必要な事項について協議を行います。

関係機関（ケースにより召集機関の担当者が変わる）

前橋地方法務局、伊勢崎保健福祉事務所、中央児童相談所、警察署、医師会、教育委員会、幼稚園、認定こども園、保育園、小・中学校、人権擁護委員協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、小・中学校PTA連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会、青少年育成推進員連絡協議会、青少年センター補導員会等

| 会議の開催 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|--------------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------|------|
| | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 | 回数 | 参加数 |
| 1. 代表者会議 | 1回 | 72人 | 1回 | 77人 | 1回 | 71人 | 1回 | 39人 | 1回 | 38人 |
| 2. 実務者会議 | 12回 | 145人 | 12回 | 167人 | 13回 | 177人 | 12回 | 178人 | 12回 | 191人 |
| 3. 個別ケース検討会議 | 8回 | 64人 | 22回 | 238人 | 20回 | 129人 | 19回 | 148人 | 29回 | 227人 |
| 4. 講演会 | 1回 | | 1回 | | 1回 | 71人 | 1回 | 72人 | 1回 | 59人 |

令和元年度 児童相談経路別児童受付集計表

単位：件

| 区分 | 都道府県 指定都市等 | | | | 市町村 | | | 児童福祉施設 指定医療機関 | | | 保健所 及び医療機関 | | 学校等 | | | 児童委員 ※通告の 仲介を含む | 家族 ・ 親族 | 近隣 ・ 知人 | 児童 本人 | その他 | 計 | |
|----|---------------|-------|--------|-----|-------|--------|-----|------------------|--------|--------|---------------|-----|------|-----|----|-----------------------|---------------|---------------|----------|-----|-----|--------|
| | 児童相談所 | 福祉事務所 | 保健センター | その他 | 福祉事務所 | 保健センター | その他 | 保育所 | 児童福祉施設 | 指定医療機関 | 警察等 | 保健所 | 医療機関 | 幼稚園 | 学校 | | | | | | | 教育委員会等 |
| 男 | 11 | | | | 1 | 37 | | 5 | | | | 2 | 5 | 24 | | | 1 | 84 | 4 | 2 | 176 | |
| 女 | 14 | | | | 33 | 5 | 6 | | | | | | 1 | 21 | 1 | | 1 | 72 | 6 | 5 | 165 | |
| 計 | 25 | 0 | 0 | 0 | 1 | 70 | 5 | 11 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 | 45 | 1 | 0 | 2 | 156 | 10 | 0 | 7 | 341 |

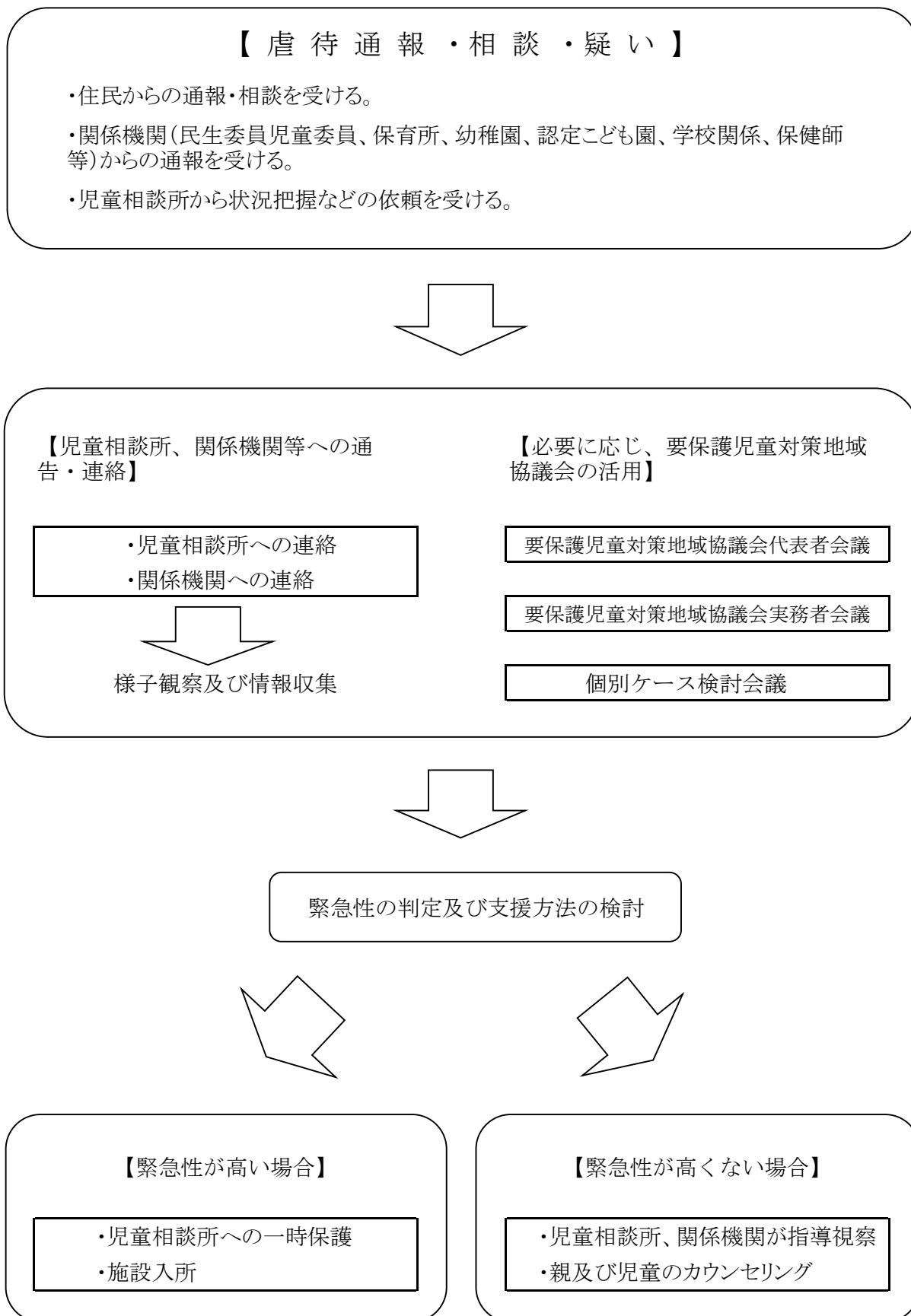
単位：件

| | 養護相談 | | 保健相談 | 障害相談 | | | | | | 非行相談 | | 育成相談 | | | | その他 | 計 | 年齢別割合 | 期別割合 | | |
|-------|------|-----|------|-------|-------|---------|--------|------|------|-------|-------|------|-----|----|--------|-----|------|--------|--------------|-------|--------|
| | 児童虐待 | その他 | | 肢体不自由 | 視聴覚障害 | 言語発達障害等 | 重症心身障害 | 知的障害 | 発達障害 | ＜犯行為等 | 触法行為等 | 性格行動 | 不登校 | 適性 | 育児・しつけ | | | | | | |
| 0歳 | 6 | 2 | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | 18 | 5.3% | 乳児期・ 幼児前期 | 24.3% | |
| 1歳 | 5 | 4 | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | 14 | 4.1% | | | |
| 2歳 | 2 | 2 | | | | 1 | | 2 | | | | | | | 10 | 7 | 24 | 7.0% | | | |
| 3歳 | 9 | 4 | | 3 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | 5 | 2 | 27 | 7.9% | | | |
| 4歳 | 8 | | | 3 | 1 | | 1 | 9 | | | | | | | 9 | 5 | 36 | 10.6% | 幼児後期 | 23.8% | |
| 5歳 | 8 | | | 1 | 1 | | | 5 | | 1 | | | | | 5 | 2 | 23 | 6.7% | | | |
| 6歳 | 5 | 2 | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | 7 | 3 | 22 | 6.5% | | | |
| 7歳 | 3 | 1 | | | | | | 3 | | | | | | | 8 | 4 | 19 | 5.6% | 学童前期 | 19.6% | |
| 8歳 | 5 | 1 | | | | | | 3 | 6 | | 2 | 1 | | 3 | 3 | 24 | 7.0% | | | | |
| 9歳 | 10 | 1 | | | | | | 2 | 3 | | | | | 7 | 1 | 24 | 7.0% | | | | |
| 10歳 | 2 | 1 | | | | | | 2 | 5 | | 1 | | | 5 | 3 | 19 | 5.6% | 学童後期 | 16.1% | | |
| 11歳 | 2 | 1 | | | | | | 1 | 5 | | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 18 | 5.3% | | | | |
| 12歳 | 3 | 2 | | | | | | 2 | 2 | | | | | 6 | 3 | 18 | 5.3% | | | | |
| 13歳 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 4 | 4 | 1 | 2 | 2 | 18 | 5.3% | 青年前期 | 12.0% | | |
| 14歳 | 3 | | | | | | | 2 | | | 1 | 5 | | 2 | 2 | 15 | 4.4% | | | | |
| 15歳 | | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 4 | 8 | 2.3% | | | | |
| 16歳 | 2 | | | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | 5 | 1.5% | 青年中期 | 4.1% | |
| 17歳 | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | | 2 | | 5 | 1.5% | | | |
| 18歳以上 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 | | 4 | 1.2% | | | |
| 計 | 74 | 23 | 1 | 7 | 1 | 4 | 2 | 13 | 50 | 1 | 0 | 14 | 13 | 2 | 80 | 56 | 341 | 100.0% | | | 100.0% |

単位：件

| 相談内容 | | 面接指導 | | | 児童相談所送致 | 知的障害者福祉司 社会福祉主事指導 | 助産又は母子保健の実施に係る都道府県知事への報告 | その他 | 計 | 内容別割合 |
|------|---------|------|------|-------|---------|----------------------|--------------------------|-----|--------|-------|
| | | 助言指導 | 継続指導 | 他機関斡旋 | | | | | | |
| 養護相談 | 児童虐待 | 34 | 40 | | | | | 74 | 21.7% | |
| | その他 | 11 | 12 | | | | | 23 | 6.7% | |
| 保健相談 | | | 1 | | | | | 1 | 0.3% | |
| 障害相談 | 肢体不自由 | 3 | 4 | | | | | 7 | 2.1% | |
| | 視聴覚障害 | | 1 | | | | | 1 | 0.3% | |
| | 言語発達障害等 | 1 | 3 | | | | | 4 | 1.2% | |
| | 重症心身障害 | | 2 | | | | | 2 | 0.6% | |
| | 知的障害 | 6 | 7 | | | | | 13 | 3.8% | |
| | 発達障害 | 14 | 36 | | | | | 50 | 14.7% | |
| 非行相談 | ぐ犯行為等 | | 1 | | | | | 1 | 0.3% | |
| | 解法行為等 | | | | | | | 0 | 0.0% | |
| 育成相談 | 性格行動 | 1 | 9 | | | | 4 | 14 | 4.1% | |
| | 不登校 | 1 | 9 | | | | 3 | 13 | 3.8% | |
| | 適性 | 1 | 1 | | | | | 2 | 0.6% | |
| | 育児・しつけ | 21 | 57 | | | | 2 | 80 | 23.5% | |
| その他 | | 14 | 40 | 1 | | | 1 | 56 | 16.4% | |
| 計 | | 107 | 223 | 1 | 0 | 0 | 10 | 341 | 100.0% | |

(3) 要保護児童対策支援体制



5 母子及び寡婦福祉（母子家庭等自立支援給付金事業）

母子家庭及び寡婦の福祉については、母子及び父子並びに寡婦福祉法により生活の安定と自立の助長を図る種々の施策が講じられています。

市においては、母子・父子自立支援員を配置し、就業相談や資格取得のための受講費用などの助成を行い、ひとり親家庭の自立支援を推進しています。

（1）母子家庭等自立支援教育訓練給付事業

母子・父子家庭の就労を促進するため、資格取得のための講座を受講した者に対して、受講費の一部を補助します。

ア 対象講座 1カ月以上 1年未満

イ 支給額 平成27年度まで 受講料の2割相当額（上限10万円）
平成28年度から 受講料の6割相当額（上限20万円）
平成29年度から 受講料の6割相当額（上限20万円から
雇用保険から支給される一般教育訓練給付金を差し引いた額）

ウ 支給者数

| 年度 | 支給者数 | 支給額 | 内 訳 |
|--------|---------|-------------------------|----------------------------|
| 平成25年度 | 1人 | 9,700円 | (48,500円× 20% 円) |
| 平成27年度 | 1人 | 19,440円 | (97,200円× 20% 円) |
| 平成29年度 | 1人 | 42,505円 | (106,263円× 60% - 21,252円) |
| 平成30年度 | 4人 | 329,715円 | (受講費用 × 60% - 一般教育給付金) |
| | ① | 38,876円 | (97,189円× 60% - 19,437円) |
| | ② | 170,580円 | (284,300円× 60% - 非該当) |
| | ③ | 34,988円 | (87,470円× 60% - 17,494円) |
| ④ | 85,271円 | (142,119円× 60% - 非該当) | |
| 令和元年度 | 0人 | 0円 | 申請者なし |

（2）母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業

就職に有利な資格を取得するため、一定期間のカリキュラムの取得が必要な養成校を受講することで、修業と育児との両立が困難と判断された者に対して、修業期間中の生活費として支給します。

ア 促進給付金

月額 非課税世帯100,000円、課税世帯70,500円

最終学年加算 40,000円（令和元年度より新設、課税/非課税区分なし）

| 年度 | 支給者数 | 支給額 | 備 考 |
|--------|------|-------------|--------------|
| 平成27年度 | 11人 | 10,133,500円 | 入学者1人 |
| 平成28年度 | 10人 | 10,702,000円 | 入学者5人 |
| 平成29年度 | 8人 | 7,867,500円 | 入学者3人 |
| 平成30年度 | 10人 | 10,672,500円 | 入学者6人 |
| 令和元年度 | 9人 | 11,894,000円 | 入学者2人、最終学年4人 |

イ 修了支援給付金 養成機関入学時の負担軽減のため、一時金を支給します。
非課税世帯50,000円、課税世帯25,000円

| 年度 | 支給者数 | 支給額 | 備考 |
|--------|------|----------|-----------------------|
| 平成27年度 | 4人 | 150,000円 | 50,000円×2人・25,000円×2人 |
| 平成28年度 | 3人 | 100,000円 | 50,000円×1人・25,000円×2人 |
| 平成29年度 | 3人 | 125,000円 | 50,000円×2人・25,000円×1人 |
| 平成30年度 | 2人 | 100,000円 | 50,000円×2人 |
| 令和元年度 | 3人 | 125,000円 | 25,000円×1人・50,000円×2人 |

(3) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

高等学校を卒業していない(中退を含む。)ひとり親家庭の親または児童の学び直しを支援するものです。民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るため支給します。(平成28年度より実施)

ア 受講修了時給付金 受講料の2割相当額(上限:10万円)
イ 合格時給付金 受講料の4割相当額(上限:①との合計額15万円)

(親)

| 年度 | 支給者数 | 支給総額 | 受講修了 | 合格 | 受講料 |
|--------|------|---------|---------|---------|----------|
| 平成28年度 | 1人 | 68,688円 | 22,896円 | 45,792円 | 114,480円 |
| 平成29年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 平成30年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 令和元年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |

(児童)

| 年度 | 支給者数 | 支給総額 | 受講修了 | 合格 | 受講料 |
|--------|------|------|------|----|-----|
| 平成28年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 平成29年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 平成30年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 令和元年度 | 0人 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |

6 保育の充実

子ども・子育て支援新制度により、子育て家庭の親の就労状況や地域の実情などに応じた多様かつ質の高い支援を行います。施設利用に当たっては満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、教育標準時間を1号認定、保育の利用にあつては2号認定、満3歳未満の子どもは3号認定の区分に分けられます。就労の状況によって保育標準時間（11時間）、保育短時間（8時間）の保育時間の区分の認定を受けて利用されます。

(1) 入所児童数

「受」は管外受託児童数を再掲。令和2年3月1日現在

| 施設名称 (認可年月日) | 所在地 | 定員 | 入所数 (人) | 3号認定 | | | | | | 2号認定 | | | | | | 計 | | |
|-----------------------|---------------------|-------|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|----|--|
| | | | | 0歳 | | 1歳 | | 2歳 | | 3歳 | | 4歳 | | 5歳 | | 計 | 受 | |
| | | | | 受 | | 受 | | 受 | | 受 | | 受 | | 受 | | | | |
| 第一保育所 (S26.9.1) | 渋川市渋川2103-22 | 60 | 標準 | 2 | | 8 | | 13 | | 13 | | 11 | | 11 | | 58 | | |
| | | | 短時間 | 0 | | 4 | | 5 | | 3 | | 2 | | 4 | | 18 | | |
| | | | 計 | 2 | 0 | 12 | 0 | 18 | 0 | 17 | 1 | 13 | 0 | 15 | 0 | 77 | 1 | |
| 第四保育所 (S47.4.1) | 渋川市有馬716 | 87 | 標準 | 4 | | 3 | | 11 | | 16 | | 12 | | 17 | | 63 | | |
| | | | 短時間 | 0 | | 6 | | 4 | | 5 | | 7 | | 9 | | 31 | | |
| | | | 計 | 4 | 0 | 11 | 2 | 17 | 2 | 21 | 0 | 19 | 0 | 28 | 2 | 100 | 6 | |
| 第五保育所 (S50.4.1) | 渋川市渋川446-1 | 76 | 標準 | 1 | | 4 | | 8 | | 9 | | 13 | | 7 | | 42 | | |
| | | | 短時間 | 0 | | 3 | | 4 | | 3 | | 5 | | 3 | | 18 | | |
| | | | 計 | 1 | 0 | 9 | 2 | 12 | 0 | 13 | 1 | 18 | 0 | 10 | 0 | 63 | 3 | |
| 伊香保保育所 (S23.6.30) | 渋川市伊香保町 伊香保335-3 | 88 | 標準 | 3 | | 4 | | 2 | | 2 | | 3 | | 6 | | 20 | | |
| | | | 短時間 | 3 | | 1 | | 3 | | 2 | | 1 | | 6 | | 16 | | |
| | | | 計 | 6 | 0 | 5 | 0 | 6 | 1 | 4 | 0 | 4 | 0 | 12 | 0 | 37 | 1 | |
| 公立保育所計 | | 311 | 標準 | 10 | | 19 | | 34 | | 40 | | 39 | | 41 | | 183 | | |
| | 短時間 | | 3 | | 14 | | 16 | | 13 | | 15 | | 22 | | 83 | | | |
| | 計 | | 13 | 0 | 37 | 4 | 53 | 3 | 55 | 2 | 54 | 0 | 65 | 2 | 277 | 11 | | |
| 渋川こぼと保育園 (S49.4.1) | 渋川市金井2352-15 | 120 | 標準 | 12 | | 14 | | 22 | | 23 | | 22 | | 23 | | 116 | | |
| | | | 短時間 | 1 | | 5 | | 2 | | 5 | | 3 | | 3 | | 19 | | |
| | | | 計 | 14 | 1 | 19 | 0 | 25 | 1 | 28 | 0 | 25 | 0 | 26 | 0 | 137 | 2 | |
| 行幸田保育園 (S49.4.1) | 渋川市行幸田 910-1 | 150 | 標準 | 16 | | 24 | | 27 | | 20 | | 22 | | 28 | | 137 | | |
| | | | 短時間 | 2 | | 10 | | 7 | | 13 | | 13 | | 3 | | 48 | | |
| | | | 計 | 18 | 0 | 35 | 1 | 35 | 1 | 34 | 1 | 35 | 0 | 33 | 2 | 190 | 5 | |
| コスモス保育園 (S49.4.1) | 渋川市石原1609-1 | 100 | 標準 | 11 | | 16 | | 17 | | 15 | | 19 | | 21 | | 99 | | |
| | | | 短時間 | 1 | | 0 | | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | 3 | | |
| | | | 計 | 14 | 2 | 19 | 3 | 22 | 3 | 17 | 2 | 22 | 3 | 22 | 1 | 116 | 14 | |
| パンジー保育園 (S54.4.1) | 渋川市金井1512-1 | 90 | 標準 | 14 | | 13 | | 14 | | 16 | | 17 | | 20 | | 94 | | |
| | | | 短時間 | 2 | | 4 | | 2 | | 3 | | 0 | | 2 | | 13 | | |
| | | | 計 | 17 | 1 | 17 | 0 | 16 | 0 | 21 | 2 | 17 | 0 | 23 | 1 | 111 | 4 | |
| 中村保育園 (S55.4.1) | 渋川市中村369-4 | 90 | 標準 | 4 | | 15 | | 20 | | 21 | | 21 | | 10 | | 91 | | |
| | | | 短時間 | 2 | | 4 | | 2 | | 2 | | 2 | | 8 | | 20 | | |
| | | | 計 | 6 | 0 | 19 | 0 | 22 | 0 | 24 | 1 | 23 | 0 | 19 | 1 | 113 | 2 | |
| たんぼぼ保育園 (S53.4.1) | 渋川市上白井 2525 | 130 | 標準 | 12 | | 16 | | 16 | | 26 | | 21 | | 15 | | 106 | | |
| | | | 短時間 | 5 | | 8 | | 14 | | 10 | | 11 | | 7 | | 55 | | |
| | | | 計 | 17 | 0 | 24 | 0 | 30 | 0 | 36 | 0 | 32 | 0 | 22 | 0 | 161 | 0 | |
| ひばり保育園 (S53.4.1) | 渋川市赤城町 勝保沢110-6 | 160 | 標準 | 8 | | 21 | | 28 | | 27 | | 38 | | 34 | | 156 | | |
| | | | 短時間 | 2 | | 3 | | 3 | | 5 | | 4 | | 6 | | 23 | | |
| | | | 計 | 10 | 0 | 24 | 0 | 32 | 1 | 32 | 0 | 42 | 0 | 40 | 0 | 180 | 1 | |
| 北橋保育園 (S58.4.1) | 渋川市北橋町 八崎374 | 110 | 標準 | 10 | | 17 | | 21 | | 15 | | 29 | | 21 | | 113 | | |
| | | | 短時間 | 0 | | 7 | | 6 | | 3 | | 5 | | 3 | | 24 | | |
| | | | 計 | 10 | 0 | 24 | 0 | 27 | 0 | 19 | 1 | 34 | 0 | 24 | 0 | 138 | 1 | |
| 民間保育所計 | | 950 | 標準 | 87 | | 136 | | 165 | | 163 | | 189 | | 172 | | 912 | | |
| | 短時間 | | 15 | | 41 | | 38 | | 41 | | 38 | | 32 | | 205 | | | |
| | 計 | | 106 | 4 | 181 | 4 | 209 | 6 | 211 | 7 | 230 | 3 | 209 | 5 | 1,146 | 29 | | |
| 半田こども園 (H30.4.1) | 渋川市半田1161-2 | 230 | 標準 | 20 | | 28 | | 40 | | 31 | | 38 | | 29 | | 186 | | |
| | | | 短時間 | 1 | | 5 | | 3 | | 10 | | 3 | | 12 | | 34 | | |
| | | | 計 | 21 | 0 | 34 | 1 | 45 | 2 | 42 | 1 | 42 | 1 | 42 | 1 | 226 | 6 | |
| 白ばら幼稚園 (H29.4.1) | 渋川市渋川778 | 50 | 標準 | | | | | 5 | | 10 | | 13 | | 10 | | 38 | | |
| | | | 短時間 | | | | | 3 | | 4 | | 9 | | 3 | | 19 | | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 14 | 0 | 22 | 0 | 13 | 0 | 57 | 0 | |
| 渋川大島幼稚園 (H29.4.1) | 渋川市半田2410 | 20 | 標準 | | | | | | | 2 | | 4 | | 6 | | 12 | | |
| | | | 短時間 | | | | | | | | 2 | | 4 | | 2 | | 8 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 10 | 2 | 9 | 1 | 25 | 5 | |
| 民間認定こども園計 | | 300 | 標準 | 20 | | 28 | | 45 | | 43 | | 55 | | 45 | | 236 | | |
| | 短時間 | | 1 | | 5 | | 6 | | 16 | | 16 | | 17 | | 61 | | | |
| | 計 | | 21 | 0 | 34 | 1 | 53 | 2 | 62 | 3 | 74 | 3 | 64 | 2 | 308 | 11 | | |
| 合計 | | 1,561 | 標準 | 117 | | 183 | | 244 | | 246 | | 283 | | 258 | | 1,331 | | |
| | 短時間 | | 19 | | 60 | | 60 | | 70 | | 69 | | 71 | | 349 | | | |
| | 計 | | 140 | 4 | 251 | 8 | 313 | 9 | 325 | 9 | 355 | 3 | 336 | 7 | 1,720 | 40 | | |

※半田こども園、白ばら幼稚園及び渋川大島幼稚園は、保育認定子どもを計上

令和2年3月1日現在（単位：人）

| 施設名称 | 所在地 | 種別 | 施設種別 | 3号認定 | | | 2号認定 | | | 1号認定 | | | | 計 | | |
|------|------------|------|------|--------|----|----|------|----|----|------|----|----|----|---|----|---|
| | | | | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 満3歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | | | |
| 1 | 芳賀保育所 | 前橋市 | 公立 | 保育所 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 2 | 富士見保育所 | 前橋市 | 公立 | 保育所 | | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 |
| 3 | 南橋保育所 | 前橋市 | 公立 | 保育所 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 4 | 群馬北保育園 | 高崎市 | 公立 | 保育所 | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 5 | 伊勢町保育所 | 中之条町 | 公立 | 保育所 | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 6 | あづまこども園 | 東吾妻町 | 公立 | 認定こども園 | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 7 | 箕郷第一保育園 | 高崎市 | 公立 | 保育所 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 8 | あづま保育所 | 東吾妻町 | 公立 | 保育所 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 9 | 吉岡町第一保育園 | 吉岡町 | 民間 | 保育所 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 10 | 吉岡町第二保育園 | 吉岡町 | 民間 | 保育所 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 11 | 吉岡町第四保育園 | 吉岡町 | 民間 | 保育所 | 1 | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 12 | 榛東北部保育園 | 榛東村 | 民間 | 保育所 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 13 | はと保育園 | 前橋市 | 民間 | 保育所 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 14 | 長昌寺保育園 | 前橋市 | 民間 | 保育所 | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 15 | あおぞら北 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | 1 | | | 1 | | | | | | 2 |
| 16 | あおぞら総社 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 17 | 大手町くりの木保育園 | 前橋市 | 民間 | 保育所 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 18 | おりーぶの森 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | 1 | | | | | 1 | | | | | | 2 |
| 19 | 石倉保育園 | 前橋市 | 民間 | 保育所 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 4 |
| 20 | 共愛学園こども園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 21 | めぐみ保育園 | 前橋市 | 民間 | 保育所 | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 22 | 慈照幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 23 | 富士見幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 24 | 駒寄幼稚園 | 吉岡町 | 民間 | 認定こども園 | | 1 | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 25 | しょうび第一幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | 1 | | | 1 | | | | | | 2 |
| 26 | ポケット幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 27 | 江木幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 28 | なのかいちこども園 | 富岡市 | 民間 | 認定こども園 | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 29 | 榛東中央こども園 | 榛東村 | 民間 | 認定こども園 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 30 | 堤ヶ丘保育園 | 高崎市 | 民間 | 保育所 | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 31 | 恵保育園 | 高崎市 | 民間 | 保育所 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 32 | 星の光こども園 | 高崎市 | 民間 | 認定こども園 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 33 | たから幼稚園 | 前橋市 | 民間 | 幼稚園 | | | | | | | | | 1 | | 1 | 2 |
| 計 | | | | | 3 | 4 | 7 | 9 | 8 | 8 | 0 | 3 | 1 | 3 | 46 | |

(2) 保育料の無料化（市独自の上乗せ支援）

| 条件 | 徴収者 | 区分 | 延べ数 | 保育料 | | |
|--|-------|----------|---------|--------------|-------------|------------------------------------|
| 令和元年 4～9月 第2子以降の 保育料 | 渋川市 | 公立保育所 | 市内 | 706人 | 10,531,100円 | 歳入減額分 a 67,726,010円 |
| | | 公立幼稚園 | 市内 | 825人 | 2,089,250円 | |
| | | 民間保育園 | 市内 | 3,121人 | 54,845,160円 | |
| | | | 市外 | 20人 | 260,500円 | |
| | 園 | 民間認定こども園 | 市内 | 1,334人 | 18,233,050円 | 歳出増額分 (施設型給付費) b 19,114,250円 |
| | | | 市外 | 35人 | 693,200円 | |
| | | 民間幼稚園 | 市外 | 5人 | 20,700円 | |
| | | 他市町村 | 公立保育所 | 市外 | 25人 | |
| 公立幼稚園 | 市外 | | 0人 | 0円 | | |
| 令和元年 10～3月 住民税 課税世帯の 0～2歳保育料 | 渋川市 | 公立保育所 | 市内 | 763人 | 9,825,960円 | 歳入減額分 c 61,298,820円 |
| | | 公立幼稚園 | 市内 | 0人 | 0円 | |
| | | 民間保育園 | 市内 | 3,591人 | 50,939,540円 | |
| | | | 市外 | 49人 | 533,320円 | |
| | 園 | 民間認定こども園 | 市内 | 952人 | 12,920,720円 | 歳出増額分 (施設型給付費) d 13,230,620円 |
| | | | 市外 | 23人 | 98,900円 | |
| 他市町村 | 公立保育所 | 市外 | 49人 | 211,000円 | | |
| 合計 | | | 11,498人 | 161,369,700円 | | |

(3) 保育充実促進事業

ア 低年齢児保育事業

低年齢児保育の質を向上するため、民間の保育所又は認定こども園が、保育士の配置を増強して、低年齢児(1歳児)に適した保育を実施する事業に対して補助する。

【配置基準】 1歳児5人に対し保育士1人の配置(国基準は6人に1人)

【基準額】 1歳児1人につき月額10,900円

| 実施施設 | 年度別推移 | | | | |
|----------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| | 低年齢児保育(1歳児) | | | | |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
| | 延人数 | 延人数 | 延人数 | 延人数 | 延人数 |
| 渋川こぼと保育園 | 247人 | 226人 | 241人 | 262人 | 228人 |
| 行幸田保育園 | 327人 | 343人 | 336人 | 339人 | 420人 |
| コスモス保育園 | 228人 | 182人 | 215人 | 186人 | 224人 |
| パンジー保育園 | 217人 | 201人 | 275人 | 194人 | 65人 |
| 中村保育園 | 140人 | 240人 | 216人 | 228人 | 225人 |
| たんぼぼ保育園 | 204人 | 288人 | 300人 | 300人 | 274人 |
| ひばり保育園 | 150人 | 271人 | 348人 | 288人 | 292人 |
| 北橋保育園 | 200人 | 348人 | 226人 | 250人 | 284人 |
| 半田こども園 | 409人 | 408人 | 399人 | 416人 | 417人 |
| 合計 | 2,122人 | 2,507人 | 2,556人 | 2,463人 | 2,429人 |

イ 食物アレルギー対策事業

民間の保育所又は認定こども園が、調理員の配置を増強して食物アレルギー児童に配慮した給食の提供、食物アレルギー対策委員会等の設置、食物アレルギーに関する園内研修を実施する事業に対して補助する。

【基準額】 1施設当たり年額811,200円

【実施施設】 渋川こぼと保育園、行幸田保育園、コスモス保育園、パンジー保育園、中村保育園、たんぼぼ保育園、ひばり保育園、北橋保育園、半田こども園、渋川大島幼稚園

ウ 一時預かり事業

保護者の疾病や家族の介護等により一時的に家庭での保育が困難となる場合に対応し、育児疲れによる保護者の心理的・肉体的負担を軽減するため、民間の保育所又は認定こども園が、乳幼児を一時的に預かる保育を実施する事業に対して補助する。

【基準額】 一般型：1施設当たり年額1,600,000円

幼稚園型：年間延べ利用児童数2,000人超の場合は児童1人当たり日額400円

| 実施施設 | 実施時期 | H29 延人数 | H30 延人数 | R1 延人数 |
|---------|------|------------|------------|-----------|
| 半田こども園 | 平日 | — | 3,104人 | 2,902人 |
| 白ばら幼稚園 | 平日 | 1,317人 | — | 1,269人 |
| | 長期休業 | 614人 | — | 329人 |
| 渋川大島幼稚園 | 平日 | 2,846人 | 2,635人 | 2,442人 |
| 合計 | | 4,777人 | 5,739人 | 6,942人 |

エ 障害児保育事業

集団保育が可能な障害児を受け入れるため、民間の保育所又は認定こども園が、特別に保育者を配置して障害児の保育を実施する事業に対して補助する。

(ア) 軽度障害児

群馬県中部福祉事務所若しくは特別支援学校アドバイザーのコンサルテーションを受け、特別な指導を要すると助言された児童又は公的機関及び専門医によりこれと同等の判定を受けた児童

【基準額】 1人につき月額36,800円

(イ) 中度障害児

身体障害者手帳若しくは療育手帳を交付された児童又は児童相談所等の公的機関において知的障害と判定（同等の障害を有すると判断された場合も含む。）された児童

【基準額】 1人につき月額36,800円

(ウ) 重度障害児

特別児童扶養手当の支給対象障害児（所得により手当の支給を停止されている者を含む。）

【基準額】 1人につき月額73,600円

| 年度別推移 実施施設 | H29 | H30 | R1 | | | |
|---------------|-----|-----|-----|----|----|-----|
| | 児童数 | 児童数 | 軽度 | 中度 | 重度 | 児童数 |
| 渋川こばと保育園 | 0人 | 0人 | 7人 | 1人 | 0人 | 8人 |
| 行幸田保育園 | 3人 | 5人 | 3人 | 0人 | 0人 | 3人 |
| コスモス保育園 | 3人 | 2人 | 0人 | 0人 | 1人 | 1人 |
| パンジー保育園 | 3人 | 2人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 中村保育園 | 0人 | 0人 | 2人 | 0人 | 0人 | 2人 |
| 北橋保育園 | 9人 | 6人 | 3人 | 0人 | 0人 | 3人 |
| 半田こども園 | 0人 | 0人 | 1人 | 1人 | 0人 | 2人 |
| 合計 | 18人 | 15人 | 16人 | 2人 | 1人 | 19人 |

オ 乳児受入支援事業

年間を通じて乳児の受入体制を確保するため、民間の保育所又は認定こども園が、乳児に係る保育士を配置して乳児保育を実施する事業に対して補助する。

【基準額】 5月1日以降に入所した乳児（0歳児）1人当たり年額18,000円

| 年度別推移 実施施設 | H28 | H29 | H30 | R1 | | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | 児童数 | 児童数 | 児童数 | 当初 | 年度末 | 受入数 |
| 渋川こばと保育園 | 7人 | 7人 | 9人 | 6人 | 14人 | 8人 |
| 行幸田保育園 | 13人 | 12人 | 10人 | 8人 | 18人 | 10人 |
| コスモス保育園 | 8人 | 7人 | 12人 | 6人 | 14人 | 8人 |
| パンジー保育園 | 12人 | 17人 | 7人 | 7人 | 17人 | 10人 |
| 中村保育園 | 9人 | 3人 | 3人 | 4人 | 6人 | 2人 |
| たんぼぼ保育園 | 14人 | 11人 | 8人 | 7人 | 17人 | 10人 |
| ひばり保育園 | 10人 | 7人 | 8人 | 2人 | 10人 | 8人 |
| 北橋保育園 | 6人 | 7人 | 8人 | 1人 | 10人 | 9人 |
| 半田こども園 | 13人 | 10人 | 12人 | 10人 | 21人 | 11人 |
| 合計 | 92人 | 81人 | 77人 | 51人 | 127人 | 76人 |

カ 認定こども園通園バス補助事業

通園バスを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、通園バス利用料の減免を実施する施設に対して補助する。

【基準額】 1人につき月額1,000円以内

【実施施設】 白ばら幼稚園、渋川大島幼稚園

キ 延長保育事業

保育時間の延長に対する需要に対応するため、民間の保育所又は認定こども園が、保育標準時間（11時間）又は保育短時間（8時間）以外の時間帯に乳幼児の保育を実施する事業に対して補助する。

【基準額】 1時間延長（標準時間認定）：1施設当たり年額1,505,000円

30分延長（標準時間認定）：1施設当たり年額300,000円

| 年度別推移 実施施設 | 保育標準時間 | 延長 | H27 延人数 | H28 延人数 | H29 延人数 | H30 延人数 | R1 延人数 |
|---------------|------------|-----|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 渋川こぼと保育園 | 7:30～19:00 | 30分 | 276人 | 320人 | 226人 | 173人 | 123人 |
| 行幸田保育園 | 7:30～18:30 | 30分 | 181人 | 191人 | 228人 | 113人 | 301人 |
| コスモス保育園 | 7:00～19:00 | 1時間 | 782人 | 1,404人 | 1,414人 | 1,423人 | 1,381人 |
| パンジー保育園 | 7:30～19:00 | 30分 | 408人 | 248人 | 164人 | 117人 | 73人 |
| 中村保育園 | 7:30～19:00 | 30分 | 921人 | 724人 | 365人 | 354人 | 354人 |
| たんぼぼ保育園 | 7:30～18:30 | — | 156人 | 276人 | 227人 | — | — |
| ひばり保育園 | 7:00～19:00 | 1時間 | 806人 | 785人 | 1,071人 | 1,500人 | 2,801人 |
| 北橋保育園 | 7:00～19:00 | 30分 | 657人 | 1,014人 | 666人 | 469人 | 280人 |
| 半田こども園 | 7:15～19:15 | 30分 | 1,746人 | 1,937人 | 2,977人 | 2,020人 | 1,790人 |
| 合計 | | | 5,933人 | 6,899人 | 7,338人 | 6,169人 | 7,103人 |

(4) 病児保育事業

病児保育事業は、乳児、幼児又は小学校就学児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合において、病院等に付設された専用施設等で一時的に保育するほか、保育所等で体調不良となった児童への緊急対応を行う事業です。

北毛保健生活協同組合が設置した「みつばち保育園」（北毛病院内に付設された専用施設）が実施する厚生労働省が定めた「病児保育事業実施要綱」及び渋川市病児保育事業実施要綱に基づく「病児対応型（病気回復期に至っていない児童を対象）」及び「病後児対応型（病気回復期の児童を対象）」に対して、運営費を補助する。

【基準額】 基本分5,007,000円+加算分4,434,000円（200人以上～400人未満）

みつばち保育園利用実績

| 年度 | 延人数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| R1 | 208人 | 22 | 10 | 20 | 19 | 17 | 15 | 20 | 12 | 22 | 13 | 26 | 12 |
| H30 | 242人 | 22 | 15 | 28 | 21 | 15 | 18 | 15 | 19 | 20 | 35 | 26 | 8 |
| H29 | 335人 | 24 | 22 | 31 | 24 | 25 | 31 | 24 | 20 | 32 | 31 | 44 | 27 |
| H28 | 306人 | 12 | 12 | 19 | 37 | 39 | 32 | 27 | 21 | 28 | 26 | 27 | 26 |
| H27 | 342人 | 34 | 15 | 37 | 39 | 17 | 24 | 24 | 19 | 23 | 26 | 38 | 46 |

社会福祉法人北橋双葉会が設置した「北橋保育園」が実施する厚生労働省が定めた「病児保育事業実施要綱」及び渋川市病児保育事業実施要綱に基づく「体調不良児対

応型（保育中に体調不良となった児童であって、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童を対象）」に対して、運営費を補助する。

【基準額】基本分4,472,000円

北橋保育園利用実績

| 年度 | 延人数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| R1 | 196人 | 8 | 21 | 21 | 18 | 13 | 19 | 14 | 29 | 14 | 17 | 12 | 10 |
| H30 | 220人 | 4 | 19 | 28 | 26 | 13 | 14 | 18 | 8 | 36 | 28 | 11 | 15 |
| H29 | 129人 | 12 | 3 | 8 | 19 | 7 | 13 | 8 | 4 | 12 | 9 | 14 | 20 |

(5) 英語とふれあう環境の推進

中学校及び小学校（義務教育課程）における英語教育（活動）の拡充を踏まえ、保育所、幼稚園、認定こども園において、幼少期から楽しみながら英語にふれあう環境を整えることにより、継続的な充実した英語教育（活動）の推進を図る。

ア はじめての英語ふれあい事業

【実施施設】

公立保育所（4か所） 第一保育所、第四保育所、第五保育所、伊香保保育所
公立幼稚園（5か所） 渋川幼稚園、かに石幼稚園、こもち幼稚園、赤城幼稚園、北橋幼稚園

【実施内容】

民間講師による英語教育（活動）の提供 報償15,000円/回
各園年18回（3回/2月）程度の実施 計161回（18回×8施設+17回×1施設）
かに石幼稚園だけ17回（コロナウイルス感染拡大防止のため3月開催中止）
1クラス基本20～30分を単位として所要時間60分程度
クラス人数や子どもの状況（園生活への慣れ、理解度等）に応じて時間調整

イ 英語ふれあい支援事業

【基準額】1施設当たり5万円を上限

【実施施設】民間保育所（2か所） 渋川こぼと保育園、ひばり保育園
民間認定こども園（1か所） 半田こども園

(6) 食育の推進事業（親と子の料理教室）

「食育」とは、子どもたちが自らの健康を守り、健全で豊かな食生活を送るための能力を育てるもので、幼児期からバランスのとれた食事の取り方や望ましい食習慣を身につけ、食を通じた健全育成を図る。

「親と子の料理教室」を開催し、食べ物の大切さ、食べる意欲、体との関係に関心を持つことで、健全で豊かな食習慣を培い、豊かな人間性を育むため栄養指導や親子料理教室を開催する。栄養指導では「エプロンシアター」により栄養素や食品を色で示したり、クイズなどを取り入れたりし、子どもたちが興味を持つよう工夫して行っていく。

対 象 公立保育所、市立幼稚園 ※民間保育所は要請により実施
参加実績（単位：人）

| 年度 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 479 | 273 | 217 | 204 | 320 | 121 | 292 |

(7) すくすく保育展「チャイルドゆめフェスティバル」

人格の基礎をつくる重要な時期の子どもたちに夢や感動を与え、情操を育み思いやりの気持ちを育てるとともに、親と子のふれあいの場を提供するもの。実施にあたっては、渋川市内の市立及び民間の保育園長、幼稚園長、認定こども園長で「すくすく保育展実行委員会」を組織し、親と子のふれあいの場を提供するとともに、幼児教育や保育事業活動を積極的に地域住民に公開することで活動の理解と向上を図る。

なお、すくすく保育展「チャイルドゆめフェスティバル」は隔年で開催する。

(令和元年度市民会館改修工事のため実施なし。)

| 事業名 | 開催日 | 内容 |
|------------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| ファミリーコンサート ぬいぐるみ人形劇 | 実施なし(隔年開催) | 劇団による「ファミリーコンサート」「ぬいぐるみ人形劇」を2回上演 |
| 保育活動パネル展 | 令和元年8月20日(火) ～9月2日(月) | 市内全ての保育所(園)及び幼稚園、認定こども園の活動をパネル等により紹介 |

チャイルドゆめフェスティバル(ファミリーコンサート・ぬいぐるみ人形劇) 入場実績(単位:人)

| 年度 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 人数 | 1,992 | 1,825 | 1,759 | 1,884 | 2,004 | — | — |

(8) 保育料

令和2年4月1日現在

| 各月初日の入所児童の属する世帯の階層区分 | | 3号認定 | |
|----------------------|---------------------------------------|--------------------|--------------------|
| 階層 | 定 義 | 保育 標準時間 | 保育 短時間 |
| A | 生活保護法(昭和25年法律第144号)による 被保護世帯(単給世帯を含む) | 円 0 | 円 0 |
| B | 市民税非課税世帯 | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 0 | 0 |
| C1 | 市民税均等割課税所得割非課税世帯 | 6,300 (2,520) | 6,200 (2,500) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| C2 | 所得割課税額が29,800円未満である世帯 | 7,400 (2,960) | 7,300 (2,900) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| C3 | 所得割課税額が29,800円以上48,600円未満である世帯 | 8,900 (3,560) | 8,700 (3,500) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| D1 | 所得割課税額が48,600円以上50,200円未満である世帯 | 11,200 (4,480) | 11,000 (4,400) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| D2 | 市 所得割課税額が50,200円以上57,700円未満である世帯 | 12,500 (5,000) | 12,300 (4,900) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| D3 | 税 所得割課税額が57,700円以上67,000円未満である世帯 | 13,600 (5,440) | 13,400 (5,300) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| D4 | 得 うち所得割課税額が67,000円以上77,101円未満である世帯 | 16,800 (6,720) | 16,500 (6,600) |
| | 〃 (ひとり親等世帯) | 1,800 (0) | 1,800 (0) |
| D5 | 課 うち所得割課税額が77,101円以上80,100円未満である世帯 | 16,800 (6,720) | 16,500 (6,600) |
| | 税 所得割課税額が80,100円以上97,000円未満である世帯 | 19,100 (7,640) | 18,800 (7,500) |
| D6 | 世 所得割課税額が97,000円以上111,700円未満である世帯 | 21,500 (8,600) | 21,100 (8,500) |
| D7 | 帯 所得割課税額が111,700円以上131,400円未満である世帯 | 23,800 (9,520) | 23,400 (9,400) |
| D8 | 所得割課税額が131,400円以上154,500円未満である世帯 | 26,700 (10,680) | 26,200 (10,500) |
| D9 | 所得割課税額が154,500円以上169,000円未満である世帯 | 29,500 (11,800) | 29,000 (11,600) |
| D10 | 所得割課税額が169,000円以上235,000円未満である世帯 | 32,800 (13,120) | 32,200 (12,900) |
| D11 | 所得割課税額が235,000円以上301,000円未満である世帯 | 34,900 (13,960) | 34,300 (13,700) |
| D12 | 所得割課税額が301,000円以上である世帯 | 36,000 (14,400) | 35,400 (14,200) |

- この表のうち、保育料欄の()内は、就学前の児童が同一世帯内に2人以上いる場合、2人目の児童に適用する。
- この表にかかわらず、保育料は、無料とする。

(9) 保育所入所児童数の推移

年齢別児童数の推移（住民基本台帳）

児童数は各年度末現在（単位：人）

| 年齢別児童数 | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年齢別 | 0歳児 | 485 | 484 | 491 | 454 | 414 | 414 | 354 |
| | 1歳児 | 584 | 506 | 510 | 510 | 477 | 412 | 420 |
| | 2歳児 | 570 | 583 | 500 | 519 | 482 | 471 | 417 |
| | 3歳児 | 543 | 567 | 585 | 518 | 510 | 474 | 469 |
| | 4歳児 | 591 | 546 | 573 | 597 | 515 | 518 | 472 |
| | 5歳児 | 597 | 588 | 549 | 579 | 511 | 513 | 515 |
| 計 | | 3,370 | 3,274 | 3,208 | 3,177 | 2,909 | 2,802 | 2,647 |

保育所入所児童数の推移

(単位：人)

| 区分 | 地区 | 保育所(園)名 | 定員 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | |
|----|-----|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 公立 | 渋川 | 第一保育所 | 60 | 56 | 56 | 64 | 72 | 70 | 66 | 77 | |
| | | 第四保育所 | 87 | 75 | 75 | 71 | 81 | 94 | 95 | 100 | |
| | | 第五保育所 | 76 | 69 | 69 | 62 | 69 | 70 | 69 | 63 | |
| | 伊香保 | 伊香保保育所 | 88 | 70 | 70 | 63 | 54 | 47 | 36 | 37 | |
| | 計 | | | 311 | 270 | 270 | 260 | 276 | 281 | 266 | 277 |
| 民間 | 渋川 | 渋川こぼと保育園 | 120 | 152 | 152 | 150 | 144 | 140 | 136 | 137 | |
| | | 行幸田保育園 | 150 | 173 | 173 | 174 | 168 | 180 | 171 | 190 | |
| | | コスモス保育園 | 100 | 112 | 112 | 114 | 100 | 114 | 113 | 116 | |
| | | 半田こども園 | 230 | 236 | 236 | 235 | 237 | 238 | 215 | 226 | |
| | | パンジー保育園 | 90 | 145 | 145 | 144 | 124 | 130 | 117 | 111 | |
| | | 中村保育園 | 90 | 103 | 103 | 98 | 101 | 105 | 108 | 113 | |
| | | 白ばら幼稚園 | 50 | - | - | - | - | 24 | 36 | 57 | |
| | | 渋川大島幼稚園 | 20 | - | - | - | - | 3 | 11 | 25 | |
| | 子持 | たんぼぼ保育園 | 130 | 149 | 149 | 151 | 154 | 155 | 155 | 161 | |
| | 赤城 | ひばり保育園 | 160 | 189 | 189 | 180 | 186 | 188 | 188 | 180 | |
| | 北橋 | 北橋保育園 | 110 | 120 | 120 | 126 | 137 | 131 | 133 | 138 | |
| | 計 | | | 1,250 | 1,379 | 1,379 | 1,372 | 1,351 | 1,408 | 1,383 | 1,454 |
| | 合計 | | | 1,561 | 1,649 | 1,649 | 1,632 | 1,627 | 1,689 | 1,649 | 1,731 |

※定員は平成31年4月1日現在。児童数は各年度とも3月1日現在

※半田こども園、白ばら幼稚園及び渋川大島幼稚園は、保育認定子どもを計上

(10) 保育所の施設状況

令和2年4月現在

| 公立保育所 | 定員 | 開園 | 建設年 | 経過年数 | 備考 |
|-------|------|---------|---------|------|-------------------|
| 第一保育所 | 60人 | 昭和26年9月 | 平成7年4月 | 築25年 | |
| 第四保育所 | 87人 | 昭和47年4月 | 昭和47年4月 | 築48年 | |
| 第五保育所 | 76人 | 昭和50年4月 | 昭和50年4月 | 築45年 | |
| 伊香保育所 | 55人 | 昭和23年6月 | 昭和62年4月 | 築33年 | 令和2年4月 保育所型認定こども園 |
| 公立計 | 278人 | | | | |

| 民間保育所 | 定員 | 開園 | 建設年 | 経過年数 | 備考 |
|-----------|--------|---------|----------|------|------------------------------|
| 渋川こぼと保育園 | 120人 | 昭和49年4月 | 平成19年2月 | 築13年 | 平成18年 改築、平成29年 外壁改修 |
| 行幸田保育園 | 150人 | 昭和49年4月 | 平成23年3月 | 築9年 | 平成22年 改築 |
| コスモス保育園 | 100人 | 昭和49年4月 | 平成6年4月 | 築26年 | 平成23年 床張替、外壁塗装工事 |
| 半田保育園 | 245人 | 昭和51年4月 | 平成18年11月 | 築13年 | 平成18年 改築、平成30年4月 幼保連携型認定こども園 |
| パンジー保育園 | 90人 | 昭和54年4月 | 平成10年4月 | 築22年 | |
| パンジー保育園分園 | | | 平成21年4月 | 築11年 | 平成31年3月31日 閉園 |
| 中村保育園 | 90人 | 昭和55年4月 | 昭和55年4月 | 築40年 | 平成22年 厨房設備改修 |
| たんぼぼ保育園 | 130人 | 昭和53年4月 | 平成27年4月 | 築5年 | 平成26～27年 改築 |
| ひばり保育園 | 160人 | 昭和53年4月 | 平成18年6月 | 築13年 | |
| 北橋保育園 | 110人 | 昭和58年4月 | 平成25年3月 | 築7年 | 平成23～24年 改築 |
| 民間計 | 1,195人 | | | | |

公立+民間の合計 1,473人

(11) キッズゾーン設定事業

キッズゾーンとは、教育・保育施設における園外活動等で、子どもたちが日常的に集団で移動する経路の交通の安全を確保するための区域で、その設定範囲は、教育・保育施設を中心とした半径500メートル以内とした。

キッズゾーンの区域内であることを現地に示して、交通安全意識の高揚を図るため、看板25基（独立式6基及びフェンス取付式19基）を設置した。

7 幼児教育の充実

学校教育法（昭和22年法律第26号）第22条及び第23条に基づき、幼児を保育し、その心身の健全な発達を助長することを目的に幼稚園の運営を行いました。また少子化、核家族化の社会状況の変化により、子育て不安や孤立感などの子育てにかかる保護者負担を解消できるよう、幼稚園機能をいかした子育て支援を行っています。平成27年度に子ども・子育て支援新制度が施行となり、1号認定（教育標準時間）を受けて利用することになりました。

(1) 入園児童数

令和元年5月1日現在(単位:人)

| 施設名称 | | 所在地 | 認可年月日 | 定員 | 満3歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | 備考 |
|----------------|---------|-------------|---------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 公立 | 渋川幼稚園 | 渋川1773-1 | S3.4.1 | 95 | - | 12 | 15 | 26 | 53 | 預かり保育 |
| | かに石幼稚園 | 村上3751-1 | S45.4.1 | 20 | - | 1 | 2 | 4 | 7 | |
| | こもち幼稚園 | 吹屋658-30 | S49.4.1 | 175 | - | 26 | 28 | 40 | 94 | |
| | 赤城幼稚園 | 赤城町勝保沢110-6 | S48.4.1 | 75 | - | 11 | 13 | 17 | 41 | |
| | 北橋幼稚園 | 北橋町真壁2376-4 | S47.4.1 | 135 | - | 19 | 28 | 18 | 65 | |
| | 計 | | | | 500 | 0 | 69 | 86 | 105 | |
| (認定子ども園) 私立 | 半田こども園 | 半田1162-1 | H30.4.1 | 15 | 1 | 7 | 6 | 1 | 15 | 預かり保育 |
| | 白ばら幼稚園 | 渋川778 | S33.6.1 | 120 | 0 | 20 | 29 | 31 | 80 | |
| | 渋川大島幼稚園 | 半田2410 | S44.4.1 | 200 | 8 | 59 | 51 | 47 | 165 | |
| | 計 | | | | 335 | 9 | 86 | 86 | 79 | |
| 合計 | | | | 835 | 9 | 155 | 172 | 184 | 520 | |

※半田こども園、白ばら幼稚園及び渋川大島幼稚園は、教育認定子どもを計上

(2) 預かり保育事業

少子化の進行や女性社会支出の増加に伴う子育て支援の必要性から、通常の教育時間の他に教育活動としての預かり保育を実施しました。

通常の開園日(月～金曜日) ※利用料金:1人日額 100円

| 時間 | 時間 |
|-------------|-------------|
| 8:00～8:40 | 預かり保育 |
| 8:40～9:30 | 登園時間 |
| 9:30～13:30 | 教育時間(標準4時間) |
| 13:30～14:00 | 降園時間 |
| 14:00～18:00 | 預かり保育 |

長期休業期間(主に夏休み期間) ※利用料金:1人日額 200円

| 時間 | 時間 |
|------------|-------|
| 8:00～18:00 | 預かり保育 |

実績

| 施設名称 | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | 令和元年度 | | |
|--------|--------|-------|----------|--------|-------|----------|--------|-------|----------|
| | 延人数 | 1日平均 | 保育料 | 延人数 | 1日平均 | 保育料 | 延人数 | 1日平均 | 保育料 |
| 渋川幼稚園 | 1,066人 | 6.3人 | 111,100円 | 1,548人 | 7.7人 | 165,600円 | 901人 | 4.9人 | 95,900円 |
| かに石幼稚園 | 248人 | 2.3人 | 24,800円 | 247人 | 2.1人 | 24,700円 | 134人 | 1.5人 | 13,400円 |
| こもち幼稚園 | 2,214人 | 13.0人 | 230,900円 | 2,879人 | 15.2人 | 303,800円 | 2,181人 | 11.4人 | 235,500円 |
| 赤城幼稚園 | 1,967人 | 10.7人 | 214,300円 | 2,211人 | 11.8人 | 233,000円 | 1,750人 | 9.6人 | 185,100円 |
| 北橋幼稚園 | 2,386人 | 16.1人 | 244,900円 | 2,246人 | 15.0人 | 232,900円 | 718人 | 4.8人 | 77,200円 |
| 計 | 9,131人 | 10.1人 | 826,000円 | 9,131人 | 10.4人 | 960,000円 | 5,684人 | 6.4人 | 607,100円 |

(3) 保育料の無料化（市独自の上乗せ支援）

| 条件 | 徴収者 | 区分 | | 延べ数 | 保育料 | |
|--|-------|----------|-----|----------|-------------|------------------------------------|
| 令和元年 4～9月 第2子以降の 保育料 | 渋川市 | 公立保育所 | 市内 | 706人 | 10,531,100円 | 歳入減額分 a 67,726,010円 |
| | | 公立幼稚園 | 市内 | 825人 | 2,089,250円 | |
| | | 民間保育園 | 市内 | 3,121人 | 54,845,160円 | |
| | | | 市外 | 20人 | 260,500円 | |
| | 園 | 民間認定こども園 | 市内 | 1,334人 | 18,233,050円 | 歳出増額分 (施設型給付費) b 19,114,250円 |
| | | | 市外 | 35人 | 693,200円 | |
| | 民間幼稚園 | 市外 | 5人 | 20,700円 | | |
| 他市町村 | 公立保育所 | 市外 | 25人 | 167,300円 | | |
| | 公立幼稚園 | 市外 | 0人 | 0円 | | |
| 令和元年 10～3月 住民税 課税世帯の 0～2歳保育料 | 渋川市 | 公立保育所 | 市内 | 763人 | 9,825,960円 | |
| | | 公立幼稚園 | 市内 | 0人 | 0円 | |
| | | 民間保育園 | 市内 | 3,591人 | 50,939,540円 | |
| | | | 市外 | 49人 | 533,320円 | |
| | 園 | 民間認定こども園 | 市内 | 952人 | 12,920,720円 | 歳出増額分 (施設型給付費) d 13,230,620円 |
| | | | 市外 | 23人 | 98,900円 | |
| | 他市町村 | 公立保育所 | 市外 | 49人 | 211,000円 | |
| | | 合計 | | | 11,498人 | |

(4) 通園バス運行事業

市立幼稚園通園バス利用料(月額1,000円/人)については、平成27年度から無料としました。

| 園名 | バス台数 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|--------|------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | | 延利用者数 | 延利用者数 | 園児数 | | 園児数 | 延利用者数 |
| 渋川幼稚園 | — | — | — | — | — | — | — |
| かに石幼稚園 | 1台 | 192人 | 144人 | 10人 | 108人 | 6人 | 68人 |
| こもち幼稚園 | 3台 | 951人 | 773人 | 117人 | 708人 | 96人 | 648人 |
| 赤城幼稚園 | 3台 | 624人 | 506人 | 44人 | 480人 | 41人 | 446人 |
| 北橋幼稚園 | 2台 | 827人 | 804人 | 79人 | 576人 | 64人 | 487人 |
| 計 | 9台 | 2,594人 | 2,227人 | 250人 | 1,872人 | 207人 | 1,649人 |

(5) 幼稚園入園児童数の推移

(単位：人)

| 区分 | 地区 | 幼稚園名 | 定員 | 年度 | | | | | | | R1年度における前年比 |
|-------------------|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|
| | | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | |
| 公立幼稚園 | 渋川 | 渋川幼稚園 | 95 | 97 | 91 | 80 | 73 | 70 | 64 | 53 | 82.8% |
| | 小野上 | かに石幼稚園 | 20 | 16 | 18 | 13 | 17 | 13 | 10 | 7 | 70.0% |
| | 子持 | こもち幼稚園 | 175 | 163 | 166 | 161 | 160 | 128 | 115 | 94 | 81.7% |
| | 赤城 | 赤城幼稚園 | 75 | 63 | 60 | 58 | 58 | 48 | 43 | 41 | 95.3% |
| | 北橋 | 北橋幼稚園 | 135 | 131 | 124 | 130 | 120 | 99 | 80 | 65 | 81.3% |
| | | 計 | 500 | 470 | 459 | 442 | 428 | 358 | 312 | 260 | 83.3% |
| 私立幼稚園 (認定こども園) | 渋川 | 半田こども園 | 15 | — | — | — | — | — | 13 | 15 | 115.4% |
| | | 白ばら幼稚園 | 120 | 135 | 124 | 117 | 116 | 144 | 151 | 80 | 53.0% |
| | | 渋川大島幼稚園 | 200 | 208 | 191 | 205 | 194 | 198 | 180 | 165 | 91.7% |
| | | 計 | 335 | 343 | 315 | 322 | 310 | 342 | 344 | 260 | 75.6% |
| 合計 | | | 835 | 813 | 774 | 764 | 738 | 700 | 656 | 520 | 79.3% |

児童数は各年度の5月1日現在

※半田こども園、白ばら幼稚園及び渋川大島幼稚園は、教育認定子どもを計上

第 3 章

高齡者福祉事業

高齡者安心課

令和2年度（令和元年度分）福祉の概要

（高齢者福祉事業）

1 渋川市の高齢者の状況

| | |
|--------------------------|---|
| (1) 高齢化の進行 | 1 |
| (2) 渋川市の高齢者人口 | 2 |
| (3) 渋川市の65歳以上ひとり暮らし高齢者人口 | 3 |

2 地域生活への支援

| | |
|-----------------------|---|
| (1) 日常生活用具給付等サービス（貸与） | 4 |
| (2) 生活援助食事サービス | 4 |
| (3) 生活支援ホームヘルプサービス | 4 |
| (4) 住民主体型生活支援サービス | 5 |
| (5) いきいきデイサービス | 5 |
| (6) 公衆浴場無料入浴サービス | 5 |
| (7) マッサージ等サービス | 6 |
| (8) 短期入所生活支援 | 6 |

3 緊急時の対応

| | |
|---------------------|---|
| (1) 救急医療情報キット給付サービス | 6 |
| (2) 緊急通報システムサービス | 7 |
| (3) シルバーカード発行 | 7 |

4 在宅介護への支援

| | |
|-----------------|----|
| (1) 理美容サービス | 8 |
| (2) 貸しおむつサービス | 8 |
| (3) 布団丸洗いサービス | 9 |
| (4) 紙おむつ給付 | 9 |
| (5) 在宅介護慰労金支給 | 10 |
| (6) 介護者用車両購入費支給 | 10 |
| (7) 福祉車両貸出 | 10 |
| (8) 住宅改造費支給 | 11 |

5 施設福祉サービス

| | |
|---------------------------|----|
| (1) 養護老人ホームへの入所措置（更生援護事業） | 11 |
|---------------------------|----|

6 高齢者の学習機会の充実

| | |
|---------------|----|
| (1) 超高齢者作品展示会 | 11 |
|---------------|----|

7 敬老事業の実施

| | |
|------------|----|
| (1) 敬老会実施 | 12 |
| (2) 敬老祝金支給 | 13 |
| (3) 長寿者顕彰 | 14 |

8 老人クラブ活動への支援

| | |
|--------------|----|
| (1) 老人クラブの状況 | 14 |
|--------------|----|

9 認知症対策の推進

| | |
|-----------------------|----|
| (1) 日常生活自立支援事業利用料助成 | 15 |
| (2) 認知症高齢者等成年後見制度利用支援 | 15 |
| (3) 成年後見サポートセンター | 15 |

10 地域福祉活動への支援

| | |
|---------------------------|----|
| (1) 地域支え合い事業 | 16 |
| 1 1 市有高齢者福祉関連施設の運営 | |
| (1) 老人福祉センターの利用状況 | 16 |
| 1 2 シルバー人材センターへの支援 | |
| (1) 組織 | 17 |
| (2) 受託職種 | 17 |
| (3) 会員の就業状況 | 17 |
| (4) 公共、民間、個人別事業実績 | 18 |
| (5) 職種別事業実績 | 18 |
| (6) 月別事業実績 | 18 |

1 渋川市の高齢者の状況

(1) 高齢化の進行

昭和22年に男性50.1歳、女性54.0歳であった我が国の平均寿命は、平成30年には男性81.25歳、女性87.32歳となり、世界の最高水準に達しています。一方、出生数は、戦後ベビーブームの昭和24年に270万人であったものが、平成30年には91万8,400人と減少しています。このような平均寿命の伸長と出生率の低下により、我が国の人口構成は急速に高齢化が進んでいます。

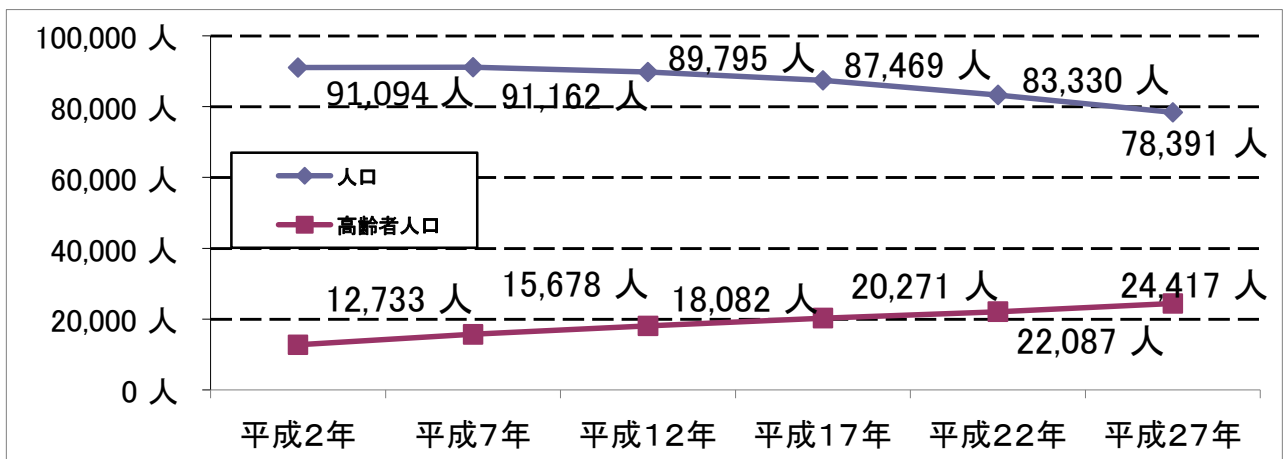
国勢調査による高齢化率の推移を見ると、合併前の6市町村合計で平成2年には14.0%であったものが平成27年には31.1%となり、本市においても急激な人口構成の変化を統計上の数値から読み取ることができます。また、渋川市の高齢化率は、全国平均、群馬県平均を上回る状況にあります。

市町村合併から15年目となる令和2年3月末の本市の65歳以上人口は、26,375人（住民基本台帳）で高齢化率は34.50%となっています。

市では、このような急速な高齢化に対応するため、第7期渋川市高齢者福祉計画（計画期間：平成30年度から令和2年度）に沿って、高齢者の安全・安心対策の推進と高齢者の生きがいつくりや社会参加への支援に努めています。

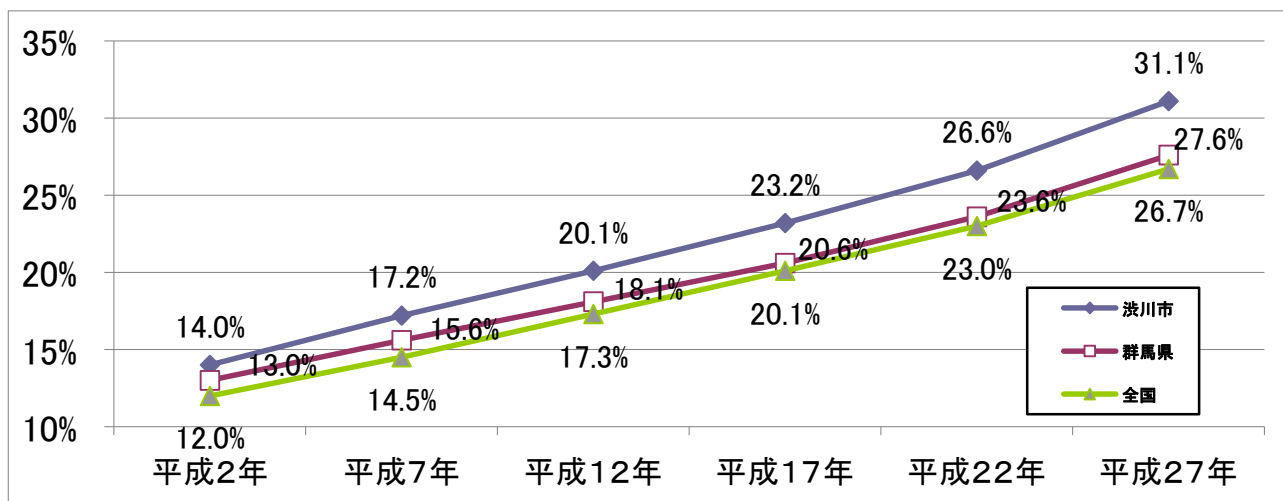
また、介護保険制度の円滑な運営を図るとともに、地域包括ケアシステムの強化推進に努めています。

渋川市の人口及び高齢者人口の推移



資料：国勢調査（合併構成市町村合計数）

渋川市の高齢化率の推移

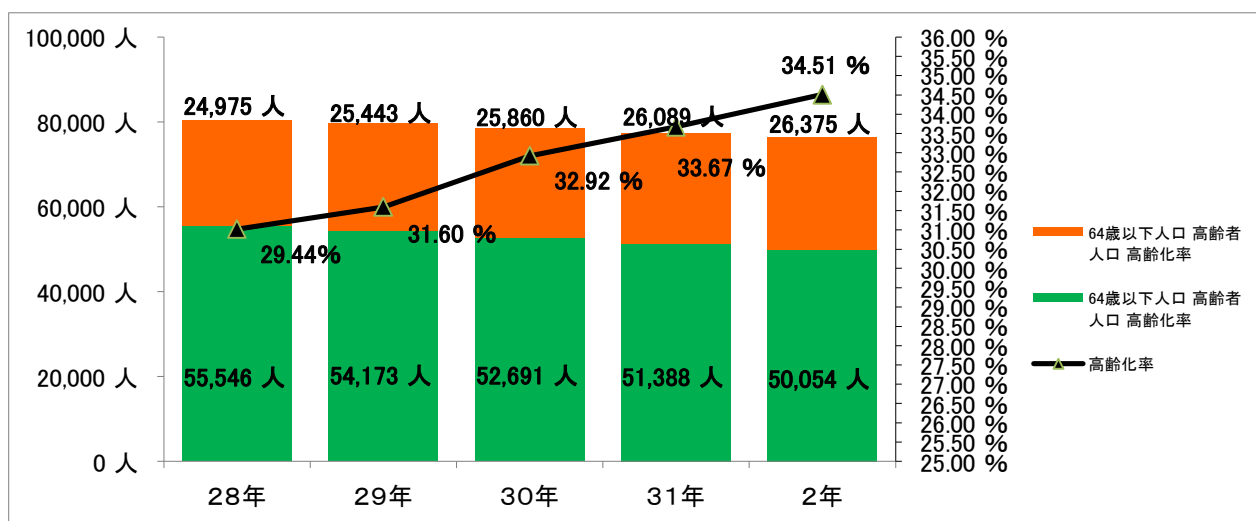


資料：国勢調査（合併構成市町村合計数）

(2) 渋川市の高齢者人口

各年3月末日現在 資料：渋川市住民基本台帳

| | | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 | 令和2年 | |
|--------|------------|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 総人口 | 男 | 39,372人 | 38,946人 | 38,418人 | 37,942人 | 37,446人 | |
| | 女 | 41,149人 | 40,670人 | 40,133人 | 39,535人 | 38,983人 | |
| | 計 a | 80,521人 | 79,616人 | 78,551人 | 77,477人 | 76,429人 | |
| 高齢者人口 | 65歳以上 | 男 | 10,923人 | 11,204人 | 11,421人 | 11,571人 | 11,721人 |
| | | 女 | 14,052人 | 14,239人 | 14,439人 | 14,518人 | 14,654人 |
| | | 計 b b/a | 24,975人 31.02% | 25,443人 31.96% | 25,860人 32.92% | 26,089人 33.67% | 26,375人 34.51% |
| | 70歳以上 | 男 | 7,294人 | 7,447人 | 7,823人 | 8,093人 | 8,344人 |
| | | 女 | 10,421人 | 10,525人 | 10,835人 | 11,079人 | 11,324人 |
| | | 計 c c/a | 17,715人 22.00% | 17,972人 22.57% | 18,658人 23.75% | 19,172人 24.75% | 19,668人 25.73% |
| | 75歳以上 | 男 | 4,877人 | 5,051人 | 5,187人 | 5,321人 | 5,320人 |
| | | 女 | 7,742人 | 7,867人 | 8,038人 | 8,115人 | 8,153人 |
| | | 計 d d/a | 12,619人 15.67% | 12,918人 16.23% | 13,225人 16.84% | 13,436人 17.34% | 13,473人 17.63% |
| | 80歳以上 | 男 | 2,829人 | 2,867人 | 2,988人 | 3,058人 | 3,103人 |
| | | 女 | 5,196人 | 5,279人 | 5,437人 | 8,480人 | 5,482人 |
| | | 計 e e/a | 8,025人 9.97% | 8,146人 10.23% | 8,425人 10.73% | 11,538人 14.89% | 8,585人 11.23% |
| | 85歳以上 | 男 | 1,319人 | 1,363人 | 1,417人 | 1,460人 | 1,447人 |
| | | 女 | 2,972人 | 3,056人 | 3,197人 | 3,216人 | 3,260人 |
| | | 計 f f/a | 4,291人 5.33% | 4,419人 5.55% | 4,614人 5.87% | 4,676人 6.04% | 4,707人 6.16% |
| | 90歳以上 | 男 | 384人 | 422人 | 435人 | 477人 | 497人 |
| | | 女 | 1,287人 | 1,319人 | 1,373人 | 1,376人 | 1,435人 |
| | | 計 g g/a | 1,671人 2.08% | 1,741人 2.19% | 1,808人 2.30% | 1,853人 2.39% | 1,932人 2.53% |
| 95歳以上 | 男 | 67人 | 72人 | 60人 | 67人 | 77人 | |
| | 女 | 349人 | 358人 | 372人 | 387人 | 388人 | |
| | 計 h h/a | 416人 0.52% | 430人 0.54% | 432人 0.55% | 454人 0.59% | 465人 0.61% | |
| 100歳以上 | 男 | 9人 | 10人 | 11人 | 6人 | 6人 | |
| | 女 | 51人 | 46人 | 58人 | 67人 | 59人 | |
| | 計 i i/a | 60人 0.07% | 56人 0.07% | 69人 0.09% | 73人 0.09% | 65人 0.09% | |



(3) 渋川市の65歳以上ひとり暮らし高齢者人口

資料：渋川市ひとり暮らし高齢者基礎調査

※平成29年度以降については70歳以上のひとり暮らし高齢者人口

| | | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
|-------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 65歳以上人口 | | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 |
| 基準日 | | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 | 5月末日 |
| 男 | | 10,970人 | 7,510人 | 7,869人 | 8,117人 | 8,387人 |
| 女 | | 14,088人 | 10,584人 | 10,873人 | 11,129人 | 11,368人 |
| 計 a | | 25,058人 | 18,094人 | 18,742人 | 19,246人 | 19,755人 |
| 65歳以上のひとり暮らし高齢者人口 | 基準日 | | 6月1日 | 6月1日 | 6月1日 | 6月1日 |
| | 男 | | 102人 | 74人 | 70人 | 82人 |
| | 女 | | 228人 | 221人 | 221人 | 223人 |
| | 計 b | | 330人 | 295人 | 291人 | 305人 |
| | b/a | | 1.32% | 1.63% | 1.55% | 1.58% |
| | 男 | | 100人 | 75人 | 76人 | 74人 |
| | 女 | | 303人 | 266人 | 267人 | 268人 |
| | 計 c | | 403人 | 341人 | 343人 | 342人 |
| | c/a | | 1.61% | 1.88% | 1.83% | 1.78% |
| | 男 | | 95人 | 79人 | 78人 | 76人 |
| | 女 | | 214人 | 182人 | 186人 | 187人 |
| | 計 d | | 309人 | 261人 | 264人 | 263人 |
| | d/a | | 1.23% | 1.44% | 1.41% | 1.37% |
| | 男 | | 92人 | 81人 | 77人 | 78人 |
| | 女 | | 209人 | 194人 | 198人 | 197人 |
| | 計 e | | 301人 | 275人 | 275人 | 275人 |
| | e/a | | 1.20% | 1.52% | 1.47% | 1.43% |
| | 男 | | 78人 | 68人 | 68人 | 58人 |
| | 女 | | 168人 | 156人 | 156人 | 159人 |
| | 計 f | | 246人 | 224人 | 224人 | 217人 |
| | f/a | | 0.98% | 1.24% | 1.20% | 1.13% |
| | 男 | | 46人 | 37人 | 33人 | 25人 |
| | 女 | | 134人 | 116人 | 123人 | 118人 |
| | 計 g | | 180人 | 153人 | 156人 | 143人 |
| | g/a | | 0.72% | 0.85% | 0.83% | 0.74% |
| | 男 | | 13人 | 11人 | 12人 | 8人 |
| 女 | | 35人 | 35人 | 33人 | 30人 | |
| 計 h | | 48人 | 46人 | 45人 | 38人 | |
| h/a | | 0.19% | 0.25% | 0.24% | 0.20% | |
| 男 | | 94人 | 92人 | 91人 | 100人 | |
| 女 | | 189人 | 177人 | 187人 | 191人 | |
| 計 i | | 283人 | 269人 | 278人 | 291人 | |
| i/a | | 1.13% | 1.49% | 1.48% | 1.51% | |
| 男 | | 139人 | 115人 | 105人 | 110人 | |
| 女 | | 234人 | 212人 | 218人 | 220人 | |
| 計 j | | 373人 | 327人 | 323人 | 330人 | |
| j/a | | 1.49% | 1.81% | 1.72% | 1.71% | |
| 男 | | 72人 | 53人 | 55人 | 57人 | |
| 女 | | 141人 | 130人 | 145人 | 151人 | |
| 計 k | | 213人 | 183人 | 200人 | 208人 | |
| k/a | | 0.85% | 1.01% | 1.07% | 1.08% | |
| 男 | | 831人 | 685人 | 665人 | 668人 | |
| 女 | | 1,855人 | 1,689人 | 1,734人 | 1,744人 | |
| 計 m | | 2,686人 | 2,374人 | 2,399人 | 2,412人 | |
| m/a | | 10.72% | 13.12% | 12.80% | 12.53% | |

新型コロナウイルス
拡大防止のため
調査中止

2 地域生活への支援

(1) 日常生活用具給付等サービス（貸与） ※平成25年度から新規受付廃止

| | | | | | |
|----------------|------------------------------|------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の日常生活の便宜及び福祉の増進 | | | | |
| 実施内容 | 高齢者用電話の貸与 | | | | |
| 対象者 | 前年分所得税が非課税である65歳以上のひとり暮らし高齢者 | | | | |
| 実施回数 | 1世帯1台 | | | | |
| 利用者負担 | 通話料、電気代及び過失による修理代 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数(実数:年度末現在) | 14人 | 12人 | 12人 | 9人 | 6人 |
| 新規利用者数(実数) | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |

(2) 生活援助食事サービス ※平成28年度より週3回まで実施回数を変更

| | | | | | |
|----------------|-----------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 目的 | 在宅高齢者の健康維持、疾病予防、安否確認及び孤立感解消 | | | | |
| 実施内容 | 栄養のバランスがとれた食事を配食 | | | | |
| 対象者 | 疾病等により調理ができない65歳以上の高齢者世帯 | | | | |
| 実施回数 | 利用者一人につき1日1食(昼食)を週3回 | | | | |
| 利用者負担 | 1食あたり300円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 登録者数(実数:年度末現在) | 132人 | 222人 | 340人 | 375人 | 420人 |
| 新規申請者数(実数) | 33人 | 116人 | 139人 | 93人 | 90人 |
| 利用者数(実数) | 85人 | 173人 | 245人 | 249人 | 248人 |
| 配食数(延べ) | 3,039食 | 10,133食 | 17,380食 | 19,317食 | 18,017食 |

(3) 生活支援ホームヘルプサービス ※平成30年度をもって事業廃止

| | | | | | |
|----------------|--|-----------|-----------|---------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の自立生活の支援及び介護予防 | | | | |
| 実施内容 | 調理、買物、掃除及び洗濯等の家事 | | | | |
| 対象者 | 日常の家事を行うことが困難で、介護保険の適用を受けない65歳以上の高齢者 | | | | |
| 実施回数 | 利用者一人につき週2回(1回の利用時間は、1時間、1時間30分、2時間のいずれか)を限度 | | | | |
| 利用者負担 | 1時間:200円、1時間30分:250円、2時間:300円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 登録者数(実数:年度末現在) | 30人 | 23人 | 20人 | 11人 | — |
| 3月の利用者数(実数) | 30人 | 23人 | 20人 | 11人 | — |
| 派遣時間(延べ) | 2,475.0時間 | 2,033.0時間 | 1,638.0時間 | 612.0時間 | — |
| 利用回数(延べ) | 1,912回 | 1,589回 | 1,320回 | 510回 | — |

(4) 住民主体型生活支援サービス ※平成30年度10月より生活支援ホームヘルプサービスが当事業に移行

| | | | | | |
|-------------|--------------------------------------|------|------|------|------|
| 目的 | 在宅高齢者の自立生活の支援及び介護予防 | | | | |
| 実施内容 | 調理、買物、掃除及び洗濯等の家事 | | | | |
| 対象者 | 要支援認定者又は渋川市アセスメントシートにより事業対象者の認定を受けた者 | | | | |
| 実施回数 | 利用者一人につき週2回(1回の利用時間は1時間以内)を限度 | | | | |
| 利用者負担 | 1回あたり300円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 3月の利用者数(実数) | — | 2人 | 2人 | 8人 | 7人 |
| 利用回数(延べ) | — | 23回 | 42回 | 240回 | 415回 |

(5) いきいきデイサービス ※平成30年度をもって事業廃止

| | | | | | |
|----------------|---|------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の社会的孤立感の解消及び自立生活の助長 | | | | |
| 実施内容 | 身体機能訓練、レクリエーション、入浴等 | | | | |
| 対象者 | 家に閉じこもりがちで、介護保険の適用を受けない65歳以上の高齢者 | | | | |
| 実施場所 | 渋川老人福祉センター(水・木・金) | | | | |
| 実施回数 | 利用者一人につき週1回(午前10時から午後4時まで。実施場所の休館日は除く。) | | | | |
| 利用者負担 | 1回の利用につき基本額200円(半日の利用のときは100円)+送迎費50円+給食費250円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 登録者数(実数:年度末現在) | 8人 | 10人 | 8人 | 5人 | — |
| 3月の利用者数(実数) | 8人 | 10人 | 8人 | 5人 | — |
| 実施回数(延べ) | 318回 | 426回 | 380回 | 253回 | — |

(6) 公衆浴場無料入浴サービス ※福寿湯廃業のため平成28年12月28日より事業廃止

| | | | | | |
|-----------|----------------------------------|------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の保健衛生及び健康増進 | | | | |
| 実施内容 | 公衆浴場(銭湯)で無料入浴 | | | | |
| 対象者 | 自宅に入浴設備のない65歳以上の高齢者 | | | | |
| 利用券 | 利用者一人につき年間60枚を限度とし、申請月により交付枚数が変動 | | | | |
| 利用者負担 | 1回の利用につき無料 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 申請者数(実数) | 14人 | — | — | — | — |
| 利用枚数(延べ) | 526枚 | — | — | — | — |

(7) マッサージ等サービス ※利用者がいないため、平成29年度をもって事業廃止

| | | | | | |
|-----------|--|------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の健康増進及び身体障害者の生業安定 | | | | |
| 実施内容 | マッサージ等(マッサージ、指圧、あり、灸)を実施 | | | | |
| 対象者 | 70歳以上の高齢者 | | | | |
| 利用券 | 利用者一人につき年間4枚 | | | | |
| 利用者負担 | 1回の利用につきマッサージ等サービスに要した費用から1,000円を控除した額 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 申請者数(実数) | 10人 | 7人 | 0人 | - | - |
| 利用者数(実数) | 6人 | 3人 | 0人 | - | - |
| 利用回数(延べ) | 23回 | 3回 | 0回 | - | - |

(8) 短期入所生活支援

| | | | | | |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅のひとり暮らし高齢者等に対する基本的な生活習慣の確立の支援 | | | | |
| 実施内容 | 短期間・緊急避難的に養護老人ホーム等に宿泊 | | | | |
| 対象者 | 65歳以上のひとり暮らし高齢者等で社会適応が困難な者や虐待を受けている者 | | | | |
| 利用者負担 | 1日あたり490円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数(実数) | 11人 | 7人 | 3人 | 3人 | 1人 |
| 利用日数(延べ) | 342日 | 466日 | 81日 | 166日 | 29日 |

3 緊急時の対応

(1) 救急医療情報キット給付サービス

| | | | | | |
|-----------|---|--------|--------|--------|--------|
| 目的 | 在宅高齢者の居宅における急病などの突発的な事態に対応するための安心対策 | | | | |
| 実施内容 | ■緊急時に適切な対応に備え、医療情報、緊急連絡先等を記載するキットの給付を行う。 | | | | |
| 対象者 | 次のいずれかに該当する者 ア 65歳以上の者のみの世帯に属する者(18歳未満の健常者が同居する場合も含む) イ 日中又は夜間において①と同じ状況となる世帯に属する者 ウ 障害者(身体・知的・精神)又は難病患者 エ 認知症等により意志疎通が困難な者 | | | | |
| 利用者負担 | 無料 | | | | |
| 保管場所 | 冷蔵庫内に保管 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 新規給付数 | 359人 | 369人 | 278人 | 353人 | 296人 |
| 延べ給付数 | 1,523人 | 1,892人 | 2,170人 | 2,523人 | 2,819人 |

(2) 緊急通報システムサービス

| | | | | | | |
|----------------|---|-------------------------------------|------|------|------|------|
| 目的 | 在宅高齢者の居宅における急病などの突発的な事態に対応するための安心対策 | | | | | |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■利用者からの緊急通報を24時間365日体制で受信する。 ■必要に応じて、緊急要員による現場の確認を行う。 ■必要に応じて、消防本部に通報し、救急車の出動要請を行う。 ■指定された緊急連絡先及び市長に連絡する。 ■利用者の安否を定期的に確認する。 | | | | | |
| 対象者 | タイプⅠ | 日常生活に継続して注意を要する状態にある65歳以上のひとり暮らし高齢者 | | | | |
| | タイプⅡ | 75歳以上のひとり暮らし高齢者 | | | | |
| 利用者負担 | 通話料、電気代及び過失による修理(弁償)代 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数(実数:年度末現在) | | 633人 | 616人 | 603人 | 573人 | 554人 |
| 新規利用者数(実数) | | 50人 | 64人 | 69人 | 61人 | 74人 |
| 廃止者数(実数) | | 83人 | 81人 | 82人 | 91人 | 93人 |
| 正報件数(延べ) | | 44件 | 48件 | 57件 | 48件 | 34件 |

(3) シルバーカード発行 ※平成30年8月をもって事業廃止

| | | | | | | |
|--------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 目的 | 高齢者割引のある公共施設の円滑な利用 | | | | | |
| 実施内容 | シルバーカードの発行 | | | | | |
| 対象者 | 65歳以上の高齢者 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 申請者数 | | 1,107人 | 1,553人 | 1,476人 | 276人 | - |
| 発行者数(累計) | | 13,372人 | 14,925人 | 16,401人 | 16,677人 | - |
| 65歳以上人口(資料:住民基本台帳) | | 24,975人 | 25,443人 | 25,862人 | 26,089人 | - |
| 普及率 | | 53.5% | 58.7% | 63.4% | 63.9% | - |

4 在宅介護への支援

(1) 理美容サービス

| | | | | | | |
|------------|---|-------------|-------------|-------------|------------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の衛生的で快適な生活の維持 | | | | | |
| 実施内容 | ■理容サービス 散髪、洗髪及びひげ剃り ■美容サービス カット、ブロー及びシャンプー | | | | | |
| 対象者 | 65歳以上のねたきり高齢者若しくは認知症高齢者又は重度身体障害者(児) | | | | | |
| 利用券 | 利用者一人につき年間4枚を限度とし、申請月により交付枚数が変動 | | | | | |
| 利用者負担 | 1回の利用につき理美容サービスに要した費用から3,000円を控除した額 | | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | |
| 申請者数(実数) | 73人 | 67人 | 59人 | 57人 | 46人 | |
| 利用者数(実数) | 54人 | 48人 | 48人 | 40人 | 31人 | |
| 利用回数 内訳 | 1回利用 | 9人 | 6人 | 7人 | 8人 | 6人 |
| | 2回利用 | 13人 | 8人 | 6人 | 11人 | 7人 |
| | 3回利用 | 7人 | 7人 | 12人 | 6人 | 6人 |
| | 4回利用 | 25人 | 27人 | 23人 | 15人 | 12人 |
| 利用回数(延べ) | 156回 | 151回 | 147回 | 108回 | 86回 | |

(2) 貸しおむつサービス ※紙おむつ給付事業充実のため平成29年度をもって事業廃止

| | | | | | |
|----------------|--------------------------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 目的 | 在宅高齢者の家庭における療養生活の快適化と介護者や家族の身体的苦勞の軽減 | | | | |
| 実施内容 | 清潔な布おむつを貸し、使用済みの布おむつを回収 | | | | |
| 対象者 | 65歳以上のねたきり高齢者若しくは認知症高齢者又は重度身体障害者(児) | | | | |
| 実施回数 | 週2回まで(利用者と委託事業者で調整) | | | | |
| 利用者負担 | 無料 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 登録者数(実数:年度末現在) | 113人 | 118人 | 85人 | - | - |
| 新規申請者数(実数) | 26人 | 22人 | 10人 | - | - |
| 利用者数(実数) | 50人 | 54人 | 41人 | - | - |
| 利用枚数(延べ) | 73,380枚 | 71,080枚 | 61,030枚 | - | - |

(3) 布団丸洗いサービス

| | | | | | | |
|----------------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|
| 目的 | 在宅高齢者の家庭における療養生活の快適化と介護者や家族の身体的苦勞の軽減 | | | | | |
| 実施内容 | 利用者が用いる布団(掛布団、敷布団、かいまき、毛布)を丸洗い | | | | | |
| 対象者 | 65歳以上のねたきり高齢者若しくは認知症高齢者又は重度身体障害者(児) | | | | | |
| 実施回数 | 年間3回(6月、10月、2月) | | | | | |
| 利用者負担 | 無料(1回の実施につき布団2枚まで) | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 登録者数(実数:年度初現在) | | 72人 | 57人 | 56人 | 54人 | 43人 |
| 新規申請者数(実数) | | 17人 | 5人 | 8人 | 9人 | 5人 |
| 利用者数(実数) | | 51人 | 41人 | 36人 | 34人 | 26人 |
| 利用回数 内訳 | 1回利用 | 15人 | 7人 | 6人 | 8人 | 4人 |
| | 2回利用 | 6人 | 8人 | 9人 | 8人 | 7人 |
| | 3回利用 | 30人 | 26人 | 21人 | 18人 | 15人 |
| 利用枚数(延べ) | | 236枚 | 205枚 | 176枚 | 148枚 | 121枚 |

(4) 紙おむつ給付 ※平成30年度より実施形態及び支給額変更

| | | | | | | |
|---|---|------|------|------|------|------|
| 目的 | 在宅高齢者の家庭における療養生活の快適化と介護者や家族の身体的苦勞の軽減 | | | | | |
| 実施内容 | 紙おむつの配達 | | | | | |
| 対象者 | 日常的に紙おむつを必要としている要介護3以上と認定された者又は重度身体障害者(児)若しくは療育手帳の交付を受けている18歳未満の者 | | | | | |
| 実施回数 | 年3回 | | | | | |
| 利用者負担 | 無料(1回につき5,000円まで) | | | | | |
| 種類・数量 | 委託事業者のカタログから選択 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数 ※27年度まで年2回給付。 28年度から年1回給付。 30年度から年3回給付。 | 1回目 | 617人 | 479人 | 514人 | 405人 | 350人 |
| | 2回目 | 594人 | | | 389人 | 349人 |
| | 3回目 | | | | 363人 | 336人 |

(5) 在宅介護慰労金支給 ※平成28年度より対象要件及び支給金額変更

| | | | | | | |
|------|----------------------|---|------|------|------|------|
| 目的 | 介護者の労をねぎらい、経済的な負担の軽減 | | | | | |
| 実施内容 | 在宅介護慰労金の支給 | | | | | |
| 対象者 | ① | ①市内に居住し住所を有すること。 ②要介護3、4又は5に相当する状態が1年(前年8月1日から当年7月31日)以上継続していること。 ③介護サービスを利用していないこと(短期入所7日程度を除く) | | | | |
| | ② | ①市内に居住し住所を有すること。 ②要介護4又は5に相当する状態が1年(前年8月1日から当年7月31日)以上継続していること。 ③施設への入所又は入居、病院への入院等により在宅生活を離れた期間が100日を超えない者 | | | | |
| 支給額 | ① | 被介護者一人につき年額10万円 | | | | |
| | ② | 被介護者一人につき年額6万円 | | | | |
| 支給月 | 1月前後 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 支給者数 | | 109人 | 94人 | 104人 | 107人 | 104人 |

(6) 介護者用車両購入費支給

| | | | | | | |
|------|-------------------------|-----------------------------------|-----------|------|------|-----|
| 目的 | 在宅高齢者の生活の質の向上及び家族の負担の軽減 | | | | | |
| 実施内容 | 介護者用車両の購入に要する費用の一部を支給 | | | | | |
| 対象者 | タイプⅠ | 日常的に車いすを使用している65歳以上の高齢者 | | | | |
| | タイプⅡ | 下肢若しくは体幹の障害又は下肢及び体幹の重複障害で1級又は2級の者 | | | | |
| 支給額 | 新車購入 | 福祉車両 | 定額10万円 | | | |
| | | その他 | 定額2万円 | | | |
| | 中古車購入 | 初度登録年月から36か月以内 | 定額6万円 | | | |
| | | 初度登録年月から37か月以上 | 定額3万円 | | | |
| | 現保有車改造 | 改造費15万円以上 | 定額10万円 | | | |
| | | 改造費15万円未満 | 改造費の2/3支給 | | | |
| 支給回数 | 1世帯につき1回 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数 | | 3人 | 6人 | 7人 | 3人 | 9人 |

(7) 福祉車両貸出(運営は社会福祉協議会に委託)

| | | | | | | |
|----------|-------------------------------|------|------|------|------|------|
| 目的 | 在宅高齢者等の外出支援 | | | | | |
| 実施内容 | 車いす仕様等の福祉車両の貸出 | | | | | |
| 対象者 | 高齢又は障害のため歩行が困難な者 | | | | | |
| 実施回数 | 利用者一人につき同月内2回まで(1回の利用につき3日以内) | | | | | |
| 利用者負担 | 燃料費、有料道路代及び過失による修理代 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数(延べ) | | 39人 | 37人 | 52人 | 48人 | 41人 |
| 利用回数(延べ) | | 165回 | 204回 | 198回 | 165回 | 136回 |

(8) 住宅改造費支給 ※平成28年度より支給限度額変更

| | | | | | |
|----------------|---|------|------|------|------------------|
| 目的 | 在宅高齢者の安全で安心した日常生活の維持 | | | | |
| 実施内容 | 自宅の住宅改造に要する費用の一部を支給 | | | | |
| 対象者 | 世帯全員が65歳以上で、世帯全員の前年分所得税が非課税であること | | | | |
| 支給額 | 住宅改造費(支給対象となる改造種類の費用)の6分の5に相当する額(千円未満切捨て) | | | | |
| 支給限度額 | 20万円 | | | | |
| 支給回数 | 1世帯につき1回 | | | | |
| 支給対象となる住宅改造の種類 | ■手すりの取付け | | | | ■和式便器の洋式便器への取替え |
| | ■段差の解消 | | | | ■引き戸等への扉の取替え |
| | ■滑り防止・移動円滑化等のための材料変更 | | | | ■前記バリアフリー工事の付帯工事 |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年 |
| 利用者数 | 9人 | 10人 | 5人 | 10人 | 2人 |

5 施設福祉サービス

(1) 養護老人ホームへの入所措置(更生援護事業)

| | | | | | | |
|-------------|-------------------------------------|------|------|------|-----|-----|
| 目的 | 居宅での生活が困難な高齢者が自立した日常生活を送れるようにする | | | | | |
| 実施内容 | 養護老人ホームへの入所措置 | | | | | |
| 対象者 | 環境上の理由及び経済的理由により居宅での生活が困難な65歳以上の高齢者 | | | | | |
| 利用者負担 | 渋川市老人福祉法施行規則別表第1及び別表第2「費用徴収基準」による | | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | |
| 措置人数(年度末現在) | 43人 | 42人 | 41人 | 37人 | 32人 | |
| 内訳 | 吾妻養護老人ホーム | 6人 | 6人 | 5人 | 4人 | 4人 |
| | 前橋老人ホーム | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 春日園 | 23人 | 24人 | 23人 | 23人 | 20人 |
| | 明光園 | 4人 | 3人 | 4人 | 3人 | 2人 |
| | 東光園 | 3人 | 3人 | 3人 | 2人 | 2人 |
| | 鎚泉苑 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 | 0人 |
| | 藤野園 | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 恵泉園 | 3人 | 3人 | 3人 | 3人 | 3人 |
| | 猿ヶ京老人ホーム | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 愛宕老人ホーム | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | 1人 | |

6 高齢者の学習機会の充実

(1) 超高齢者作品展覧会 ※平成29年度をもって事業廃止

| | | | | | |
|-----------|------------------------------------|------|------|------|-----|
| 目的 | 作品制作・発表を通じた社会交流や高齢者の経験・力量を広く知ってもらう | | | | |
| 実施内容 | 作品展覧会の実施 | | | | |
| 対象者 | 90歳以上の高齢者 | | | | |
| 実施回数 | 年1回(10月頃) | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 支給者数 | 38人 | 35人 | 39人 | - | - |
| 作品数(延べ) | 123点 | 148点 | 125点 | - | - |

7 敬老事業の実施

(1) 敬老会実施（運営は社会福祉協議会に委託）

| | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 目的 | 永年にわたる地域への貢献者に対し敬意を表する | | | | | |
| 実施内容 | 会食等 | | | | | |
| 対象者 | 75歳以上の高齢者（地区によっては異なります） | | | | | |
| 実施回数 | 地区・地域ごとに年1回 | | | | | |
| 利用者負担 | 無料 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 対象者数(実数) (資料:住民基本台帳) | | 16,681人 | 16,549人 | 15,089人 | 14,471人 | 14,220人 |
| 参加者数(実数) | | 4,086人 | 4,090人 | 3,840人 | 3,556人 | 3,019人 |
| 参加率 | | 24.5% | 24.7% | 25.4% | 24.6% | 21.2% |
| 東部地区 | 対象者数 | 1,385人 | 1,385人 | 1,335人 | 1,284人 | 1,270人 |
| | 参加者数 | 668人 | 668人 | 660人 | 609人 | 576人 |
| | 参加率 | 48.2% | 48.2% | 49.4% | 47.4% | 45.4% |
| 西部地区 | 対象者数 | 2,006人 | 1,884人 | 1,808人 | 1,705人 | 1,692人 |
| | 参加者数 | 587人 | 729人 | 676人 | 613人 | 607人 |
| | 参加率 | 29.3% | 38.7% | 37.4% | 36.0% | 35.9% |
| 金島地区 | 対象者数 | 1,869人 | 2,003人 | 1,685人 | 1,593人 | 1,611人 |
| | 参加者数 | 305人 | 301人 | 288人 | 267人 | 258人 |
| | 参加率 | 16.3% | 15.0% | 17.1% | 16.8% | 16.0% |
| 古巻地区 | 対象者数 | 1,910人 | 1,801人 | 1,730人 | 1,646人 | 1,617人 |
| | 参加者数 | 329人 | 317人 | 306人 | 283人 | 281人 |
| | 参加率 | 17.2% | 17.6% | 17.7% | 17.2% | 17.4% |
| 豊秋地区 | 対象者数 | 1,478人 | 1,566人 | 1,324人 | 1,183人 | 1,210人 |
| | 参加者数 | 217人 | 223人 | 206人 | 244人 | 270人 |
| | 参加率 | 14.7% | 14.2% | 15.6% | 20.6% | 22.3% |
| 伊香保地区 | 対象者数 | 786人 | 738人 | 696人 | 656人 | 659人 |
| | 参加者数 | 197人 | 191人 | 174人 | 162人 | 161人 |
| | 参加率 | 25.1% | 25.9% | 25.0% | 24.7% | 24.4% |
| 小野上地区 | 対象者数 | 423人 | 385人 | 372人 | 347人 | 334人 |
| | 参加者数 | 95人 | 91人 | 67人 | 63人 | 58人 |
| | 参加率 | 22.5% | 23.6% | 18.0% | 18.2% | 17.4% |
| 子持地区 | 対象者数 | 2,457人 | 2,470人 | 2,238人 | 2,113人 | 2,111人 |
| | 参加者数 | 600人 | 570人 | 539人 | 491人 | 0人 |
| | 参加率 | 24.4% | 23.1% | 24.1% | 23.2% | 0.0% |
| 赤城地区 | 対象者数 | 2,510人 | 2,460人 | 2,236人 | 2,181人 | 2,043人 |
| | 参加者数 | 517人 | 440人 | 431人 | 348人 | 353人 |
| | 参加率 | 20.6% | 17.9% | 19.3% | 16.0% | 17.3% |
| 北橘地区 | 対象者数 | 1,857人 | 1,857人 | 1,665人 | 1,763人 | 1,673人 |
| | 参加者数 | 571人 | 560人 | 493人 | 476人 | 455人 |
| | 参加率 | 30.7% | 30.2% | 29.6% | 27.0% | 27.2% |

(2) 敬老祝金支給

| | | | | | | | |
|--------------|---|------------------|--------------|----------|----------|---------|-----|
| 目的 | 長寿を祝し、敬意を表する | | | | | | |
| 実施内容 | 敬老祝金の支給 | | | | | | |
| 対象者 | 4月1日から翌年の3月31日までに88歳、99歳又は101歳以上の者のうち9月1日現在生存している者 ※平成24年から支給対象者及び支給額を変更 | | | | | | |
| 支給額 | 1 | 80歳、85歳、88歳に達する者 | 5,000円 | 平成24年度から | | | |
| | 2 | 90歳に達する者 | 10,000円 | 1 | 88歳に達する者 | 10,000円 | |
| | | 95歳に達する者 | 10,000円及び慶祝状 | 2 | 99歳に達する者 | 20,000円 | |
| | 3 | 99歳以上の者 | 20,000円及び慶祝状 | 3 | 101歳以上の者 | 20,000円 | |
| 支給月 | 9月 | | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | |
| 受給者数 (実数) | 1 | 468人 | 519人 | 521人 | 557人 | 545人 | |
| | 2 | 38人 | 47人 | 42人 | 40人 | 43人 | |
| | 3 | 44人 | 54人 | 50人 | 60人 | 67人 | |
| | 合計 | 550人 | 620人 | 613人 | 657人 | 655人 | |
| 内 訳 | 東部地区 | 1 | 40人 | 51人 | 54人 | 65人 | 55人 |
| | | 2 | 2人 | 4人 | 2人 | 4人 | 人 |
| | | 3 | 7人 | 9人 | 6人 | 5人 | 7人 |
| | 西部地区 | 1 | 47人 | 59人 | 61人 | 51人 | 49人 |
| | | 2 | 3人 | 5人 | 6人 | 3人 | 7人 |
| | | 3 | 6人 | 10人 | 8人 | 9人 | 9人 |
| | 金島地区 | 1 | 50人 | 68人 | 45人 | 59人 | 64人 |
| | | 2 | 4人 | 5人 | 3人 | 9人 | 8人 |
| | | 3 | 3人 | 4人 | 4人 | 8人 | 7人 |
| | 古巻地区 | 1 | 56人 | 59人 | 74人 | 83人 | 68人 |
| | | 2 | 7人 | 6人 | 3人 | 5人 | 9人 |
| | | 3 | 2人 | 3人 | 1人 | 7人 | 6人 |
| | 豊秋地区 | 1 | 32人 | 38人 | 40人 | 36人 | 49人 |
| | | 2 | 5人 | 6人 | 1人 | 1人 | 4人 |
| | | 3 | 3人 | 3人 | 6人 | 6人 | 5人 |
| | 伊香保地区 | 1 | 16人 | 18人 | 17人 | 19人 | 22人 |
| | | 2 | 1人 | 人 | 3人 | 1人 | 1人 |
| | | 3 | 人 | 1人 | 人 | 人 | 3人 |
| | 小野上地区 | 1 | 25人 | 11人 | 12人 | 16人 | 18人 |
| | | 2 | 人 | 人 | 3人 | 1人 | 人 |
| | | 3 | 2人 | 1人 | 1人 | 1人 | 2人 |
| | 子持地区 | 1 | 58人 | 71人 | 70人 | 83人 | 76人 |
| | | 2 | 7人 | 8人 | 8人 | 7人 | 4人 |
| | | 3 | 7人 | 5人 | 10人 | 10人 | 8人 |
| | 赤城地区 | 1 | 93人 | 88人 | 86人 | 82人 | 83人 |
| | | 2 | 6人 | 9人 | 7人 | 5人 | 3人 |
| | | 3 | 7人 | 9人 | 8人 | 12人 | 13人 |
| | 北橘地区 | 1 | 51人 | 56人 | 62人 | 68人 | 61人 |
| | | 2 | 3人 | 4人 | 6人 | 4人 | 7人 |
| | | 3 | 7人 | 9人 | 6人 | 4人 | 7人 |

(3) 長寿者顕彰

| | | | | | |
|-----------|-------------------|------|------|------|-------|
| 目的 | 長寿を祝し、敬老思想の高揚 | | | | |
| 実施内容 | 顕彰状及び記念品を贈呈 | | | | |
| 対象者 | 100歳に到達する者 | | | | |
| 記念品 | 祝金5万円及び額縁 | | | | |
| 贈呈日 | 100歳の誕生日前後14日以内の日 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
| 該当者数 | 27人 | 22人 | 35人 | 31人 | 21人 |

8 老人クラブ活動への支援

(1) 老人クラブの状況

| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|-----------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| クラブ数(年度初現在) | | 125クラブ | 123クラブ | 114クラブ | 111クラブ | 110クラブ |
| 会員数(年度初現在) | | 8,366人 | 7,898人 | 7,308人 | 6,986人 | 6,724人 |
| 60歳以上人口(前年度末現在) | | 31,254人 | 31,497人 | 31,584人 | 31,648人 | 31,713人 |
| クラブ加入率 | | 26.76% | 25.07% | 23.16% | 22.07% | 21.20% |
| ゲートボール大会 | 参加チーム数 | | | | | |
| | 参加者数 | | | | | |
| 囲碁・将棋大会 | 参加者数 | 囲碁24人 | 囲碁22人 | 囲碁22人 | 囲碁22人 | 囲碁22人 |
| | | 将棋16人 | 将棋15人 | 将棋14人 | 将棋17人 | 将棋14人 |
| グラウンド・ゴルフ大会 | 参加者数 | 138人 | 140人 | 140人 | 144人 | 143人 |
| 輪投げ大会 | 参加チーム数 | 29チーム | 29チーム | 29チーム | 30チーム | 30チーム |
| | 参加者数 | 172人 | 189人 | 208人 | 204人 | 204人 |
| 女性部の集い | 参加団体数 | 30団体 | 30団体 | 29団体 | 26団体 | 28団体 |
| | 参加者数 | 287人 | 302人 | 309人 | 277人 | 285人 |
| 作品展示会 | 出品数 | 127点 | 101点 | 144点 | 136点 | 136点 |
| | 出品者数 | 90人 | 85人 | 122人 | 120人 | 117人 |

9 認知症対策の推進

(1) 日常生活自立支援事業利用料助成（社会福祉協議会の自主事業への補助）

| | | | | | |
|-----------|---|---------|---------|---------|---------|
| 目的 | 社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業（日常的金銭管理、在宅福祉サービスの利用手続き代行、書類預かり）を適切に利用できるよう支援 | | | | |
| 実施内容 | 日常生活自立支援事業利用料（自己負担）の助成 | | | | |
| 対象者 | 低所得者（生活保護受給者や市県民税非課税世帯の者） | | | | |
| 助成額 | 1時間250円 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 利用者数 | 58人 | 49人 | 47人 | 46人 | 48人 |
| 利用時間（延べ） | 432.5時間 | 399.5時間 | 412.5時間 | 463.5時間 | 464.0時間 |

(2) 認知症高齢者等成年後見制度利用支援

| | | | | | | |
|-----------|--|------|------|------|-----|----|
| 目的 | 認知症高齢者等に対し自己決定の尊重と保護の調和が図り権利が守られるよう支援 | | | | | |
| 実施内容 | 民法に規定する成年後見制度（後見、保佐、補助）開始の審判を市長が申立人となり家庭裁判所に請求 | | | | | |
| 対象者 | 精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く常況にある者で親族からの支援が困難な者 | | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | |
| 利用件数 | 市長申立 | 4件 | 3件 | 5件 | 5件 | 3件 |
| | 市長申立以外 | | | | | |

(3) 成年後見サポートセンター ※令和元年度9月1日から設置

| | | | | | |
|-----------|--|------|------|------|-----|
| 目的 | 成年後見制度の利用促進を図る | | | | |
| 実施内容 | 成年後見制度に関する相談を受け、必要な支援を行う | | | | |
| 対象者 | 認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない者、その親族及び関係機関 | | | | |
| 実績 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 相談件数 | | | | | 42件 |

10 地域福祉活動への支援

(1) 地域支え合い事業 ※平成30年度をもって事業廃止

| 目的 | 在宅の高齢者が豊かに安心して暮らせるまちづくりの推進 | | | | | |
|----------------|--|------------------|------------------|------------------|------------------|-----|
| 実施内容 | 高齢者に対する健康づくり、介護予防、閉じこもり防止又は見守りの活動を行っている自主的活動団体への補助 | | | | | |
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 補助事業の 団体・内容 | 連合婦人会 | 給食慰問 | 給食慰問 | 給食慰問 | 給食慰問 | - |
| | JA赤城たちばな | ミニデイサービス | ミニデイサービス | ミニデイサービス | ミニデイサービス | - |
| | 市老連子持支部 | ふれあい農園 ふれあいの家 | ふれあい農園 ふれあいの家 | ふれあい農園 ふれあいの家 | ふれあい農園 ふれあいの家 | - |
| | 市老連伊香保町支部 | いこいの公園他 清掃活動 | いこいの公園他 清掃活動 | いこいの公園他 清掃活動 | いこいの公園他 清掃活動 | - |
| 実施回数 | 給食慰問 | 6回 | 6回 | 6回 | 6回 | - |
| | ミニデイサービス | 73回 | 67回 | 74回 | 62回 | - |
| | ふれあい農園 ふれあいの家 | 13回 | 17回 | 15回 | 11回 | - |
| | 市老連伊香保町支部 | 6回 | 6回 | 6回 | 5回 | - |
| 利用者数 (延べ) | 給食慰問 | 890人 | 895人 | 965人 | 975人 | - |
| | ミニデイサービス | 767人 | 629人 | 698人 | 547人 | - |
| | ふれあい農園 ふれあいの家 | 156人 | 186人 | 181人 | 163人 | - |
| | いこいの公園他 清掃活動 | 324人 | 325人 | 308人 | 218人 | - |

11 市有高齢者福祉関連施設の運営

(1) 老人福祉センターの利用状況

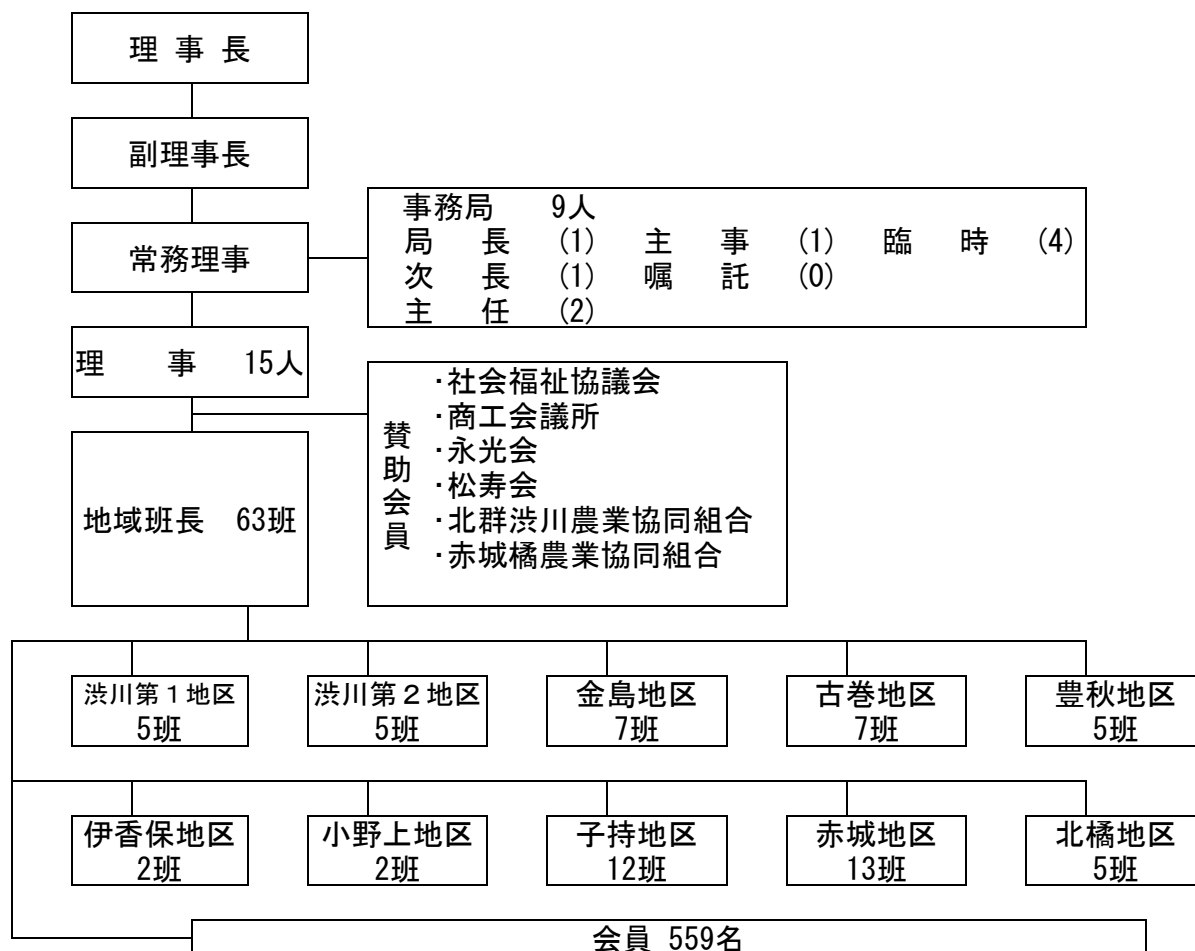
| 実績 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|----------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 利用者数(延べ) | | 69,529人 | 71,250人 | 74,805人 | 73,589人 | 72,776人 |
| 内訳 | 渋川老人福祉センター | 31,310人 | 32,117人 | 34,659人 | 33,391人 | 34,978人 |
| | 小野上地域福祉センター | 14,080人 | 13,402人 | 12,372人 | 11,767人 | 11,442人 |
| | 子持老人福祉センター | 24,139人 | 25,731人 | 27,774人 | 28,431人 | 26,356人 |
| 開館日数(延べ) | | 831日 | 831日 | 830日 | 827日 | 779日 |
| 内訳 | 渋川老人福祉センター | 293日 | 295日 | 295日 | 295日 | 274日 |
| | 小野上地域福祉センター | 243日 | 242日 | 242日 | 239日 | 227日 |
| | 子持老人福祉センター | 295日 | 294日 | 293日 | 293日 | 278日 |

1 2 シルバー人材センターへの支援

公益社団法人 渋川市シルバー人材センター

定年退職後等において、臨時的かつ短期的な就業を通じ、自己の労働能力を活用し、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と、福祉の増進を図る営利を目的としない団体であります。（設立年月日：平成4年1月10日）

(1) 組織 (令和2年4月1日)



事務所所在地：渋川市吹屋384番地

出張所：廃止

(2) 受託職種

専門技術、技能、事務整理、管理監視、折衝外交、一般作業、サービス、その他

(3) 会員の就業状況

(令和2年3月31日)

| 区分 | 男 | 女 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|
| 会員数 | 396人 | 163人 | 559人 |
| 就業人員 | 336人 | 144人 | 480人 |
| 就業率 | 84.8% | 88.3% | 85.9% |

(4) 公共、民間、個人別事業実績

| 区 分 | 受託件数 (件) | 就業延人員 (人) | 契約金額(円) | | | | 構成比 (%) |
|-----|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|
| | | | 配分金 | 事務費 | 材料費 | 合 計 | |
| 公 共 | 1,644 | 26,033 | 100,623,510 | 9,943,991 | 4,656,087 | 115,223,588 | 41.1 |
| 企 業 | 1,164 | 23,175 | 89,737,383 | 8,949,008 | 3,112,696 | 101,799,087 | 36.3 |
| 家 庭 | 3,109 | 9,888 | 44,899,744 | 4,481,843 | 14,160,882 | 63,542,469 | 22.6 |
| 独 自 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 5,917 | 59,096 | 235,260,637 | 23,374,842 | 21,929,665 | 280,565,144 | 100.0 |

(5) 職種別事業実績

| 区 分 | 受託件数 (件) | 就業延人員 (人) | 契約金額(円) | | | | 構成比 (%) |
|-------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|
| | | | 配分金 | 事務費 | 材料費 | 合 計 | |
| 技術 | 5 | 19 | 39,400 | 3,940 | 0 | 43,340 | 0.0 |
| 技能 | 1,676 | 5,796 | 33,745,875 | 3,371,359 | 11,127,590 | 48,244,824 | 17.2 |
| 事務 | 41 | 192 | 623,880 | 62,508 | 75 | 686,463 | 0.2 |
| 管理 | 780 | 21,264 | 97,645,527 | 9,749,258 | 407,374 | 107,802,159 | 38.4 |
| 折衝外交 | 7 | 79 | 402,276 | 40,226 | 1,500 | 444,002 | 0.2 |
| 一般作業 | 3,229 | 30,285 | 100,508,020 | 9,920,646 | 10,105,126 | 120,533,792 | 43.0 |
| サービス | 179 | 1,461 | 2,295,659 | 226,905 | 288,000 | 2,810,564 | 1.0 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 5,917 | 59,096 | 235,260,637 | 23,374,842 | 21,929,665 | 280,565,144 | 100.0 |

(6) 月別事業実績

| | 受託件数 (件) | 就業延人員 (人) | 契約金額(円) | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-------------|
| | | | 配分金 | 事務費 | 材料費 | 合 計 |
| 4月 | 359 | 4,272 | 16,283,476 | 1,616,810 | 1,324,899 | 19,225,185 |
| 5月 | 500 | 5,141 | 20,024,640 | 1,991,823 | 1,508,661 | 23,525,124 |
| 6月 | 581 | 5,167 | 20,679,782 | 2,056,660 | 1,923,430 | 24,659,872 |
| 7月 | 624 | 5,629 | 22,450,440 | 2,229,214 | 2,226,159 | 26,905,813 |
| 8月 | 559 | 5,453 | 21,584,524 | 2,145,008 | 2,102,861 | 25,832,393 |
| 9月 | 626 | 5,443 | 21,878,487 | 2,170,170 | 2,445,682 | 26,494,339 |
| 10月 | 575 | 5,442 | 22,460,907 | 2,232,003 | 2,392,959 | 27,085,869 |
| 11月 | 588 | 5,531 | 22,892,048 | 2,276,345 | 2,424,539 | 27,592,932 |
| 12月 | 474 | 4,794 | 19,632,680 | 1,949,709 | 1,730,257 | 23,312,646 |
| 1月 | 327 | 4,092 | 15,256,600 | 1,515,065 | 1,203,519 | 17,975,184 |
| 2月 | 357 | 4,259 | 16,798,035 | 1,670,376 | 1,341,217 | 19,809,628 |
| 3月 | 347 | 3,873 | 15,319,018 | 1,521,659 | 1,305,482 | 18,146,159 |
| 合 計 | 5,917 | 59,096 | 235,260,637 | 23,374,842 | 21,929,665 | 280,565,144 |

第4章

地域包括支援センター 活動状況

中央地域包括支援センター

令和2年度（令和元年度分）地域包括支援センター活動状況

1 地域包括支援センターの概要

| | |
|----------|---|
| (1) 目的 | 1 |
| (2) 主な業務 | 1 |
| (3) 担当圏域 | 3 |

2 地域包括支援センター事業報告

| | |
|-----------------------------|----|
| (1) 総合相談事業 | 5 |
| (2) 権利擁護事業 | 7 |
| (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 | 9 |
| (4) 介護予防ケアマネジメント事業 | 10 |
| (5) 認知症施策の推進 | 10 |
| (6) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築 | 12 |
| (7) 生活支援の充実・強化（生活支援体制整備） | 14 |
| (8) 地区啓発活動 | 14 |

3 地域包括支援センター事業報告（総括表）

| | |
|------------------|----|
| (1) 総合相談 | 15 |
| (2) ケアマネ支援 | 15 |
| (3) 介護予防ケアマネジメント | 15 |
| (4) 利用者基本情報作成数 | 15 |
| (5) 相談・支援総合計 | 15 |

4 総合相談実績報告

| | |
|------------|----|
| (1) 相談件数 | 16 |
| (2) 相談方法 | 16 |
| (3) 相談者内訳 | 16 |
| (4) 相談内容 | 17 |
| (5) 実態把握訪問 | 17 |

5 地域におけるネットワーク構築業務

6 養護者による高齢者虐待対応状況

| | |
|------------------|----|
| (1) 通報・届出・相談受理件数 | 19 |
| (2) 通報者の内訳 | 19 |
| (3) 事実確認の状況 | 19 |
| (4) 事実確認調査の結果 | 19 |
| (5) 虐待の種別・類型 | 20 |
| (6) 被虐待者の状況 | 20 |
| (7) 虐待への対応策 | 22 |

7 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- (1) 相 談 件 数…………… 23
- (2) 相談支援の状況…………… 23
- (3) 介護支援専門員研修会の状況…………… 24

8 ケアマネジメントの状況

- (1) 要支援認定者に対するケアマネジメントの状況（予防給付）…………… 25

1 地域包括支援センターの概要

(1) 目的

市町村は、介護保険法第115条の46第1項により、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること」を目的に、地域包括支援センターを設置することとされています。

地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートを行う地域の中核機関として設置されています。

なお、こうした役割を地域包括支援センターが果たせるよう、「包括的支援事業の効果的な実施のために、介護サービス事業者、医療機関、民生委員法に定める民生委員児童委員、被保険者の地域における自立した日常生活の支援又は要介護状態等となることの予防若しくは要介護状態等の軽減若しくは悪化防止のための事業を行う者その他関係者との連携に努めなければならない（介護保険法第115条46第7項）」とする努力義務が課されています。

今後、後期高齢者人口の増加が始まる「2025年まで」に、被保険者が要介護状態になることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活ができるよう地域における包括的な相談支援体制と、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に支援する必要があり、地域包括支援センターの機能強化が更に重要になります。

適切な人員体制の確保、センター間の連携強化効果的な運営の継続に向けて点検・評価を行い、地域包括ケアシステムの構築に向けてその中心的役割を果たすため、各種事業を実施します。

(2) 主な業務

ア 総合相談・支援

高齢者やその家族からのさまざまな相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるよう必要な援助を行います。

イ 権利擁護

高齢者の財産管理や重要な各種契約などの支援を行う「成年後見制度」の利用促進や老人福祉施設への措置の支援、高齢者虐待の防止及び対応、困難事例への対応、消

費者被害の防止などの業務を行います。

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者の状態の変化に対応して、適切な保健・医療・福祉サービスが受けられるようケアマネジャーに対し、ケアプランの作成指導や検証及び困難事例への指導・助言などの支援を行うとともに、地域におけるさまざまな社会資源との連携・協力体制の整備などの業務を行います。

エ 介護予防ケアマネジメント事業

介護認定審査会において要支援認定を受けた利用申込者及びチェックリストに該当した事業対象者に対し、心身の状態改善または維持を図るために、介護予防サービス等が適切に利用できるよう、介護予防サービス計画書の作成、サービス調整、定期的なモニタリング及び評価を行います。

オ 地域包括ケアシステムの構築に向けた事業計画

(ア) 地域包括支援センターの機能強化

平成30年度より、市役所本庁舎内に中央地域包括支援センターと7圏域に委託地域包括支援センターを設置しました。

中央地域包括支援センターは、従来の包括的支援業務に加えて、新たな包括的支援業務を重点に取り組む機能を強化した地域包括支援センターとなります。委託地域包括支援センターは、地域の実情に応じ、中央地域包括支援センターや各関係各機関と連携し、地域に根差した活動を実践します。

(イ) 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進します。

(ウ) 生活支援体制整備事業（生活支援の充実・強化）

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援の充実を推進します。

(エ) 認知症施策推進事業

認知症初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断・早期対応や認知症地域支援推進員による相談対応等を行い、認知症の人本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築

を推進します。

(オ) 地域ケア会議の推進

地域包括支援センター等において、多職種協働による個別事例の検討を行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進します。

また、介護予防普及展開事業として、高齢者の自立支援及び生活の質の向上に資するケアマネジメントに特化した多職種協働による「自立支援型地域ケア個別会議」に取り組みます。

(カ) 認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断・早期対応や、地域支援推進員による相談対応等を行い、認知症の人本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を推進します。

(キ) 認知症総合支援事業介護予防・介護者に関する支援

住み慣れた地域で生活機能を維持しながら、いきいきとした社会生活が続けられるよう、心身機能の活動性の維持、社会参加を目的に介護予防教室を実施します。

また、高齢者の介護に関する知識や技術等について学び、家族等の介護に役立てることでよりよい介護につなげていくことや家族の介護に備えることを目的に、家族介護教室を実施します。

(3) 担当圏域

| 地域包括支援センター名 | 担当地域 | 所在地 |
|-------------------------|---|------------------------------|
| 渋川市中央 地域包括支援センター | 渋川(大崎・下郷・東町・新町・下ノ町・南町・長塚町・寄居町・坂下町・辰巳町)、石原(熊野町) | 石原80 (市役所内) |
| 渋川市西部 地域包括支援センター | 渋川(並木町・中ノ町・上ノ町・川原町・裏宿・元町・御蔭・入沢・上郷・藤ノ木・明保野)、金島(金井軽浜) | 渋川(藤ノ木)2659 (北毛介護支援センター内) |
| 渋川市金島・伊香保 地域包括支援センター | 金島(金井軽浜を除く)、伊香保 | 金井2212-1 (特別養護老人ホームかない苑内) |

| | | |
|-------------------------|----------------|----------------------------------|
| 渋川市古巻 地域包括支援センター | 古巻 | 半田785-5 (特別養護老人ホーム永光荘内) |
| 渋川市豊秋 地域包括支援センター | 豊秋(石原(熊野町)を除く) | 石原564-1 (介護老人保健施設銀玲内) |
| 渋川市小野上・子持 地域包括支援センター | 小野上、子持 | 中郷2399-7 (特別養護老人ホーム春日園内) |
| 渋川市赤城 地域包括支援センター | 赤城 | 赤城町北赤城山1055-1 (介護老人保健施設赤城苑内) |
| 渋川市北橋 地域包括支援センター | 北橋 | 北橋町八崎2349-17 (第二サービスセンター虹の家内) |

2 渋川市地域包括支援センター事業報告

今後の高齢社会に対応し包括的支援事業に係る業務の円滑な実施と地域包括ケアシステムを構築するため、平成30年度より日常生活圏域を8か所に細分化し、各圏域ごとにセンターを設置しました。

高齢者の身近な相談窓口として、利用者が多くなっています。

(1) 総合相談事業（資料P15～17）

ア 総合相談

(ア) 対応方法

- a 総合相談は、本人や家族、近隣の住民、地域関係機関等を通じた相談を受け、どのような支援が必要なのか状況把握を行い、専門的・継続的な対応、又は緊急な対応が必要なのかを判断します。
- b 相談者自身が解決できると判断した場合には、相談内容に即したサービスや制度に関する情報提供、関係機関の紹介を行います。
- c 相談を受けた段階で専門的・継続的な対応、又は緊急な対応が必要であると判断した場合には、当事者に係わる様々な関係機関と情報収集を行い課題を明確にし、個別の支援へつなげます。

(イ) 相談実績

a 相談件数

実件数で1,921件の相談及び支援を、延件数では、26,714件の相談及び支援を行いました。

全延相談件数の内、認知症に係る相談が1,998件ありました。

b 相談方法

電話による相談は、1,228件（63.9%）、来所による相談は、421件（21.9%）、訪問による相談は157件（8.2%）、FAX・文書による相談は、115件（6.0%）でした。

c 相談者内訳

主な相談者は、当事者の親族が550人（27.5%）、介護支援専門員（ケアマネジャー）が507件（25.4%）、当事者本人が247件（12.4%）、市関係職員が193件（9.7%）、民生委員児童委員が165件（8.3%）、医療機関が、95件（4.7%）、近隣住民・知人が76件（3.8%）、見守り

ネットワーク登録事業者が12件（0.6%）で、その他が152件（7.6%）でした。

d 相談内容

2,344件の相談のうち、介護・介護保険に関する相談が最も多く、1,100件（46.9%）でした。認知症に関する相談と生活支援に関する相談が282件（12.0%）と多く、保健医療に関する相談も171件（7.3%）と多くなっています。

安否確認に関する相談が61件（2.6%）、生活困窮に関する相談が49件（2.1%）、成年後見、日常生活自立支援事業に関する相談が48件（2.0%）、フレイルに関する相談が32件（1.4%）等となっています。

それぞれ相談受理後に、情報収集や制度の説明、行政・保健、医療、福祉等の関係機関と連携して支援を行いました。

イ 高齢者実態把握訪問（資料P17）

（ア）訪問実績

a 訪問件数

独居高齢者等宅へ、延件数で739件の実態把握訪問を行い、介護・介護保険に関する相談や生活支援、認知症に関する相談支援等を行いました。

ウ 地域におけるネットワーク構築業務（資料P18）

渋川市高齢者等あんしん見守りネットワーク設置等により、高齢者が住みなれた場所で安心して暮らし続けることができるように、地域ぐるみで高齢者を見守る仕組みづくりを推進しています。

（ア）高齢者等あんしん見守りネットワーク事業

a 代表者会議の開催

事業を円滑に推進するため、ネットワーク構成団体の代表者からなる代表者会議を開催し、今後の事業計画について協議しました。

b 協力者（協力事業所）の募集

ネットワーク設置に伴い、市内の商店、事業所を対象に訪問し、協力者の募集活動、周知活動を行いました。

協力者募集、周知活動を含め実態把握、啓発活動、地域包括支援センターの周知について活動を行い、令和2年3月31日現在では、239店舗に協力事業所として登録いただいています。

| | 平成 28 年度末 | 平成 29 年度末 | 平成 30 年度末 | 令和元年度末 |
|------------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 協力事業所(店舗数) | 1 8 4 | 1 7 9 | 2 0 3 | 2 3 9 |

※協力事業所(店舗数)について、平成30年度は集計方法を見直したため、29年度末より店舗数が増加しています。

c 関係機関との協働

行政機関、警察・消防、医療機関、社会福祉協議会、介護サービス事業者等と、地区組織については、民生委員児童委員協議会、自治会、老人会、サロン等とそれぞれ協働しました。

d 渋川市高齢者等あんしん見守りネットワーク講演会の開催

- (a) 期 日 令和元年8月23日(金) 参加者117名
- (b) 場 所 金島ふれあいセンター
- (c) テーマ 「今から一緒に！見守り大作戦！」
- (d) 講 師 高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科 細井雅生 教授

(イ) 地域包括支援センターの周知活動

関係機関及び地区組織へ延べ241回、3,414人に説明を行いました。

(ウ) 啓発活動

地区民生委員児童委員協議会やサロン等に参加し、介護予防に関して延べ57回、724人に講話等を行い、権利擁護に関しては、延べ14回、175人に消費者被害の防止等について、また、認知症については延べ23回、290人に対して啓発活動を行いました。

(エ) 実態把握

民生委員児童委員協議会、自治会、老人会、サロン等を訪問し延べ84回、地域の情報収集活動を行いました。また、警察等の関係機関と情報交換を延べ47回行いました。

(2) 権利擁護事業(資料P19～22)

高齢者本人が地域で安心して暮らせるよう権利擁護に関する相談・支援を関係機関と連携して行いました。

ア 高齢者虐待への相談、予防支援

(ア) 相談支援の状況

養護者による高齢者虐待相談実件数は25件でした。

通報者の内訳（延件数）は、ケアマネ等の介護保険事業所職員が8件、民生委員児童委員、市行政職員がそれぞれ4件、家族・親族、近隣住民・知人がそれぞれ2件、その他が3件、不明（匿名）が2件でした。

通報等に基づき事実確認をおこなった結果10件を高齢者虐待とし、分離5件を含めそれぞれの支援を行いました。

(イ) 高齢者虐待予防

当センターの社会福祉士を中心に、パンフレットを関係機関等に配布しました。

また、市広報紙に年1回掲載を行い、住民に対し広く周知を図りました。

イ 認知症高齢者支援

(ア) 周知と啓発活動

当センターが認知症高齢者等の相談窓口であることを、庁内やサロン、各民生委員児童委員協議会等において周知を行いました。

ウ 関係機関との連携

地域ケア会議を開催し、各圏域の要支援事例についての情報を共有するとともに、関係者による見守り等を行いました。

エ 行方不明者高齢者等発見ネットワーク構築に関する活動

防災行政無線や渋川ほっとマップメール等を通じて、あんしん見守りネットワークの協力事業所等へ、行方不明者の情報を伝達し発見につなげています。

また、行方不明となった高齢者を迅速に発見・保護するため群馬県渋川警察署と渋川市、榛東村、吉岡町の3市町村で結んだ「認知症徘徊高齢者等の保護対策に係る連携協定」により、行方不明者の更なる迅速な発見・保護につなげています。

オ 成年後見制度の活用促進

当センターでは、支援困難な状況にある高齢者に対し、その本人の生活を維持するため、権利擁護の視点に基づき、社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業や、成年後見制度などのサービスや制度を紹介し、活用ができるよう支援を行いました。

(ア) 周知啓発活動

高齢者の尊厳と権利を守るため当センターの社会福祉士を中心に、市民に対して、

周知啓発を図りました。

(イ) 成年後見制度申立の支援

成年後見制度の必要な高齢者に対して、制度の説明や司法の専門機関等の紹介を行い、申し立てが行われるよう支援しました。

また、社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業について、社会福祉協議会と連携し、事業の活用ができるよう支援を行いました。

カ 消費者被害への対応

振り込め詐欺や悪質商法などの被害にあう高齢者が増えています。そのため、「成年後見制度」や「日常生活自立支援事業」を検討するとともに、地域の見守り体制を強化することなどに力を入れました。

また、当センターでは、消費生活センターと連携を図りながら被害の防止に努めるとともに、地域に出向き注意を呼びかけました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（資料P23～24）

主任介護支援専門員（ケアマネジャー）を中心に、高齢者が介護保険をはじめとする様々な介護サービスを適切に利用できるよう、医療機関、介護保険サービス事業者、行政等の関係機関及びインフォーマルサービス（近隣や地域社会、民間やボランティアなどの援助活動）との連携や多職種との協働に向けたケアマネジャーの後方支援を行いました。

また、ケアマネジャーのケアマネジメント力の向上を目的とした研修会を開催したほか、ケースに応じたケアマネジャーの個別支援にあたりました。

ア ケアマネジャーからの個別相談

相談件数は延べ454件でした。

各センターの内訳は、中央圏域が105件（23.1%）、西部圏域が24件（5.3%）、金島・伊香保圏域が69件（15.2%）、古巻圏域が47件（10.3%）、豊秋圏域が71件（15.6%）、小野上・子持圏域が47件（10.3%）、赤城圏域が52件（11.6%）、北橘圏域が39件（8.6%）でした。

相談内容の内訳

| | |
|----------------|-------------|
| 介護保険に関すること | 255件（56.2%） |
| ケアマネジメントに関すること | 112件（24.7%） |

| | |
|----------------------|-------------|
| 介護保険以外の制度・サービスに関すること | 7件（ 1. 5%） |
| 担当者会議に関すること | 59件（13. 0%） |
| その他 | 21件（ 4. 6%） |

イ ケアマネ研修会の実施

渋川圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、ケアマネの資質向上、ケアマネジメントの実践力強化を目的とした研修会を年4回開催し、延べ243名のケアマネジャーが参加しました。

(4) 介護予防ケアマネジメント事業（資料P25～26）

ア 予防給付等におけるケアマネジメント

要支援認定を受けたサービス利用の申込者、事業対象者に対し、介護予防サービス等が適正に利用できるようケアプラン作成、サービス調整、定期的なモニタリング、評価などを行いました。

プラン作成を委託をしている利用者に関しても、介護予防サービスが適正に利用できるよう、委託した居宅介護支援事業所と連携を行いました。

日頃の業務や事例から問題点を抽出し、課題解決や知識を深めるための勉強会を開催し、個人のスキルアップを図りました。

(ア) 予防給付の現状

令和2年3月においては、介護予防ケアプラン412件（内新規13件）、介護予防ケアマネジメントケアプラン295件（内新規9件）、計707件（内新規22件）のケアプランを作成しました。

介護予防ケアプランを委託した件数は305件で、74. 0%を委託、介護予防ケアマネジメントケアプランを委託した件数は177件で、60. 0%を委託、全体の委託件数は482件で、68. 2%を委託しました。

当センターでは臨時職員の介護支援専門員を雇用し、体制の強化を図っています。

(5) 認知症施策の推進

高齢者が認知症になっても尊厳を保ち、認知症の人本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域の住民等に対して、認知症について正しい知識の普及啓発を行いました。

また、認知症初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断・早期対応や、地

域支援推進員による相談対応等を行うことにより、必要な医療や適切なサービスにつなげ、重症化の予防に努めました。

ア 渋川市徘徊高齢者等事前登録制度

身体的特徴や緊急連絡先、顔写真などを事前に登録しておくことで緊急時に適切に対応ができるようにします。登録した内容や写真は事前に警察に情報提供します。

また、登録者に対しての事後フォローとして、状況確認のため訪問しました。

登録件数 36件（令和2年3月31日現在）

イ 認知症サポーター養成講座

認知症に対する理解を深めてもらうため、自治会やサロン等各種団体へ、認知症サポーター養成講座を行いました。

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|--------|--------|--------|-------|
| 実施回数 | 12 | 19 | 16 | 13 |
| 参加者数 | 233 | 689 | 288 | 198 |

ウ 認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター養成講座修了者に対し、復習を兼ねた学習の機会を設けるとともに、地域での認知症サポーター活動を視野に入れた「認知症サポーターステップアップ講座」を行い、12名が講座を修了しました。

また、ステップアップ講座修了者に対し、認知症サポーターとしての知識を活かし地域でボランティアとして活動ができる意識づくりやきっかけづくりの場を提供するため、「認知症サポーターステップアップ講座修了者の座談会」を行い、9名が参加しました。

エ 小学生のための認知症まなびの講座

子どもの頃より認知症について学び、理解を深めてもらうため、市内の小学校で認知症のまなびの講座を行いました。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|------|--------|--------|-------|---------|
| 実施回数 | 5 | 6 | 7 | |
| 参加者数 | 232 | 283 | 325 | ※小学生受講数 |

オ 渋川市認知症施策推進委員会（年2回）

適切な医療やケアの提供、相談や見守り体制の充実及び認知症に関する理解の普及

および促進等を図りました。

カ 認知症初期集中支援チーム（対応ケース 7例）

複数の専門職が、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族を訪問し、認知症の専門医による鑑別診断等をふまえて観察・評価を行い、本人や家族支援などの自立生活のサポートを行いました。

キ 渋川市認知症地域支援推進員

地域支援推進員会議を開催するなど、地域における医療及び介護の連携強化並びに市内に居住する認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図りました。

ク 認知症あんしんガイド（渋川市認知症ケアパス）の配布

認知症ケアパスを、認知症に関する相談時、また市民や医師会、民生委員児童委員等に配布しました。

ケ 認知症カフェの開設

認知症カフェへの取り組み希望のある運営主体と連携し、カフェの開設に向けた情報交換を行いました。

（6）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

介護保険サービスに限らず、地域の保健、医療、福祉サービス及びボランティア活動インフォーマルサービスなどの様々な社会資源が連携できる環境を整備しました。

ア 地域ケア会議の推進

その核となる日常生活圏域ごとのネットワークの必要性を関係者が共通して理解するために、行政機関、警察や社会福祉協議会、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所など多職種協働による個別事例の検討等を延べ201回行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進しました。

イ 自立支援型地域ケア個別会議の推進

介護予防・自立支援への取り組みを推進するために、8回の会議で16事例の検討を行いました。居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所に対し、説明会や会議開催の案内を行い、希望する事業所についてはオブザーバーとして参加してもらうなど、当該個別会議について学ぶ機会を設けました。

また、回覧により、市民への周知を図りました。

ウ 在宅医療・介護連携の推進

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進しました。

(ア) 渋川地区在宅医療介護連携支援センター

- a 設置者 渋川市、榛東村、吉岡町
- b 委託先 一般社団法人 渋川地区医師会
- c 設置場所 渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）2階
- d 開設時間 午前8時30分から午後5時15分まで
- e 職員の配置 保健師（1名）、事務職員（2名）

(イ) 地域医療介護資源の把握

在宅医療介護連携支援センターのホームページを公開しています。

(ウ) 医療介護関係者の情報共有の支援

- a 「渋川圏域における病院－在宅連携『退院調整ルール』の手引き」の活用
- b 介護支援専門員の意見交換会（ケアマネサロン）の開催（年5回）
- c 在宅医療・介護資源リストマップデータの更新と追加

(エ) 医療・介護関係者の研修

a 住民公開講座

期 日 令和元年 8月18日（日） 参加者155名

1部 講演会

演題 「大切な人生の最終章」～いかに最後の人生を充実させるか～

講師 （一財）日本尊厳死協会 理事／医師 岩尾總一郎 氏

2部 エンディングノート書き方教室

b 地域ケア会議－事例検討会－の開催

第10回 地域ケア会議－事例検討会－

期 日 令和元年 7月26日（木） 参加者179名

テーマ 「在宅生活の希望が強い認知機能低下の方と支える高齢者家族の支援について」

(オ) 地域住民への普及啓発

a 医療・看護・介護連携フォーラム2019

多職種間の連携を深め、地域住民と在宅医療や看護、介護について考える場として開催しました。

期 日 令和元年 6月23日(日) 参加者870名(スタッフ含む)

場 所 渋川市役所 第2庁舎1階

(7) 生活支援の充実・強化(生活支援体制整備)

生活支援コーディネーターの配置や地域助け合い活動推進協議体の設置等により、高齢者の社会参加や生活支援の充実を推進するため、市内全地区で第2層協議体による話し合いが進められています。

第1層協議体においても、地域活動の情報共有を図り生活支援に関する話し合いを進めています。

(8) 地区啓発活動

ア 介護予防に関する支援

(ア) 介護予防教室の実施

住み慣れた地域で生活機能を維持しながら、いきいきとした社会生活が続けられるよう、心身機能の活動性の維持、社会参加を目的に介護予防教室を実施しました。全8圏域で44回開催し、延べ1,135名が参加しました。

イ 介護者に対する支援

(ア) 家族介護教室の実施

高齢者の介護に関する知識や技術等について学び、家族等の介護に役立てることで、よりよい介護につなげていくことや家族の介護に備えることを目的に、家族介護教室を実施しました。全8圏域で10回開催し、延べ138名が参加しました。

3 地域包括支援センター業務報告（総括表）

（平成31年4月～令和2年3月）

| 項 目 | | 圏 域 | | | | | | | | 計 | |
|---|------------------|---------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| | | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | | |
| 1総合相談 | 相談件数(実件数) | 606 | 184 | 246 | 138 | 175 | 147 | 225 | 200 | 1,921 | |
| | 高齢者虐待相談件数(実件数) | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 | |
| | うち虐待と判断した事例 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 | |
| 2ケアマネ支援 | ①ケアマネ個別相談件数(延件数) | 105 | 24 | 69 | 47 | 71 | 47 | 52 | 39 | 454 | |
| | ②支援事業(研修会等)実施 | | | | | | | | | 4 | 4 |
| 3 ン介 ト護 予防 ケア マネジ メ | ①要支援者数※1 | 1,366 | 1,585 | 2,159 | 1,563 | 955 | 1,757 | 1,451 | 1,169 | 12,005 | |
| | 内 訳 | 要支援1 | 615 | 772 | 1,000 | 712 | 447 | 791 | 692 | 493 | 5,522 |
| | | 要支援2 | 751 | 813 | 1,159 | 851 | 508 | 966 | 759 | 676 | 6,483 |
| | ②プラン作成数 | 1,110 | 1,134 | 1,731 | 1,091 | 692 | 1,296 | 1,257 | 891 | 9,202 | |
| | (作成割合%) | 81.3% | 71.5% | 80.2% | 69.8% | 72.5% | 73.8% | 86.6% | 76.2% | 76.7% | |
| | 直 う 営 ち | 「直営」作成数 | 304 | 378 | 435 | 343 | 239 | 245 | 154 | 83 | 2,181 |
| (直営比率%) | | 27.4% | 33.3% | 25.1% | 31.4% | 34.5% | 18.9% | 12.3% | 9.3% | 23.7% | |
| 4利用者基本 情報作成数 | 基本情報作成数合計(実件数) | 30 | 41 | 15 | 11 | 19 | 12 | 34 | 8 | 170 | |
| 5 相 談 ・ 支 援 総 合 計 ※1 | 相談・支援件数合計(延件数) | 4,149 | 4,078 | 2,683 | 2,984 | 3,512 | 2,406 | 3,884 | 3,018 | 26,714 | |
| | 相 談 方 法 | 電 話 | 2,056 | 2,452 | 1,274 | 1,592 | 2,236 | 1,126 | 2,156 | 1,648 | 14,540 |
| | | 来 所 | 569 | 180 | 348 | 311 | 433 | 326 | 282 | 509 | 2,958 |
| | | 訪 問 | 1,176 | 1,413 | 1,061 | 871 | 771 | 937 | 1,360 | 650 | 8,239 |
| | | そ の 他 | 348 | 33 | 0 | 210 | 72 | 17 | 86 | 211 | 977 |
| 認知症に かかる相談 | 65歳以上 | 342 | 119 | 143 | 613 | 153 | 6 | 263 | 202 | 1,841 | |
| | 65歳未満 | 2 | 2 | 0 | 0 | 139 | 0 | 11 | 3 | 157 | |

(注記)

※ 相談支援件数は、職員が対応した全ての延件数です。

※1) 要支援者数は、暫定値です。確定値と前後する可能性があります。

4 総合相談実績報告

(平成31年4月～令和2年3月)

※但し高齢者虐待は別集計のため含まない

(1) 相談件数

(実件数)

| 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|
| 相談件数 | 606 | 184 | 246 | 138 | 175 | 147 | 225 | 200 | 1,921 |

(2) 相談方法

(実件数)

| 相談方法 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|
| 相談方法 | 電話 | 287 | 113 | 189 | 109 | 113 | 108 | 153 | 156 | 1,228 |
| | 来所 | 224 | 24 | 31 | 18 | 39 | 30 | 24 | 31 | 421 |
| | 訪問 | 23 | 40 | 17 | 5 | 21 | 7 | 31 | 13 | 157 |
| | FAX・文書 | 72 | 7 | 9 | 6 | 2 | 2 | 17 | 0 | 115 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 606 | 184 | 246 | 138 | 175 | 147 | 225 | 200 | 1,921 |

(3) 相談者内訳

(延人数)

| 相談者 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-------|-------------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|
| 相談者内訳 | 本人 | 85 | 48 | 23 | 15 | 20 | 6 | 29 | 21 | 247 |
| | 親族 | 240 | 59 | 44 | 25 | 33 | 52 | 48 | 49 | 550 |
| | 近隣住民・知人 | 31 | 4 | 9 | 3 | 6 | 1 | 10 | 12 | 76 |
| | 民生委員児童委員 | 32 | 24 | 27 | 10 | 15 | 25 | 19 | 13 | 165 |
| | 医療機関 | 12 | 15 | 20 | 8 | 8 | 7 | 13 | 12 | 95 |
| | 介護支援専門員 | 96 | 26 | 78 | 56 | 68 | 39 | 68 | 76 | 507 |
| | 市関係職員 | 84 | 14 | 26 | 14 | 14 | 6 | 22 | 13 | 193 |
| | 見守りネット登録事業所 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 12 |
| | その他 | 76 | 4 | 20 | 7 | 11 | 10 | 16 | 8 | 152 |
| | 合計 | 658 | 198 | 248 | 138 | 176 | 147 | 227 | 205 | 1,997 |

(4) 相談内容 (但し高齢者虐待は別集計のため含まない)

(延件数)

| 相談内容 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|-------------------|----|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|
| 1 介護・介護保険 | | 308 | 105 | 140 | 101 | 105 | 86 | 119 | 136 | 1,100 |
| 2 生活支援 | | 112 | 29 | 29 | 12 | 17 | 16 | 60 | 7 | 282 |
| 3 保健医療 | | 67 | 31 | 20 | 6 | 26 | 7 | 9 | 5 | 171 |
| 4 認知症 | | 107 | 24 | 29 | 15 | 25 | 9 | 36 | 37 | 282 |
| 5 若年性認知症 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 6 フレイル | | 11 | 6 | 2 | 0 | 2 | 4 | 6 | 1 | 32 |
| 7 安否 | | 16 | 8 | 11 | 4 | 6 | 4 | 6 | 6 | 61 |
| 8 生活困窮 | | 15 | 5 | 12 | 1 | 4 | 3 | 7 | 2 | 49 |
| 9 成年後見・日常生活自立支援事業 | | 24 | 9 | 7 | 2 | 4 | 0 | 1 | 1 | 48 |
| 10 消費者被害 | | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| 11 その他 | | 126 | 9 | 36 | 10 | 25 | 36 | 36 | 31 | 309 |
| 合計 | | 790 | 226 | 287 | 151 | 217 | 165 | 281 | 227 | 2,344 |

(5) 実態把握訪問

(延件数)

| 相談内容 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|-------------------|----|-----|----|--------|----|----|--------|----|----|-----|
| 1 介護・介護保険 | | 3 | 4 | 3 | 0 | 6 | 2 | 0 | 2 | 20 |
| 2 生活支援 | | 14 | 3 | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 26 |
| 3 保健医療 | | 7 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 4 認知症 | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 5 若年性認知症 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 フレイル | | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 7 安否 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 8 生活困窮 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 9 成年後見・日常生活自立支援事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 消費者被害 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 11 その他 | | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 12 相談事項なし | | 185 | 43 | 69 | 61 | 66 | 99 | 85 | 58 | 666 |
| 合計 | | 217 | 52 | 74 | 62 | 79 | 106 | 85 | 64 | 739 |
| (内 要継続対応) | | 1 | 8 | 2 | 0 | 6 | 7 | 0 | 3 | 27 |

5 地域におけるネットワーク構築業務

(平成31年4月～令和2年3月)

(延件数・延人数)

| 項目 | | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 市全域対象 | 計 | |
|--------|---------------|------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|-------|-----|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 包括周知 | 関係機関 | 件数 | 6 | 5 | 3 | 10 | 4 | 4 | 30 | 2 | | 64 | |
| | | 人数 | 6 | 9 | 33 | 94 | 19 | 4 | 221 | 24 | | 410 | |
| | 地区組織 | 件数 | 36 | 18 | 24 | 17 | 15 | 14 | 36 | 17 | | 177 | |
| | | 人数 | 592 | 403 | 385 | 245 | 268 | 257 | 516 | 338 | | 3,004 | |
| | あんしん見守りネットワーク | 事業所等 | 59 | 55 | 27 | 43 | 21 | 37 | 31 | 18 | | 291 | |
| | その他(講演会等) | 件数 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 人数 | | | | | | | | | | 117 | 117 |
| 広報・回覧 | 回数 | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| 啓発活動 | 関係機関 | 件数 | | | | | | | | | | 0 | 0 |
| | | 人数 | | | | | | | | | | 0 | 0 |
| | 地区組織 | 件数 | 3 | 4 | 6 | 11 | 7 | 2 | 17 | 7 | 0 | 57 | |
| | | 人数 | 64 | 74 | 115 | 116 | 146 | 40 | 31 | 138 | 0 | 724 | |
| | その他 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 広報・回覧 | 回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 関係機関 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 地区組織 | 件数 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 0 | 14 | |
| | | 人数 | 20 | 30 | 16 | 27 | 18 | 12 | 14 | 38 | 0 | 175 | |
| | その他 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 広報・回覧 | 回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 関係機関 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 地区組織 | 件数 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 2 | 0 | 23 | | |
| | 人数 | 67 | 34 | 23 | 14 | 33 | 23 | 61 | 35 | 0 | 290 | | |
| その他 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 広報・回覧 | 回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| 実態把握 | 関係機関 | 件数 | 8 | 3 | 6 | 13 | 4 | 7 | 5 | 1 | 0 | 47 | |
| | | 人数 | 8 | 6 | 9 | 84 | 12 | 7 | 7 | 1 | 0 | 134 | |
| | 地区組織 | 件数 | 6 | 6 | 11 | 13 | 10 | 5 | 24 | 9 | 0 | 84 | |
| | | 人数 | 112 | 119 | 211 | 142 | 178 | 107 | 229 | 199 | 0 | 1,297 | |
| | その他 | 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地域ケア会議 | 回数 | 201 | | | | | | | | | 201 | | |

関係機関：行政機関、警察・消防、医療機関、社会福祉協議会、介護サービス事業所など

地区組織：自治会、民生委員児童委員会、老人会、婦人会、いきいきサロンなど

6 養護者による高齢者虐待対応状況

(平成31年4月～令和2年3月)

(1) 通報・届出・相談受理件数

(実件数)

| 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 件数 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |

(2) 通報者の内訳

(実件数)

| 通報者 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|----------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| ケアマネ・介護保険事業所職員 | | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 8 |
| 近隣住民・知人 | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 民生委員児童委員 | | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 被虐待者本人 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 家族・親族 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 虐待者自身 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 市行政職員 | | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 警察 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 不明(匿名含む) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |

(3) 事実確認の状況

(実件数)

| 状況 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------------------------|--|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| ア 事実確認調査を行った事例 | | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |
| 再掲 | 立入調査以外の方法により事実確認調査を行った事例 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |
| | ①訪問調査により事実確認調査を行った事例 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 24 |
| | ②関係者からの情報収集のみで事実確認調査を行った事例 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 立入調査により事実確認調査を行った事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ①警察が同行した事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②警察に援助要請したが、同行はしなかった事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| イ 事実確認調査を行っていない事例 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 再掲 | 通報等を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認・調査不要と判断した事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 通報等を受理し、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の要否を検討中の事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |

(4) 事実確認調査の結果

(実件数)

| 結果 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|--------------------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 虐待を受けた又は受けたと思われるかと判断した事例 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |
| 虐待ではないと判断した事例 | | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 7 |
| 虐待の判断に至らなかった事例 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| 合計 | | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 25 |

(5) 虐待の種別・類型

(複数回答)

| 種類 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 身体的虐待 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 介護・世話の放棄、放任 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 |
| 心理的虐待 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 性的虐待 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経済的虐待 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 合計(実人数) | | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 14 |

(6) 被虐待者の状況

ア 被虐待者の性別

(実件数)

| 性別 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 男性 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 女性 | | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

イ 被虐待者の年齢

(実件数)

| 年齢 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|--------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 65歳未満 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 65～69歳 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70～74歳 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 75～79歳 | | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 80～84歳 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 85～89歳 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 |
| 90歳以上 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

ウ 被虐待者の介護保険の申請状況

(実件数)

| 申請状況 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-----------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 未申請 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 申請中 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 認定済み | | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 |
| 認定非該当(自立) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

エ 被虐待者の要支援・要介護状態区分

(実件数)

| 介護度 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 要支援1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要支援2 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護1 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 要介護2 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 要介護3 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護4 | | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 要介護5 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 |

オ 被虐待者の認知症日常生活自立度

(実件数)

| 自立度 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|---------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 自立又は認知症なし | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自立度Ⅰ | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 自立度Ⅱ | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 自立度Ⅲ | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 自立度Ⅳ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 自立度M | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 認知症はあるが自立度は不明 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 認知症の有無が不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

カ 虐待者との生活状況

(実件数)

| 生活状況 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|--------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 虐待者と同居 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 7 |
| 虐待者と別居 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

キ 被虐待者の世帯構成

(実件数)

| 世帯構成 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|-----------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 単身世帯 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 夫婦二世帯 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 未婚の子と同一世帯 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 |
| 既婚の子と同一世帯 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| その他 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

ク 被虐待者からみた虐待者の続柄

(複数回答)

| 続柄 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橘 | 合計 |
|-----------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 夫 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 妻 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 息子 | | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 7 |
| 娘 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 息子の配偶者(嫁) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 娘の配偶者(婿) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 兄弟姉妹 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 孫 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(人) | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

(7) 虐待への対応策

ア 分離の有無

(実件数)

| 分離状況 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|---------------------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った | | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 被虐待者と虐待者を分離していない | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 |
| 被虐待者が複数で異なる対応(分離・非分離)を行った | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 現在対応について検討・調整中 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |

イ 分離を行った事例の対応の内訳

(実件数)

| 対応 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-------------------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 契約による介護保険サービスの利用 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (再掲)面会の制限を行った事例 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 緊急一時保護 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医療機関への一時入院 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |

ウ 分離していない事例の対応の内訳

(複数回答)

| 対応 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------------------------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 養護者に対する助言・指導 | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 |
| 養護者が介護負担軽減のための事業に参加 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 被虐待者が新たに介護保険サービスを利用 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直した | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他(要請時対応、対応検討中等) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 見守りのみ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 7 |

エ 権利擁護に関する対応の内訳

(実件数)

| 対応 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|-----------------|----|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----|
| 成年後見制度利用開始済 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 成年後見制度利用手続中 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 上記の内、市長申立の事例 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 日常生活自立支援事業利用の支援 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネジャーへの支援・対応状況

(平成31年4月～令和2年3月)

(1) 相談件数

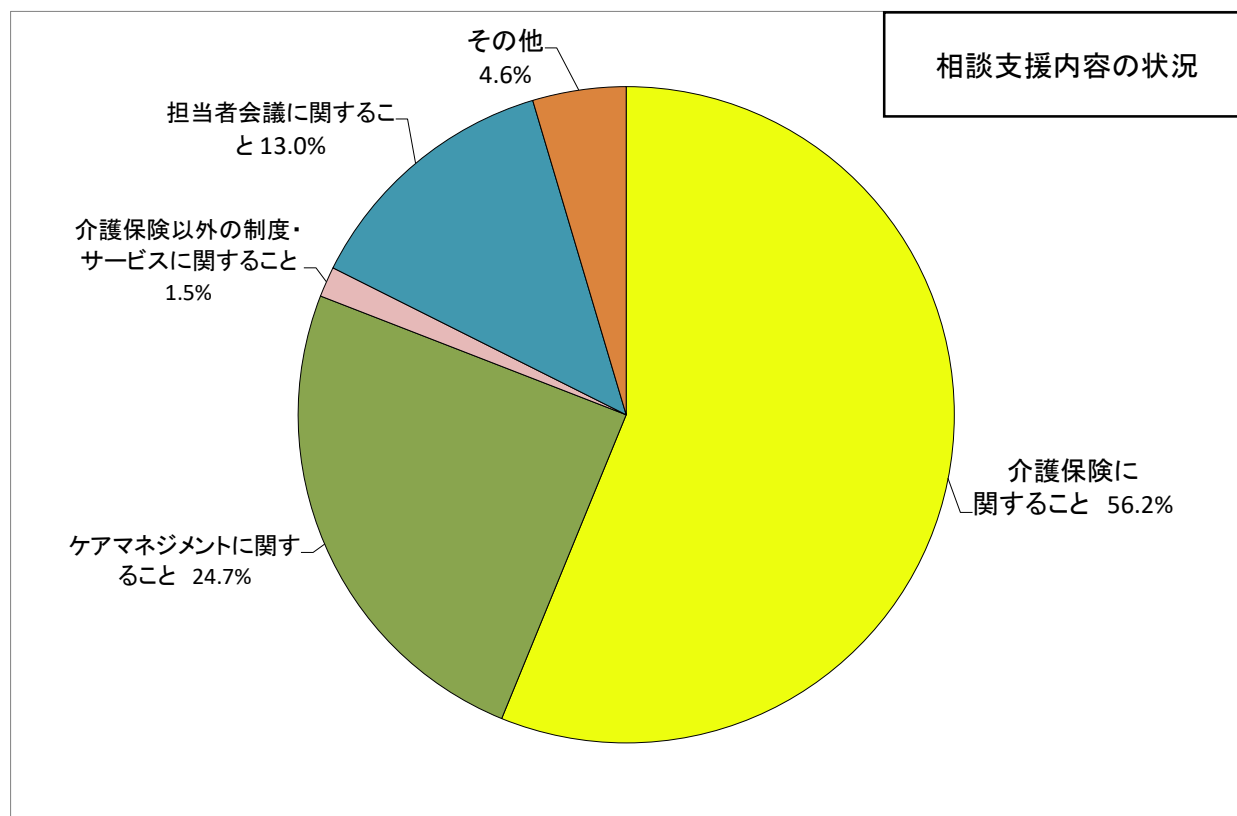
(実件数)

| 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------|-----|----|--------|----|----|--------|----|----|-----|
| 相談件数 | 105 | 24 | 69 | 47 | 71 | 47 | 52 | 39 | 454 |

(2) 相談支援の状況

(延件数)

| 支援内容 | 圏域 | 中央 | 西部 | 金島・伊香保 | 古巻 | 豊秋 | 小野上・子持 | 赤城 | 北橋 | 合計 |
|------------------------|----|-----|----|--------|----|----|--------|----|----|-----|
| 1 介護保険に関すること | | 65 | 11 | 29 | 37 | 31 | 27 | 26 | 29 | 255 |
| 2 ケアマネジメントに関すること | | 25 | 9 | 27 | 4 | 23 | 10 | 9 | 5 | 112 |
| 3 介護保険以外の制度・サービスに関すること | | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 4 担当者会議に関すること | | 10 | 3 | 7 | 4 | 11 | 6 | 14 | 4 | 59 |
| 5 その他 | | 4 | 1 | 6 | 2 | 2 | 3 | 3 | 0 | 21 |
| 合計 | | 105 | 24 | 69 | 47 | 71 | 47 | 52 | 39 | 454 |



(3) 介護支援専門員研修会の状況

| | | |
|-----|---------|---|
| 第1回 | 日 時 | 令和元年 6月17日(月) |
| | 会 場 | 渋川市北橋公民館 講堂301 |
| | 参加数(人数) | 33事業所(67名) |
| | 研修テーマ | ～法令根拠に基づくケアマネジメント業務～『自立支援型ケアマネジメントの実現に向けて』 |
| | 講 師 | 介護老人保健施設ミドルホーム富岡 副施設長 新井健五 氏 |
| 第2回 | 日 時 | 令和元年 9月18日(水) |
| | 会 場 | 渋川市北橋公民館 講堂301 |
| | 参加数(人数) | 31事業所(39名) |
| | 制度説明 | 『リーダーに求められる役割を考える～必要な知識と技術～』 |
| | 説 明 者 | 前橋市地域包括支援センター西部 主任介護支援専門員 山田圭子 氏 |
| 第3回 | 日 時 | 令和元年11月14日(木) |
| | 会 場 | 渋川市北橋公民館 講堂301 |
| | 参加数(人数) | 33事業所(73名) |
| | 研修内容 | 『事例検討』精神疾患をもつ利用者の退院支援について 『講話』民生委員との連携について |
| | 助 言 者 | 榛名病院 ソーシャルワーカー 竹内えり子 氏、大塚亜紀子 氏 渋川市民生委員児童委員連絡協議会 副会長 石北智子 氏 |
| 第4回 | 日 時 | 令和2年 2月17日(月) |
| | 会 場 | 渋川市社会福祉センター 4階 大会議室 |
| | 参加数(人数) | 30事業所(64名) |
| | 研修テーマ | 『事例検討』進行性核上麻痺がある本人の思いに共に寄り添う支援のあり方 |
| | 講 師 | 川島内科クリニック 院長 川島 崇 氏 |
| 計4回 | | 参加人数 延べ127事業所、延べ243名 |

8 ケアマネジメントの状況

(1) 要支援認定者に対するケアマネジメントの状況（予防給付）

ア 介護予支援費の状況

（平成31年4月～令和2年3月）

単位：件、円

| 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 前年対比 | |
|-----|-------|------------|--------|------------|-------|-------------|
| | 件数 | プラン作成費 | 件数 | プラン作成費 | 件数 | プラン作成費 |
| 包括分 | 1,237 | 5,559,290 | 1,116 | 5,015,634 | 121 | 543,656 |
| 委託分 | 3,891 | 17,443,986 | 4,145 | 18,628,433 | △ 254 | △ 1,184,447 |
| 合計 | 5,128 | 23,003,276 | 5,261 | 23,644,067 | △ 133 | △ 640,791 |

イ 介護予防ケアマネジメント費の状況

（平成31年4月～令和2年3月）

| 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 前年対比 | |
|-----|-------|------------|--------|------------|-------|-------------|
| | 件数 | プラン作成費 | 件数 | プラン作成費 | 件数 | プラン作成費 |
| 包括分 | 1,343 | 6,064,959 | 1,065 | 4,914,264 | 278 | 1,150,695 |
| 委託分 | 2,369 | 10,634,819 | 2,876 | 12,965,633 | △ 507 | △ 2,330,814 |
| 合計 | 3,712 | 16,699,778 | 3,941 | 17,879,897 | △ 229 | △ 1,180,119 |

*プラン作成費：継続1件 1ヶ月あたり 4,390円 新規のケアプラン作成 1件 1ヶ月あたり 7,453円

（令和元年10月消費税の増税により単価変更、継続1件 1ヶ月あたり 4,400円 新規のケアプラン作成 1件 1ヶ月あたり 7,463円）

ウ 介護予防ケアプラン作成件数

| 圏域 | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | | 前年対比 | | |
|--------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|----------|------------|------------|
| | 包括直営 | 業務委託 | 合計 | 包括直営 | 業務委託 | 合計 | 包括直営 | 業務委託 | 合計 |
| 中央 | 189 (3) | 399 (7) | 588 (10) | 120 (7) | 480 (15) | 600 (22) | 69 △ 4 | △ 81 △ 8 | △ 12 △ 12 |
| 西部 | 247 (18) | 352 (6) | 599 (24) | 202 (11) | 434 (17) | 636 (28) | 45 7 | △ 82 △ 11 | △ 37 △ 4 |
| 金島・伊香保 | 228 (7) | 777 (23) | 1,005 (30) | 222 (5) | 779 (17) | 1,001 (22) | 6 2 | △ 2 6 | 4 8 |
| 古巻 | 147 (3) | 486 (19) | 633 (22) | 192 0 | 416 (17) | 608 (17) | △ 45 3 | 70 2 | 25 5 |
| 豊秋 | 80 (1) | 331 (16) | 411 (17) | 120 (2) | 283 (11) | 403 (13) | △ 40 △ 1 | 48 5 | 8 4 |
| 小野上・子持 | 167 (2) | 630 (23) | 797 (25) | 119 (8) | 618 (21) | 737 (29) | 48 △ 6 | 12 2 | 60 △ 4 |
| 赤城 | 80 (1) | 636 (13) | 716 (14) | 98 (2) | 742 (30) | 840 (32) | △ 18 △ 1 | △ 106 △ 17 | △ 124 △ 18 |
| 北橋 | 99 (5) | 280 (5) | 379 (10) | 43 (3) | 393 (13) | 436 (16) | 56 2 | △ 113 △ 8 | △ 57 △ 6 |
| 計 | 1,237 (40) | 3,891 (112) | 5,128 (152) | 1,116 (38) | 4,145 (141) | 5,261 (179) | 121 2 | △ 254 △ 29 | △ 133 △ 27 |

エ 介護予防ケアマネジメント ケアプラン作成件数

| 圏域 | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | | 前年対比 | | |
|--------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|----------|------------|------------|
| | 包括直営 | 業務委託 | 合計 | 包括直営 | 業務委託 | 合計 | 包括直営 | 業務委託 | 合計 |
| 中央 | 297 (10) | 195 (2) | 492 (12) | 184 (12) | 326 (9) | 510 (21) | 113 △ 2 | △ 131 △ 7 | △ 18 △ 9 |
| 西部 | 254 (13) | 236 (3) | 490 (16) | 176 (10) | 322 (12) | 498 (22) | 78 3 | △ 86 △ 9 | △ 8 △ 6 |
| 金島・伊香保 | 243 (7) | 407 (12) | 650 (19) | 213 (17) | 517 (14) | 730 (31) | 30 △ 10 | △ 110 △ 2 | △ 80 △ 12 |
| 古巻 | 109 (1) | 363 (11) | 472 (12) | 151 (6) | 332 (18) | 483 (24) | △ 42 △ 5 | 31 △ 7 | △ 11 △ 12 |
| 豊秋 | 153 (4) | 194 (12) | 347 (16) | 119 (11) | 170 (9) | 289 (20) | 34 △ 7 | 24 3 | 58 △ 4 |
| 小野上・子持 | 139 (7) | 319 (12) | 458 (19) | 126 (7) | 433 (19) | 559 (26) | 13 0 | △ 114 △ 7 | △ 101 △ 7 |
| 赤城 | 52 (3) | 323 (10) | 375 (13) | 56 (9) | 361 (18) | 417 (27) | △ 4 △ 6 | △ 38 △ 8 | △ 42 △ 14 |
| 北橋 | 96 (8) | 332 (11) | 428 (19) | 40 (6) | 415 (12) | 455 (18) | 56 2 | △ 83 △ 1 | △ 27 1 |
| 計 | 1,343 (53) | 2,369 (73) | 3,712 (126) | 1,065 (78) | 2,876 (111) | 3,941 (189) | 278 △ 25 | △ 507 △ 38 | △ 229 △ 63 |

*（ ）内は新規のケアプラン作成件数(内数)

オ 圏域別の介護予防ケアマネジメント状況

(令和2年3月末現在)

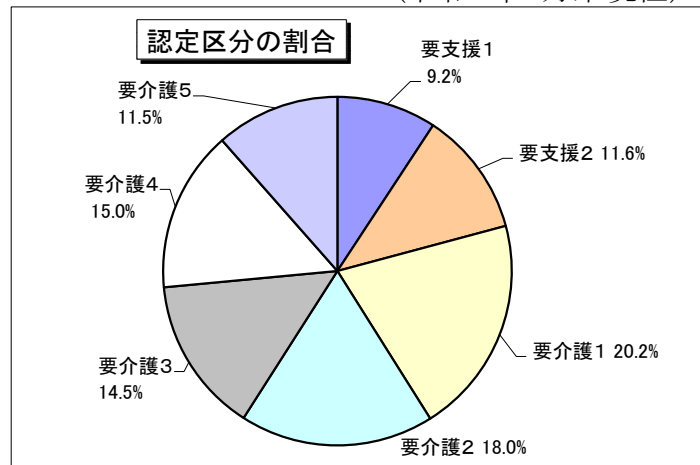
| 圏域 | 人口 | 人口割合 | 65歳以上人口 | 高齢化率 | 要支援者数 | 要支援者割合 | プラン作成数 | | プラン作成割合計 |
|--------|--------|--------|---------|-------|-------|--------|--------|----------|----------|
| | | | | | | | 予防支援 | ケアマネジメント | |
| 中央 | 5,359 | 7.0% | 1,911 | 35.7% | 102 | 5.3% | 44 | 41 | 83.3% |
| 西部 | 7,156 | 9.4% | 2,868 | 40.1% | 130 | 4.5% | 49 | 42 | 70.0% |
| 金島・伊香保 | 12,219 | 16.0% | 4,217 | 34.5% | 158 | 3.7% | 81 | 43 | 78.5% |
| 古巻 | 11,779 | 15.4% | 3,337 | 28.3% | 125 | 3.7% | 54 | 40 | 75.2% |
| 豊秋 | 8,488 | 11.1% | 2,511 | 29.6% | 78 | 3.1% | 35 | 28 | 80.8% |
| 小野上・子持 | 12,732 | 16.7% | 4,514 | 35.5% | 141 | 3.1% | 62 | 38 | 70.9% |
| 赤城 | 9,740 | 12.7% | 3,895 | 40.0% | 116 | 3.0% | 58 | 30 | 75.9% |
| 北橘 | 8,956 | 11.7% | 3,122 | 34.9% | 85 | 2.7% | 29 | 33 | 72.9% |
| 合計 | 76,429 | 100.0% | 26,375 | 34.5% | 935 | 3.5% | 412 | 295 | 75.6% |

- * 中央圏域は高齢者人口は最も少ないが、要支援者割合が最も高くなっており、プラン作成割合も高い。
- * 西部圏域は高齢化率が最も高く、要支援者割合も高い。
- * 金島・伊香保圏域は高齢化率、要支援者割合、プラン作成割合ともに平均より若干高い。
- * 古巻圏域は高齢化率、プラン作成割合も平均以下である。
- * 豊秋圏域は高齢化率が低く、要支援者割合も低いが、プラン作成割合が高い。
- * 小野上・子持圏域は高齢化率が高いが、プラン作成割合は平均よりも低い。
- * 赤城圏域は高齢化率が高いが、プラン作成割合は平均的である。
- * 北橘圏域は高齢化率は平均的であり、要支援者割合とプラン作成割合ともに低い。

カ 要介護・要支援認定者の状況

(令和2年3月末現在)

| | 令和2年3月 | 平成31年3月 | 前年対比 |
|------|--------|---------|-------|
| 要支援1 | 415 | 489 | △ 74 |
| 要支援2 | 520 | 552 | △ 32 |
| 小計 | 935 | 1,041 | △ 106 |
| 要介護1 | 909 | 916 | △ 7 |
| 要介護2 | 808 | 823 | △ 15 |
| 要介護3 | 650 | 657 | △ 7 |
| 要介護4 | 673 | 680 | △ 7 |
| 要介護5 | 517 | 503 | 14 |
| 小計 | 3,557 | 3,579 | △ 22 |
| 合計 | 4,492 | 4,620 | △ 128 |



* 認定者数には2号被保険者(65歳未満)を含みます。

第5章

社会福祉法人指導監査等の 実施結果概要

指導検査室

令和2年度（令和元年度分）福祉の概要

（社会福祉法人指導監査等の実施結果概要）

| | |
|---------------------------|---|
| 1 指導監査等の概要 | 1 |
| （1）指導監査等の対象 | 1 |
| ア 社会福祉法人 | 1 |
| イ 介護保険サービス事業所 | 1 |
| ウ 介護予防・日常生活支援総合事業所 | 2 |
| （2）指導監査等の方法 | 2 |
| ア 集団指導 | 2 |
| イ 一般監査等（一般監査、実地指導） | 2 |
| ウ 特別監査等（特別監査、監査） | 2 |
| （3）指導監査等の実施機関 | 2 |
| （4）指導監査等に基づく改善指導 | 2 |
| （5）所管課との連携 | 2 |
| （6）指導監査等の情報公開 | 3 |
| 2 指導監査等の実施結果 | 3 |
| （1）一般監査等の実施概況 | 3 |
| ア 社会福祉法人 | 3 |
| イ 介護保険サービス事業所 | 3 |
| （2）一般監査等の実施状況・結果 | 4 |
| ア 社会福祉法人 | 4 |
| イ 介護保険サービス事業所 | 5 |
| （3）特別監査等の実施結果 | 5 |
| （4）集団指導 | 6 |
| 3 各種事務手続の実績 | 6 |

社会福祉法人指導監査等の実施結果概要

1 指導監査等の概要

平成25年4月から、社会福祉法人の認可及び指導監査の権限が一般市に移譲され、また平成29年4月から、介護保険の地域密着型サービス事業所及び介護予防・日常生活支援総合事業所の実地指導業務等が高齢福祉課（現介護保険課）から移管され、平成30年4月から、居宅介護支援事業所の実地指導業務等が群馬県から移管されました。

指導検査室では社会福祉法その他関係法令等に基づき、社会福祉法人の適正な運営及びサービスの質の確保並びに利用者処遇の向上を図ることを目的に、また地域密着型サービス事業所等の介護保険サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的に指導監査等を行いました。

(1) 指導監査等の対象

指導監査等の対象となる社会福祉法人及び介護保険サービス事業所は、次の表のとおりです。

ア 社会福祉法人（令和2年3月末）

| 区 分 | 対象法人数 | 施設等所管課 |
|------------|-------|---------|
| 老人福祉施設 | 6 | 高齢者安心課 |
| 障害者（児）福祉施設 | 5 | 地域包括ケア課 |
| 児童福祉施設 | 1 | こども課 |
| 保育所・認定こども園 | 9 | こども課 |
| 社会福祉協議会 | 1 | 地域包括ケア課 |
| 合 計 | 22 | |

イ 介護保険サービス事業所（令和2年3月末）

| 区 分 | | 事業所数 | 事業所所管課 |
|----------------------|------------------|------|--------|
| 地域密着型 サービス事 業所 | 認知症対応型通所介護 | 5 | 介護保険課 |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 3 | |
| | 認知症対応型共同生活介護 | 8 | |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 1 | |
| | 地域密着型通所介護 | 10 | |
| | 小 計 | 27 | |
| 居宅介護支援事業所 | | 33 | |
| 合 計 | | 60 | |

ウ 介護予防・日常生活支援総合事業所（令和2年3月末）

| 区分 | 事業所数 | 事業所所管課 |
|------|------|--------|
| 通所介護 | 36 | 介護保険課 |
| 訪問介護 | 14 | |
| 合計 | 50 | |

(2) 指導監査等の方法

ア 集団指導

同種事業の施設等に対し、一定の場所において集団で講習・説明会形式の指導を行うものです。

イ 一般監査等（一般監査、実地指導）

関係法令や市の要綱・条例に基づき、法人や事業所の所在地において原則として3年に1回実施するものです。

ウ 特別監査等（特別監査、監査）

一般監査等の結果や苦情・通報等により、重大な法令違反や運営基準違反等が疑われる場合などに、随時行うものです。

(参考)

| 指導監査等の対象 | 一般監査等 (通常の場合) | 特別監査等 (重大な法令違反や運営基準 違反が疑われる場合) |
|-------------|------------------|--------------------------------------|
| 社会福祉法人 | 一般監査 | 特別監査 |
| 介護保険サービス事業所 | 実地指導 | 監査 |

(3) 指導監査等の実施機関

社会福祉法人及び介護保険サービス事業所の指導監査等は、市の指導検査室が担当しています。

(4) 指導監査等に基づく改善指導

指導監査等の結果は、指導検査室内でその内容等の分析、検討を行い、軽微なものは口頭指摘や助言、重要なものは文書指摘として通知しました。文書指摘については改善結果及び改善状況の報告を求めました。

(5) 所管課との連携

指導監査等の際し、市の所管課（地域包括ケア課・こども課・高齢者安心課・介護保険課）と情報の共有等を図りました。

また、県の監査指導課、こども政策課等関係課と連携し情報の共有等、円滑な業務遂行に努めました。

(6) 指導監査等の情報公開

渋川市情報公開条例に基づく開示請求があった場合は、指導監査等の結果通知及びこれに対応する改善報告について、個人情報を除き開示します。

2 指導監査等の実施結果

(1) 一般監査等の実施概況

ア 社会福祉法人

市内 22 法人の内、7 法人の一般監査を実施しました。

| 区 分 | 対象数 (H31.4.1現在) | 実施数 |
|------------|--------------------|-----|
| 老人福祉施設 | 6 | 1 |
| 障害者（児）福祉施設 | 5 | 3 |
| 児童福祉施設 | 1 | 0 |
| 保育所・認定こども園 | 9 | 3 |
| 社会福祉協議会 | 1 | 0 |
| 合 計 | 22 | 7 |

イ 介護保険サービス事業所

地域密着型サービス事業所は、市内 27 事業所の内、11 事業所の実地指導を行い、居宅介護支援事業所は、市内 33 事業所の内、13 事業所の実地指導を行いました。

| 区 分 | 対象数 (H31.4.1現在) | 実施数 | |
|----------------------|--------------------|-----|----|
| 地域密着型 サービス事 業所 | 認知症対応型通所介護 | 4 | 1 |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 3 | 1 |
| | 認知症対応型共同生活介護 | 9 | 6 |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 1 | 0 |
| | 地域密着型通所介護 | 10 | 3 |
| | 小 計 | 27 | 11 |
| 居宅介護支援事業所 | 33 | 13 | |
| 合 計 | 60 | 24 | |

(2) 一般監査等の実施状況・結果

ア 社会福祉法人

文書指摘件数は22件でした。口頭指摘件数は53件でした。

| 内容 | 項目 | 区分 | 老人福祉施設 | | 障害者(児)福祉施設 | | 児童福祉施設 | | 保育所等 | | 社会福祉協議会 | | 合計 | |
|---------------------|-----------------------|-----------------------------|--------|----|------------|----|--------|----|------|----|---------|----|----|----|
| | | | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 |
| I 法人運営 | 1 定款 | 定款の不備又は実態との乖離 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 内部管理体制 | 特定社会福祉法人における内部管理体制整備の未実施 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 評議員・評議員会 | 要件を満たさない者等の選任 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | 選任手続きの不備 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | | 招集通知の遅れ及び記載内容の不備等、招集手続きが不適切 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 4 理事 | 議事録の未作成及び記録・保存が不適切 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | | 選任手続きの不備 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 5 監事 | 選任手続きの不備 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | | 理事会への出席義務不履行 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| | 6 理事会 | 招集通知の遅れ及び記載内容の不備等、招集手続きが不適切 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| 要議決事項の審議が未実施 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 理事長等の職務執行状況の報告回数不足等 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 7 会計監査人 | 議事録の未作成及び記録・保存が不適切 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 2 | 4 | |
| | 7 会計監査人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 8 評議員、理事、監事及び会計監査人の報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| II 事業 | 1 社会福祉事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 2 公益事業 | 事業内容が不適切 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 3 収益事業 | 事業内容が不適切 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| III 管理 | 1 人事管理 | 施設長任免が不適切 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 2 資産管理 | 基本財産の管理が不十分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 3 会計管理 | 経理規程の未整備又は実態との乖離 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 5 |
| | | 事業区分・拠点区分・サービス区分が不適正 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | 会計処理の基本的取扱いに合わない会計処理を行っている | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | 計算書類の様式・作成が不適切 | 0 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 5 |
| | | 予算編成・補正予算編成が不適切 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | 寄附金の取扱いが不適切 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | | 国庫補助金等特別積立金の計上が不適切 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | その他 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 注記の作成が不適正 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 附属明細書が未作成・作成が不適正 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | |
| | 財産目録の作成が不適切 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 4 その他 | 登記事項が未登記又は登記の遅れ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 合計 | | | 0 | 9 | 15 | 23 | 0 | 0 | 7 | 21 | 0 | 0 | 22 | 53 |

イ 介護保険サービス事業所

文書指摘件数は、地域密着型サービス事業所 22 件、居宅介護支援事業所 19 件でした。

口頭指摘件数は、地域密着型サービス事業所 42 件、居宅介護支援事業所 61 件でした。

| 項目 | 区分 | 地域密着型サービス事業者 | | | | | | | | | | 居宅介護支援事業者 | | 合計 | | | |
|----------|---------------------|--------------|----|-------------|----|------------|----|-------------|----|-----------------|----|-----------|----|----|----|----|-----|
| | | 地域密着型通所介護 | | 認知症対応共同生活介護 | | 認知症対応型通所介護 | | 小規模多機能型居宅介護 | | 定期巡回随時対応型訪問介護看護 | | | | | | 小計 | |
| | | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 | 文書 | 口頭 |
| I 基本方針 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| II 人員 | 従業者の員数 | 4 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 3 | 0 | 0 | 8 | 3 |
| III 設備 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| IV 運営 | 内容及び手続の説明及び同意 | 0 | 3 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 | 3 | 15 | 3 | 26 |
| | 入退居 | / | / | 0 | 2 | / | / | / | / | / | / | 0 | 2 | / | / | 0 | 2 |
| | 心身の状況等の確認及び把握 | 0 | 1 | / | / | / | / | / | / | 0 | 0 | 0 | 1 | / | / | 0 | 1 |
| | 居宅サービス計画に沿ったサービスの提供 | 0 | 0 | / | / | 0 | 0 | / | / | 0 | 0 | 0 | 0 | / | / | 0 | 0 |
| | 利用料等の受領 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 各サービスの基本取扱方針 | 0 | 0 | / | / | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 居宅サービス計画作成の基本方針 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 2 | 1 | 2 | 1 |
| | 居宅サービス計画作成に係る一連の業務 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 8 | 39 | 8 | 39 |
| | 指定認知症対応型共同生活介護の取扱方針 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 各サービスの計画の作成 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | / | / | 0 | 12 |
| | 運営規程 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 勤務体制の確保等 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| | 非常災害対策 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | / | / | 3 | 3 | / | / | 3 | 3 |
| | 衛生管理等 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | / | / | 0 | 1 |
| | 掲示 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 秘密保持等 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 5 | 0 | 9 | 2 |
| 苦情処理 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地域との連携等 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 2 | 3 | |
| 事故発生時の対応 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| V 届出 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| VI 介護給付費 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 合計 | | 9 | 15 | 13 | 18 | 0 | 5 | 0 | 4 | 0 | 0 | 22 | 42 | 19 | 61 | 41 | 103 |

(3) 特別監査等の実施結果

令和元年度、該当法人及び該当事業所はありませんでした。

(4) 集団指導

令和元年8月に居宅介護支援事業所、地域密着型サービス事業所及び介護予防・日常生活支援総合事業所を対象に介護保険課と合同で実施しました。

| 区 分 | 対象業所数 | 参加事業所数 |
|------------------|-------|--------|
| 居宅介護支援事業所 | 33 | 33 |
| 地域密着型サービス事業所 | 27 | 27 |
| 介護予防・日常生活支援総合事業所 | 51 | 48 |

3 各種事務手続の実績

| 種 類 | 件 数 | 内 容 等 |
|--------------|-----|--------------------------------------|
| 法人設立認可 | 0 | |
| 定款変更認可 | 2 | 事業内容の追加、基本財産を登記簿謄本に合わせたための変更、基本財産の変更 |
| 基本財産処分承認 | 0 | |
| 基本財産担保提供承認 | 0 | |
| 社会福祉充実計画承認 | 0 | |
| 社会福祉充実計画変更承認 | 0 | |
| 定款変更届 | 2 | 基本財産の増加 |
| 役員変更届 | 2 | 理事長変更 |
| 証明発行 | 1 | 役員在任証明 |
| 財産移転終了報告 | 0 | |
| 小 計 | 7 | |
| 現況報告書 | 22 | |
| 合 計 | 29 | |